

河合町一般廃棄物処理基本計画

2019(平成 31)年 3 月

奈良県 河合町

目次

第1章 計画策定の背景と目的	1
1. 計画策定の背景と目的	1
2. 計画の策定根拠	1
3. 対象地域	2
4. 計画期間	2
5. 適用範囲	2
第2章 地域の概況	3
1. 位置図	3
2. 地域の特徴	4
3. 気象	5
4. 人口動態	6
5. 年齢5歳階級別人口	7
6. 産業の動向	8
7. 土地利用	10
第3章 関連計画等の整理	11
1. 本計画の位置付け	11
2. 国の関連計画	12
3. 県の関連計画	13
4. 山辺・県北西部広域環境衛生組合の関連計画	15
5. 河合町の関連計画	15
6. 関連計画等における目標値	16
7. 関連法令の整理	17
第4章 ごみ処理の状況	18
1. 分別区分	18
2. 処理主体	19
3. 手数料	20
4. 処理フロー	20
5. 施設の概要	21
6. ごみの年間排出量・平均排出量	23
7. 処理・資源化量、最終処分量	26
8. ごみ質	27
9. ダイオキシン類濃度測定結果	29
10. ごみ処理経費	29
11. 資源化、減量化のための施策等	30
12. ごみ処理システムの評価	31

1 3. 課題の抽出	35
第5章 ごみ処理基本計画	37
1. ごみ処理の基本理念	37
2. ごみ処理の基本方針	37
3. 計画人口	38
4. 数値目標について	39
5. 将来の年間ごみ排出量	42
6. 将来の1人1日平均ごみ排出量	45
7. 将来の処理・資源化量、最終処分量	48
8. 将来のごみ分別区分	50
9. 将来のごみの処理・処分の流れ	51
1 0. 排出抑制・再資源化計画	52
1 1. 収集・運搬計画	56
1 2. 中間処理計画	57
1 3. 最終処分計画	58
1 4. その他の計画	59
1 5. 災害廃棄物処理基本方針	61
資料編 ごみ排出量、処理量の予測結果	資料-1
1. ごみ排出量、処理量の予測方法	資料-1
2. 1人1日平均ごみ排出量の予測結果	資料-2
3. 年間ごみ排出量の予測結果（現状の傾向が続いた場合）	資料-21
4. 年間ごみ排出量の予測結果（目標達成時）	資料-23
5. 処理・資源化量、最終処分量の予測結果（現状の傾向が続いた場合） ..	資料-25
6. 処理・資源化量、最終処分量の予測結果（目標達成時）	資料-26

第 1 章 計画策定の背景と目的

1. 計画策定の背景と目的

近年、これまで以上に環境問題への関心が高まっています。ごみ問題についても、私たちの生活に直結する身近な環境問題であるという認識が浸透しつつあり、3 R（リデュース・リユース・リサイクル）や循環型社会という言葉も当たり前に使われるようになってきました。

国においても、「循環型社会形成推進基本法」が制定された 2000(平成 12)年度を起点とし、リサイクル関連の各種法律が継続的に制定・改正されており、国を挙げて循環型社会の形成が進められています。最近では 2018(平成 30)年 6 月に「第四次循環型社会形成推進基本計画」が閣議決定され、廃棄物の量に加えて循環の質にも着目した循環型社会の形成のための基本方針が示されました。

一般廃棄物処理基本計画は、当該市町村のごみ排出・処分の現状を把握し、今後の排出量・処分量を予測することで、ごみの減量化や適正な処理を促すための基本的な事柄についてまとめるものです。

このような背景のもと、河合町（以下「本町」という。）においても、「河合町一般廃棄物処理基本計画（以下、「本計画」という。）」を改定することとしました。本町では、1994(平成 6)年度に 1995(平成 7)年度から 2009(平成 21)年度の 15 年間を計画期間とする一般廃棄物処理基本計画を策定しました。その後、1 期見直しを 2002(平成 14)年度、2 期見直しを 2012(平成 24)年度に見直しを行い、本計画は 3 期見直しとなります。

本計画では、山辺・県北西部広域環境衛生組合（以下「広域組合」という。）の一般廃棄物処理基本計画及び国の方針を踏まえて、本町の今後のごみ処理について、長期的・総合的視点から廃棄物政策に係る基本方針を定めます。

2. 計画の策定根拠

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下、「廃棄物処理法」という。）第 6 条第 1 項において、市町村は当該市町村区域内の一般廃棄物の処理に関する計画を定めなければならない、一般廃棄物処理基本計画では次に掲げる事項を定めることとされています。

1. 一般廃棄物の発生量及び処理量の見込み
2. 一般廃棄物の排出の抑制のための方策に関する事項
3. 分別して収集するものとした一般廃棄物の種類及び分別の区分
4. 一般廃棄物の適正な処理及びこれを実施する者に関する基本事項
5. 一般廃棄物の処理施設の整備に関する事項

3. 対象地域

対象地域は河合町全域とします。

4. 計画期間

ごみ処理基本計画策定指針には、計画期間について、目標年次を概ね 10 年から 15 年先におくこととあります。また、概ね 5 年ごとに改定するほか、計画策定の前提となっている諸条件に大きな変動があった場合には見直しを行うことが適切であると書かれています。本計画においては、計画の最終年度を現時点（2018(平成 30)年）から 15 年先の 2033(平成 45)年と設定することとします。ごみの排出量の将来予測等は、2017(平成 29)年度までの実績データに基づき、2033(平成 45)年まで行います。

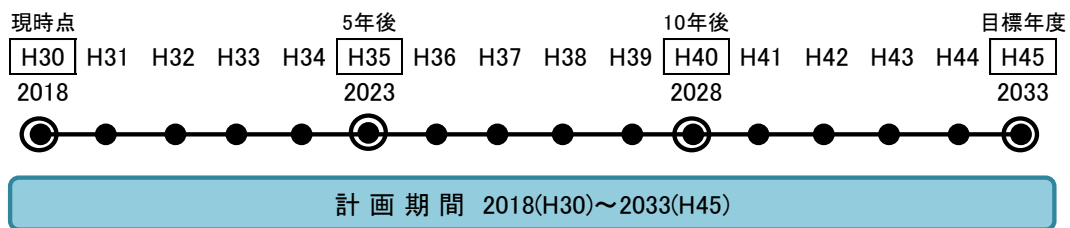


図 1-4-1 計画期間

5. 適用範囲

本計画の適用範囲は以下のとおりであり、「その他の一般廃棄物」を対象とします。ごみについては、住民の生活活動に伴って発生する「家庭系ごみ」と生産・流通・販売等の事業活動に伴って発生する「事業系ごみ」に分けられます。家庭系ごみについては、一般家庭から収集される「収集ごみ」、直接施設に持ち込まれる「直接搬入ごみ」、住民、団体によって回収される「集団資源回収」を対象とします。事業系ごみについても、各事業所から収集される「収集ごみ」及び直接施設に持ち込まれる「直接搬入ごみ」を対象とします。住民・事業者が自らリサイクルする「自家・自社処理ごみ」は本計画の適用範囲外となります。

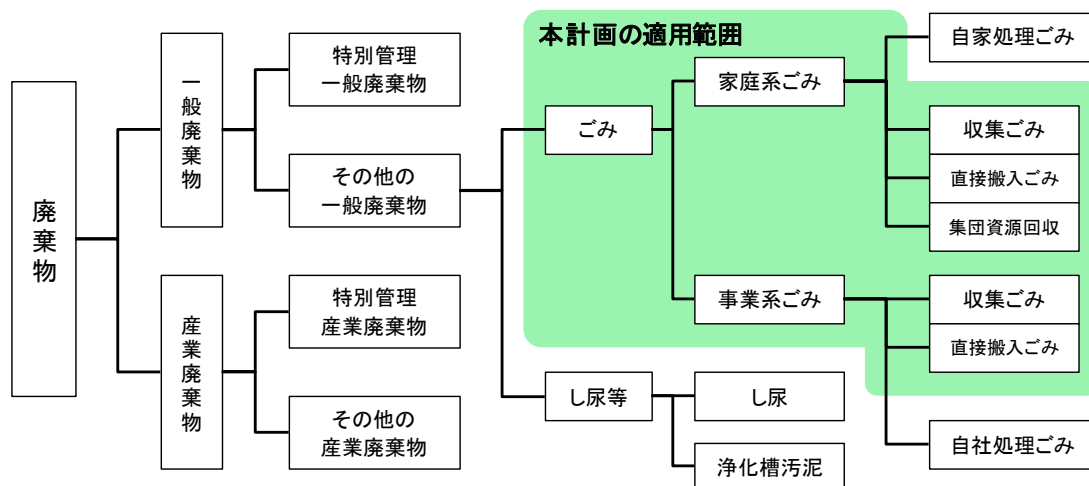


図 1-5-1 計画の適用範囲

1. 位置図

本町は、奈良県の北西部、大和盆地中西部に位置しており、王寺町、広陵町、上牧町とともに北葛城郡を構成しています。



2. 地域の特徴

本町は、東経 135 度 44 分、北緯 34 度 34 分、面積 8.23km²、人口はおよそ 18,000 人の町である。馬見丘陵を主体とした穏やかな丘陵部と河川沿いに開けた平坦地により構成されており、丘陵部には溜池も多く見られます。

県政の中心である奈良市より約 15km、大阪の都心部より約 25km の位置にあり、また、JR 関西本線、近鉄田原本線が布設され、近鉄大輪田駅、佐味田川駅、池部駅の 3 駅があり、天王寺（大阪）、奈良まで約 30～40 分と都心へのアクセスが容易です。

道路交通面では、町域内を県道大和高田・斑鳩線、河合・大和高田線等が通過し、西名阪自動車道、及び近郊の国道 25 号、165 号等の広域幹線道路に連絡しています。

河合町清掃工場は、町の西部に位置しています。



図 2-2-1 本町の周辺図

3. 気象

過去 20 年間の気象概況は以下のとおりです。年によって変動はあるものの、同様の傾向で現在まで続いてきています。

表 2-3-1 気象概況（1998 年～2017 年）

年度	年降水量	平均			平均風速	最大風速	年間 日照時間
		日平均気温	日最高気温	日最低気温			
	mm	℃	℃	℃	m/s	m/s	h
1998 (H10)	1,693	16.0	21.1	11.6	1.4	13.1	1,677
1999 (H11)	1,391	15.3	20.8	10.6	1.4	9.5	1,844
2000 (H12)	1,320	15.1	20.7	10.4	1.4	9.8	1,815
2001 (H13)	1,189	15.1	20.7	10.4	1.4	7.3	1,913
2002 (H14)	990	15.4	21.1	10.7	1.4	8.9	1,865
2003 (H15)	1,546	14.8	20.0	10.3	1.4	8.5	1,609
2004 (H16)	1,511	15.7	21.4	10.9	1.4	10.0	1,994
2005 (H17)	911	14.9	20.4	10.3	1.4	9.5	1,800
2006 (H18)	1,364	14.9	20.3	10.4	1.4	10.2	1,661
2007 (H19)	1,110	15.3	21.0	10.5	1.4	7.7	1,900
2008 (H20)	1,301	14.9	20.6	10.3	1.4	7.6	1,778
2009 (H21)	1,287	15.1	20.8	10.3	1.4	9.1	1,803
2010 (H22)	1,588	15.4	20.9	10.8	1.4	9.0	1,782
2011 (H23)	1,473	15.0	20.6	10.4	1.4	8.0	1,848
2012 (H24)	1,578	14.7	20.0	10.3	1.4	8.3	1,756
2013 (H25)	1,506	15.3	21.0	10.5	1.4	8.9	2,004
2014 (H26)	1,321	14.9	20.6	10.3	1.4	9.3	1,854
2015 (H27)	1,512	15.5	21.0	11.0	1.4	8.1	1,739
2016 (H28)	1,494	16.0	21.6	11.2	1.3	7.8	1,887
2017 (H29)	1,291	15.4	20.6	11.1	2.0	15.9	1,891

出典：奈良地方気象台 過去の観測データより

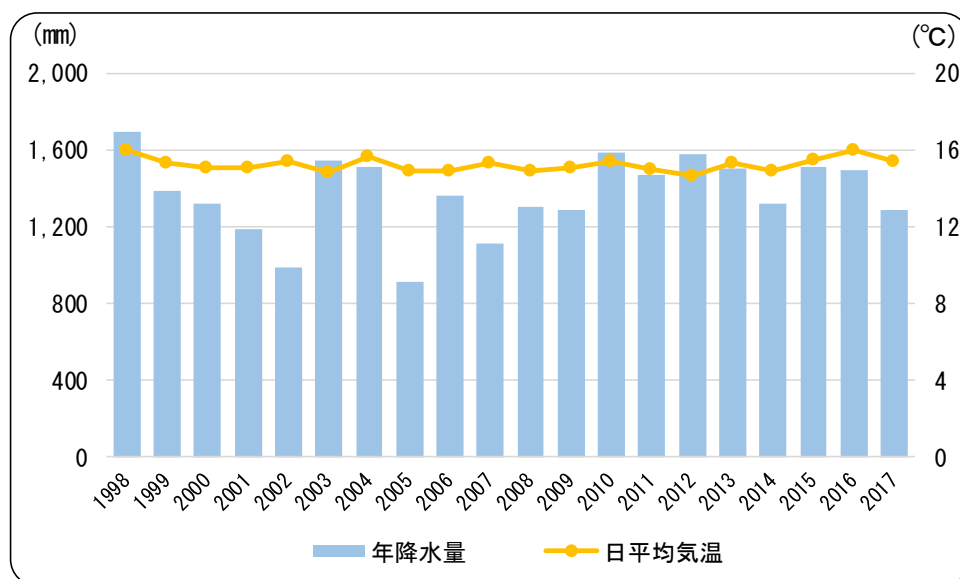


図 2-3-1 年降水量と日平均気温の平均値（1998 (H10) 年～2017 (H29) 年）

4. 人口動態

本町の過去 10 年間の男女別人口及び世帯数は以下のとおりです。2017(平成 29)年度における本町の人口は、17,846 人であり、世帯数は 7,751 世帯となっています。

人口は減少傾向にあり、10 年間で 1,679 人減少しています。世帯数は増加傾向にあり、10 年間で 144 世帯増加しています。世帯人員は減少傾向にあり、10 年間で 0.27 人/世帯減少しています。

表 2-4-1 人口及び世帯数の推移

年度	河合町 人口（人）					世帯数 （世帯）	世帯人員 （人/世帯）
	男性	女性	男性/女性				
2008 (H20)	19, 525	9, 262	10, 263	0. 47	0. 53	7, 607	2. 57
2009 (H21)	19, 357	9, 179	10, 178	0. 47	0. 53	7, 643	2. 53
2010 (H22)	19, 160	9, 089	10, 071	0. 47	0. 53	7, 623	2. 51
2011 (H23)	19, 073	9, 034	10, 039	0. 47	0. 53	7, 699	2. 48
2012 (H24)	18, 957	8, 964	9, 993	0. 47	0. 53	7, 763	2. 44
2013 (H25)	18, 734	8, 831	9, 903	0. 47	0. 53	7, 774	2. 41
2014 (H26)	18, 521	8, 718	9, 803	0. 47	0. 53	7, 775	2. 38
2015 (H27)	18, 323	8, 614	9, 709	0. 47	0. 53	7, 779	2. 36
2016 (H28)	18, 118	8, 497	9, 621	0. 47	0. 53	7, 790	2. 33
2017 (H29)	17, 846	8, 345	9, 501	0. 47	0. 53	7, 751	2. 30

出典：河合町ホームページ「人口統計（各年度 3 月末のデータ）」

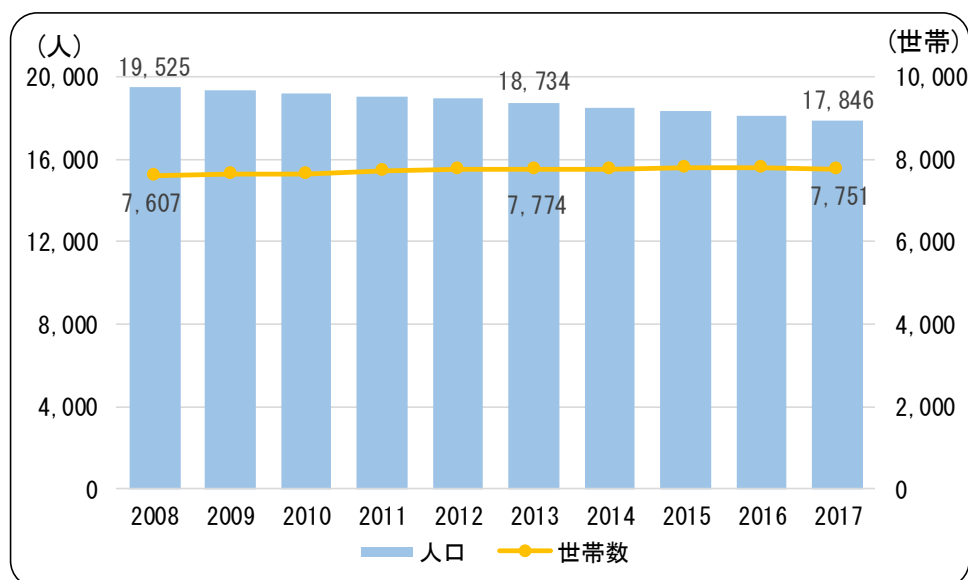


図 2-4-1 人口及び世帯数の推移

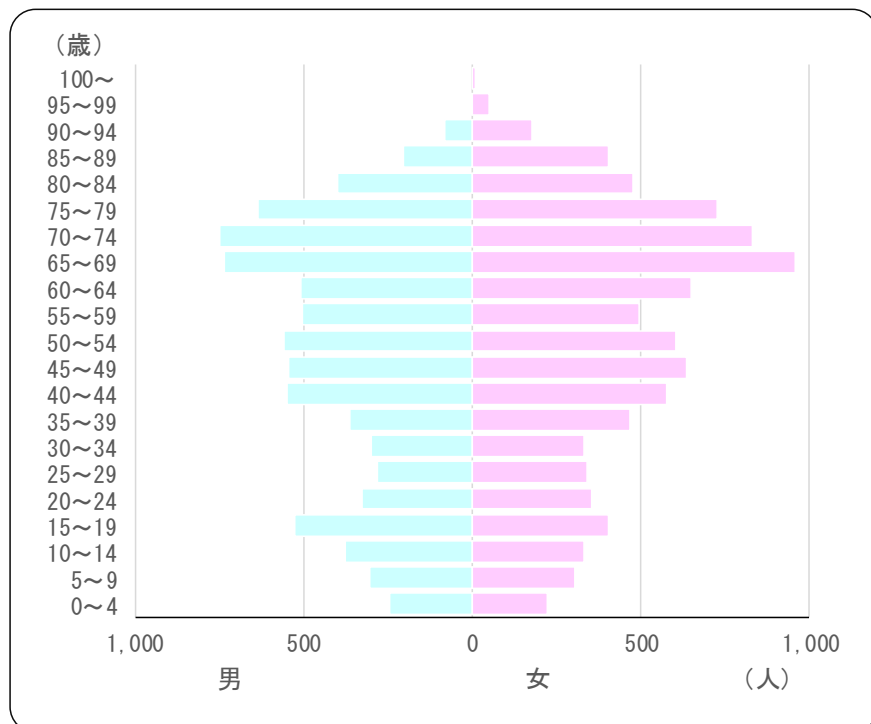
5. 年齢5歳階級別人口

本町の2017(平成29)年度の年齢5歳階級別人口は以下のとおりです。割合では、年少人口が10.2%、生産年齢人口が53.0%、老年人口が36.8%となっています。内閣府の「平成29年度版高齢社会白書」では、日本の総人口の内、年少人口が12.4%、生産年齢人口が60.3%、老年人口が27.3%となっているため、全国平均よりは少子高齢化の度合いは高いと言えます。

表 2-5-1 年齢5歳階級別人口 (2017(平成29)年度) 単位:人

項目		総数		男	女
年少人口	0～4	469	2.7%	245	224
	5～9	608	3.5%	305	303
	10～14	708	4.0%	375	333
	小計	1,785	10.2%	925	860
生産年齢人口	15～19	929	5.3%	527	402
	20～24	683	3.9%	328	355
	25～29	619	3.5%	280	339
	30～34	632	3.6%	301	331
	35～39	827	4.7%	361	466
	40～44	1,122	6.4%	548	574
	45～49	1,179	6.7%	543	636
	50～54	1,162	6.6%	557	605
	55～59	999	5.7%	503	496
	60～64	1,160	6.6%	509	651
	小計	9,312	53.0%	4,457	4,855
老年人口	65～69	1,690	9.6%	734	956
	70～74	1,582	9.0%	750	832
	75～79	1,357	7.7%	633	724
	80～84	875	5.0%	398	477
	85～89	608	3.5%	203	405
	90～94	257	1.5%	81	176
	95～99	56	0.3%	6	50
	100～	9	0.2%	0	9
	小計	6,434	36.8%	2,805	3,629
総数		17,531	100.0%	8,187	9,344

出典:「年齢別人口集計表(2016(H28)年9月30日現在)」



6. 産業の動向

本町の産業別民営事業所数及び従業者数は以下のとおりです。従業者数・事業所数ともに、第2次産業、第3次産業のいずれについても減少傾向にあります。

表 2-6-1 産業別民営事業所数及び従業者数

産業分類	事業所数（事業所）			従業者数（人）		
	2012 (H24)	2014 (H26)	2016 (H28)	2012 (H24)	2014 (H26)	2016 (H28)
第一次産業	0	0	0	0	0	0
農林漁業	-	-	-	-	-	-
第二次産業	85	84	73	865	917	908
鉱業	-	-	-	-	-	-
建設業	36	39	28	201	235	191
製造業	49	45	45	664	682	717
第三次産業	399	405	379	3,945	4,101	3,294
電気・ガス・熱供給・水道業	-	2	-	-	11	-
情報通信業	5	4	5	15	10	11
運輸業、郵便業	9	9	10	390	349	337
卸売・小売業	132	124	119	1,233	1,120	1,086
金融・保険業	6	5	5	32	29	40
不動産業、物品賃貸業	28	25	21	77	83	74
学術研究、専門・技術サービス業	7	8	8	26	25	29
宿泊業、飲食サービス業	49	46	52	406	468	518
生活関連サービス業、娯楽業	54	48	46	388	284	309
教育、学習支援業	17	25	17	177	461	191
医療、福祉	50	63	54	832	1,090	551
複合サービス事業	5	5	5	19	19	18
サービス業（他に分類されないもの）	37	41	37	350	152	130
総数	484	489	452	4,810	5,018	4,202

出典：「2012 (H24) 年経済センサス - 活動調査結果」「2014 (H26) 年経済センサス - 基礎調査結果」
「2016 (H28) 年経済センサス - 活動調査結果」

産業全体でみると、卸売・小売業、医療・福祉の事業所数、卸売・小売業、製造業の従業者数が多い割合を占めています。

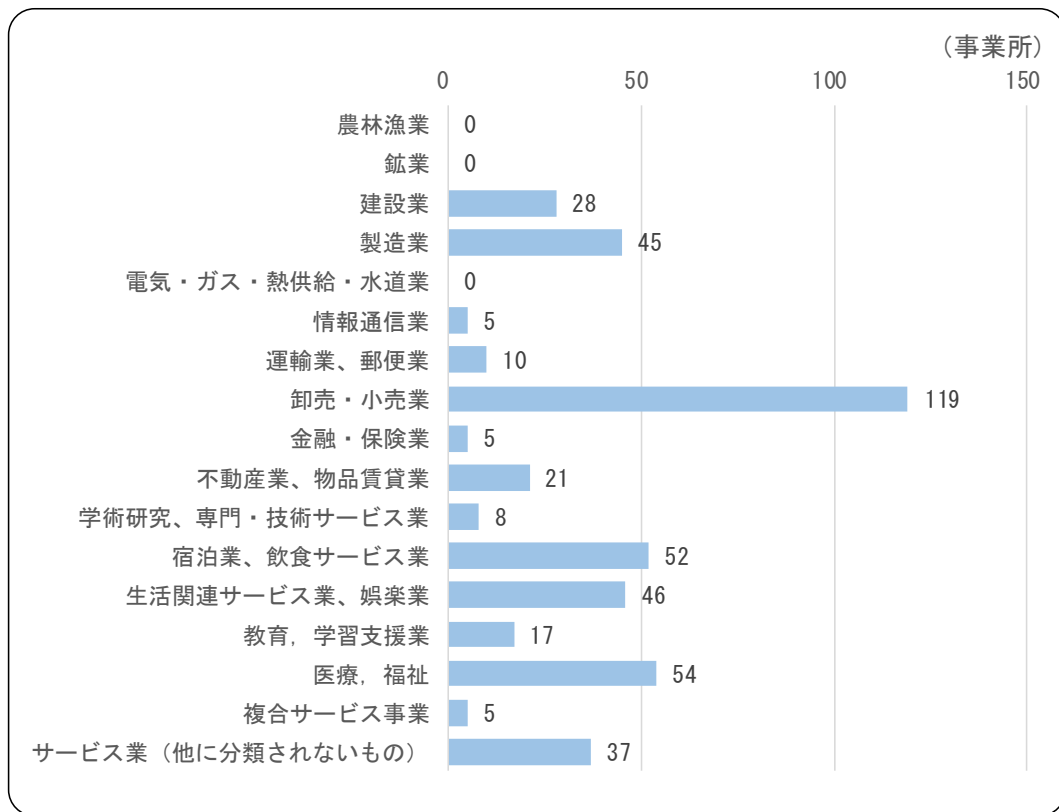


図 2-6-1 産業別民営事業所数（2016(平成 28)年度）

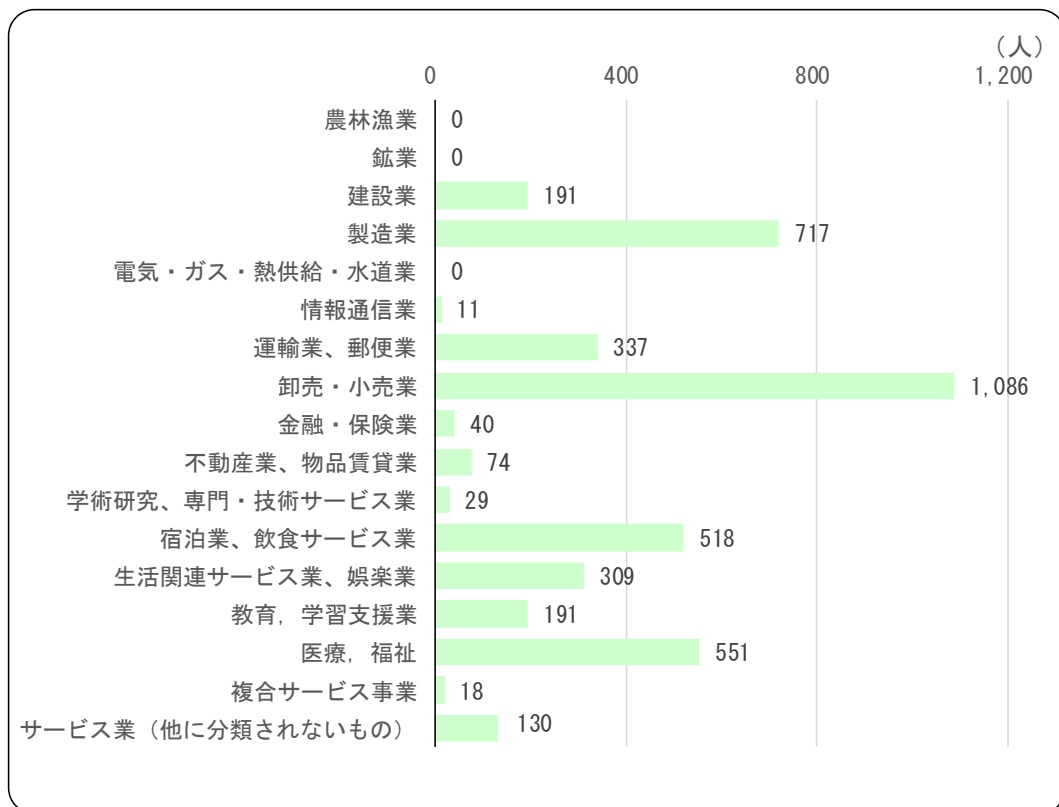


図 2-6-2 産業別従業者数（2016(平成 28)年度）

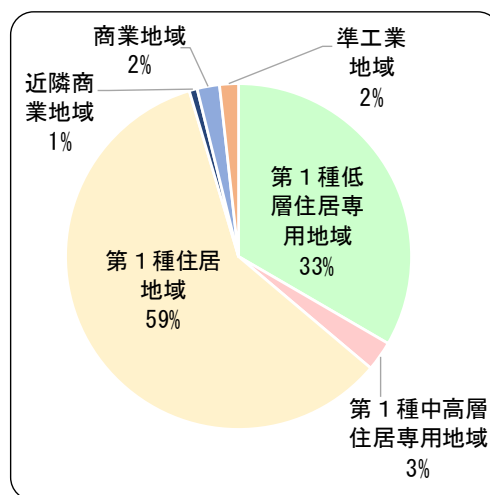
7. 土地利用

1) 用途地域

2016(平成 28)年度の都市計画区域面積と用途地域別面積は以下のとおりです。都市計画区域のうち、市街化区域は 40%、市街化調整区域は 60%を占めています。用途地域については、第 1 種住居地域が 59%、第 1 種低層住居専用地域が 33%、第 1 種中高層住居専用地域が 3%、商業地域及び準工業地域が 2%、近隣商業地域が 1%を占めています。

表 2-7-1 都市計画区域面積と用途地域別面積

区分	面積 (ha)	
	数値	構成比
都市計画区域	827.0	100%
市街化区域	334.6	40%
市街化調整区域	492.4	60%
用途地域	334.6	100%
第 1 種低層住居専用地域	111.7	33%
第 2 種低層住居専用地域	—	—
第 1 種中高層住居専用地域	9.3	3%
第 2 種中高層住居専用地域	—	—
第 1 種住居地域	198.2	59%
第 2 種住居地域	—	—
準住居地域	—	—
近隣商業地域	2.5	1%
商業地域	7.0	2%
準工業地域	5.9	2%
工業地域	—	—
工業専用地域	—	—



出典：奈良県統計年鑑（2016(平成 28)年度）

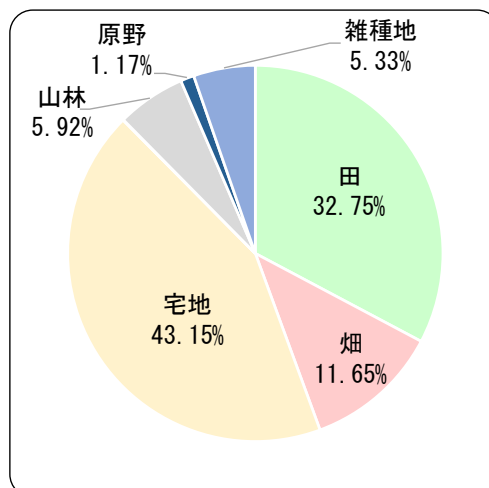
2) 土地利用状況

2016(平成 28)年度の土地利用状況は以下のとおりです。宅地が最も多く 43.15%の面積を占めており、次いで田が 32.75%、畑が 11.65%、山林が 5.92%と続きます。

表 2-7-2 土地利用状況

	面積 (m ²)	割合
田	1,543	32.75%
畑	549	11.65%
宅地	2,033	43.15%
池沼	2	0.04%
山林	279	5.92%
原野	55	1.17%
雑種地	251	5.33%
合計	4,712	100.00%

出典：奈良県統計年鑑（2016(平成 28)年度）



第3章 関連計画等の整理

1. 本計画の位置付け

本町の一般廃棄物処理基本計画は、国の「循環型社会形成推進基本計画」や県の「廃棄物処理計画」等に基づき策定するものであり、本町における廃棄物処理に関する計画において最上位に位置付けられます。廃棄物・リサイクル関連の法体系の中での本計画の位置付けは以下のとおりです。

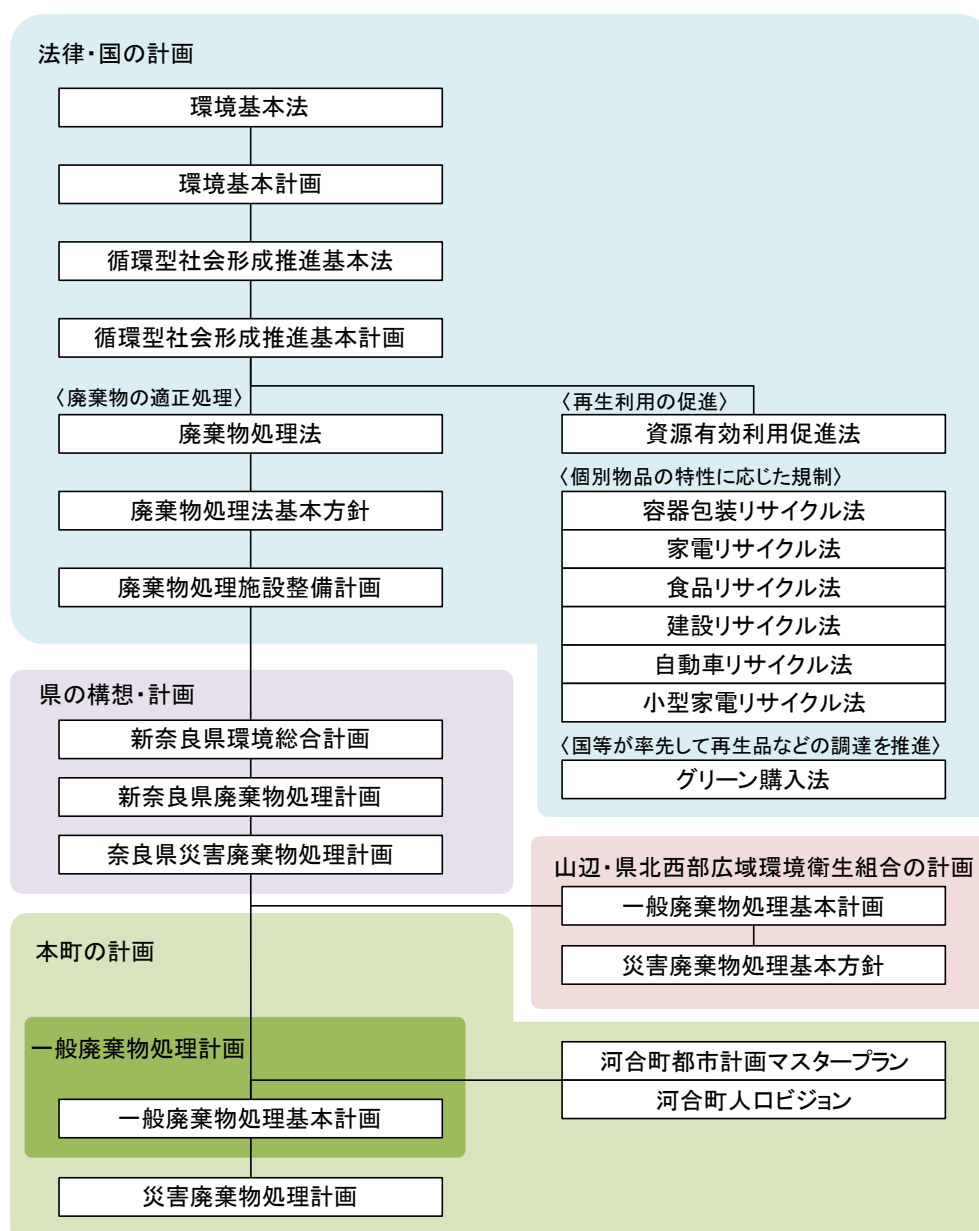


図 3-1-1 本計画の位置付け

2. 国の関連計画

廃棄物・リサイクルに関連する国の計画、方針は以下のとおりです。

①第四次循環型社会形成推進基本計画（2018(平成 30)年 6 月閣議決定）

循環型社会形成推進基本計画は、循環型社会形成推進基本法に基づき、循環型社会の形成に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために定めるものです。第四次計画では、環境的側面、経済的側面及び社会的側面の統合的向上を掲げた上で、重要な方向性として、以下の 3 項目を挙げています。

1. 地域循環共生圏形成による地域活性化
2. ライフサイクル全体での徹底的な資源循環
3. 適正処理の更なる推進と環境再生

②廃棄物処理法の基本方針（2016(平成 28)年 1 月変更）

廃棄物処理法基本方針は、廃棄物処理法律第 5 条に基づき、廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために環境大臣により定められるものです。定期的に改訂されており、最近では 2016(平成 28)年 1 月に変更されました。この変更で追加された項目のうち、本計画に関連する内容としては、以下が挙げられます。

1. 東日本大震災を踏まえた災害廃棄物対策
2. 食品ロスの削減
3. 小型家電リサイクルの推進
4. 有料化の更なる推進
5. 発電施設等の熱回収が可能な焼却施設の導入や高効率化

③廃棄物処理施設整備計画（2018(平成 30)年 6 月閣議決定）

廃棄物処理施設整備計画は、廃棄物処理法第 5 条の 3 に基づき、廃棄物処理施設整備事業を計画的に実施するため、廃棄物処理法基本方針に即して定められるものです。基本的理念として、以下の 3 つを掲げています。

1. 3 R の推進
2. 強靱な一般廃棄物処理システムの確保
3. 地域の自主性及び創意工夫を活かした一般廃棄物処理施設の整備

3. 県の関連計画

奈良県の関連計画は以下のとおりです。

①奈良県環境総合計画（2016(平成 28)年 3 月策定）

「奈良県環境総合計画」は、奈良県環境基本条例第 10 条に基づき策定されたものであり、地域が一体となって持続可能な地域づくりをより一層進めるための、中長期的な指針を示したものです。「奈良県廃棄物処理計画」の上位計画に位置付けられています。

主な施策を 7 つ掲げており、そのうちの 2 つが、「低炭素社会の実現」、「循環型社会の構築」となっています。施策の達成のための指標として、温室効果ガス排出削減率や 1 人 1 日当たりのごみ排出量等について目標値が設定されています。

計画期間：2016(平成 28)年度～2020(平成 32)年度

基本理念：「豊かな自然と歴史との共生、美しい景観と持続可能なくらしの創生」

～愛着と誇りの持てる「きれいに暮らす奈良県スタイル」の構築・推進～

②奈良県廃棄物処理計画（2018(平成 30)年 3 月策定）

「奈良県廃棄物処理計画」は、廃棄物の処理を通して、県民の生活環境の保全、県内産業の健全な発展に資することを目的とし、3 Rをはじめ循環型社会形成を推進するため、県民、NPO、事業者、行政等の各主体が中長期的に取り組む基本的な方向を示したものです。

当該計画においても、最終処分量、再生利用量、排出量に関して目標値が設定されています。

計画期間：2018(平成 30)年度～2022(平成 34)年度

基本目標：未来に生きる「ごみゼロ奈良県」の実現

③奈良県災害廃棄物処理計画（2016(平成 28)年 3 月策定）

「奈良県災害廃棄物処理計画」は、大規模災害時に発生する災害廃棄物をできる限り円滑かつ計画的に処理するための基本的な方針を示したものです。各主体の対応能力の向上、広域的な相互支援体制の整備等を促進するとともに、市町村における災害廃棄物処理計画策定に資することを目的としています。

計画の基本的事項

1. 想定する最大規模の災害

最も被害の大きい災害とされている奈良盆地東縁断層帯地震を想定する。

災害名	地震規模	災害廃棄物発生量	地震発生確率
奈良盆地東縁断層帯地震	最大深度：7 M7.5	最大約 1,700 万トン（県内） ※建物倒壊数：最大	0～5% (30 年以内)
南海トラフ地震	最大震度：7 M9.1	最大約 500 万トン（県内） ※全国で約 2.5 億 t～3.5 億 t	70%程度 (30 年以内)

2. 処理期間

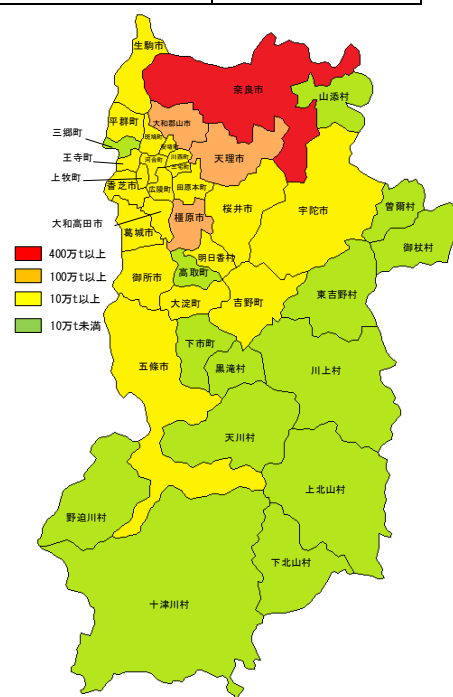
最大でも 3 年以内の処理完了を目指す。

3. 処理方針

被災した市町村等では行政機能やごみの処理力が低下することから、通常時とは異なる緊急かつ広域の体制を構築し、処理を行う必要がある。

大規模な災害に備えた取組：

1. 「奈良県災害廃棄物対策連絡会」の設置・運営
2. 教育・訓練の実施
3. 災害廃棄物の仮置場の確保対策
4. 広域相互支援協定締結の促進



4. 山辺・県北西部広域環境衛生組合の関連計画

2016(平成 28)年 4 月に、大和高田市・天理市・山添村・三郷町・安堵町・川西町・三宅町・上牧町・広陵町・河合町の 10 市町村は、広域ごみ処理を行うことを目的として、山辺・県北西部広域環境衛生組合を設立しました。

現在は、天理市、山添村、川西町、三宅町の 4 市町村が、天理市環境クリーンセンターにて広域処理を行っていますが、今後新たにごみ焼却施設及び粗大・リサイクル施設（以下、「新ごみ処理施設」という。）を整備し、構成市町村全体で広域処理を行っていく計画です。

広域組合では、2016(平成 28)年 12 月に一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定しています。基本計画においては、構成市町村のごみ排出量、処理量、資源化量の予測、ごみ排出量の目標設定、将来のごみ処理体制の検討等を行っています。

5. 河合町の関連計画

①河合町都市計画マスタープラン

2009(平成 21)年 4 月に改定された「河合町都市計画マスタープラン-都市計画に関する基本的な方針-」は、町が将来あるべき姿、道路、公園等の公共施設の計画、地域における整備方針等をより具体的に定めることのできる都市計画の制度として創設された計画です。なお、「河合町都市計画マスタープラン」は、2018(平成 30)年度現在改定を行っています。

町づくりの基本理念として、「輝きと潤いを みんなで築く 水辺の里～夢を持つことからはじめよう 豊かな町づくり～」を掲げています。「輝きと潤いを みんなで築く 水辺の里」の実現に向けて取り組んでいく基本方針を以下のように設定しています。

1. 個性と魅力を身近に感じる水辺の里づくり
2. とともに支え合い、健やかに暮らせる水辺の里づくり
3. 豊かな人間性と文化のあふれる水辺の里づくり
4. 地域に根ざした産業が栄え、安定した生活を営む水辺の里づくり

②河合町人口ビジョン

2015(平成 27)年度に策定された「河合町人口ビジョン」では、今後予想される少子高齢化、人口減少への対応のために、本町の人口動向を分析し、将来の人口推移の展望を示しています。

6. 関連計画等における目標値

関連計画等における目標値は以下のとおりです。

表 3-6-1 国の計画、方針における目標値

名 称	廃棄物処理法基本方針 (2016 (H28) 年 1 月)	第四次循環型社会形成 推進基本計画 (2018 (H30) 年 6 月閣議決定)	廃棄物処理設備整備計画 (2018 (H30) 年 6 月閣議決定)
目標年度	2020 (平成 32) 年度	2025 (平成 37) 年度	2022 (平成 34) 年度
家庭系ごみ 原単位	500g/人・日	440g/人・日	—
資源化率 (再生利用量)	27%	—	27%
事業系ごみ	—	1,100 万 t/年	—
最終処分量	約 14%削減	—	—
総ごみ排出量	約 12%削減	850g/人・日	—

表 3-6-2 県、組合の計画における目標値

名 称	奈良県廃棄物処理計画 (2018 (H30) 年 3 月)	山辺・県北西部広域 環境衛生組合 一般廃棄物処理基本計画
目標年度	2022 (平成 34) 年度	2031 (平成 43) 年度
家庭系ごみ 原単位	607g/人・日	—
資源化率 (再生利用量)	23%	18.5%
事業系ごみ	12.7 万 t/年	—
最終処分量	4.6 万 t/年 約 21%削減	6,668t/年
総ごみ排出量	約 12%削減	901g/人・日

7. 関連法令の整理

以下に、ごみ処理についての関連法令を整理します。

1) 奈良県の廃棄物関係条例等

- ・奈良県環境基本条例
- ・奈良県生活環境保全条例
- ・奈良県環境影響評価条例
- ・奈良県公害紛争処理条例
- ・奈良県自然環境保全条例
- ・奈良県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則

2) 本町における廃棄物関係条例等

- ・河合町廃棄物の処理及び清掃に関する条例

第4章 ごみ処理の状況

1. 分別区分

本町のごみの分別区分は以下のとおりです。

表 4-1-1 分別区分

品目		ごみの例
収集・自己搬入	もやすごみ	生ごみ（野菜・魚・肉等の調理くず、茶殻等）、紙くず類（雑がみ、ティッシュペーパー等）、木くず（落ち葉、剪定枝等）、布くず（布切れ、靴下等）、ふとん類（ふとん、毛布、ざぶとん等）
	もやさないごみ	プラスチック、ビニール類（プラスチック容器トレイ等）、ガラス・瀬戸物類（陶器・ガラスコップ等）、金属類（鍋、刃物類、小型電化製品等）
	粗大ごみ	家電製品（電子レンジ、掃除機等）、家具類（たんす、机、ベッド等）、建具類（ふすま、障子等）
	ペットボトル	ペットボトル（飲料用、酒類、調味料用のペットボトル）
	びん	びん（飲み物等のびん）
	かん	かん（スチール缶、アルミ缶）
	有害ごみ	電池類（水銀電池、乾電池、ボタン電池、体温計、蛍光灯電球）
集団資源回収		新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着類、かん

表 4-1-2 分別区分ごとの排出方法等

品目		排出方法	収集回数	収集体制
収集・自己搬入	もやすごみ	指定袋に入れる	週2回	ステーション
	もやさないごみ	指定袋に入れる	週1回	ステーション
	粗大ごみ	粗大ごみシールを貼って出す	週1回	ステーション
	ペットボトル	指定袋に入れる	月2回	ステーション
	びん	指定袋に入れる	月2回	ステーション
	かん	指定袋に入れる	月2回	ステーション
	有害ごみ	分別し、適宜汎用の袋に入れる	年4回	ステーション
集団資源回収		—	—	—

本町では収集、処理できないごみは以下のとおりです。

表 4-1-3 町では収集、処理できないごみ

種 類		ごみの例
建築業や事業者から出るごみ (産業廃棄物に類する物)		製造工程から出るごみ、建築廃材や産業廃棄物、農機具等
爆発性・引火性のあるごみ		プロパンガス等のガスボンベ類、ガソリン、シンナー、ペンキ、花火、オイル等の油類
危険性のあるもの		農薬、殺虫剤等の薬品類、消火器、バッテリー等
処理できないもの		農機具、農業用資材、浴槽、大型設備器具、バイク、タイヤ、ピアノ、据え置き型金庫、医療廃棄物、薬品等が付着している容器、ドラム缶、仏壇、石、ブロック、煉瓦、屋根ソーラー、自動車・単車の部品、土砂等
リサイクル 家電	家電リサイクル法対象品	テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機・エアコン
	パソコンリサイクル法対象品	パソコン

2. 処理主体

ごみの処理主体は以下のとおりです。

表 4-2-1 処理主体

品目		収集・運搬	中間処理	最終処分
家庭系	もやすごみ	委託/自己搬入	直営	委託
	もやさないごみ	委託/自己搬入	委託	委託
	ペットボトル	委託/自己搬入	委託	資源化
	びん	委託/自己搬入	委託	資源化
	かん	委託/自己搬入	委託	資源化
	有害ごみ	委託/自己搬入	委託	委託
	粗大ごみ	委託/自己搬入	委託	委託
事業系	もやすごみ	許可業者/自己搬入	直営	委託
	もやさないごみ	許可業者/自己搬入	委託	委託
	ペットボトル	許可業者/自己搬入	委託	資源化
	びん	許可業者/自己搬入	委託	資源化
	かん	許可業者/自己搬入	委託	資源化
	有害ごみ	許可業者/自己搬入	委託	委託
	粗大ごみ	許可業者/自己搬入	委託	委託

3. 手数料

本町のごみ処理手数料は以下のとおりです。

表 4-3-1 ごみ処理手数料

対象ごみの種類			手数料
収 集	家庭系ごみ	もやすごみ	45Lのごみ袋 1枚 40円 30Lのごみ袋 1枚 30円 20Lのごみ袋 1枚 20円 8Lのごみ袋 1枚 10円
		もやさないごみ	45Lのごみ袋 1枚 40円
	事業系ごみ	—	—
自 己 搬 入	家庭系ごみ	もやすごみ	100円/10kg
		もやさないごみ	100円/10kg
		粗大ごみ	100円/10kg
	事業系ごみ	もやすごみ	150円/10kg
		もやさないごみ	150円/10kg

4. 処理フロー

本町のごみ処理フローは以下のとおりです。

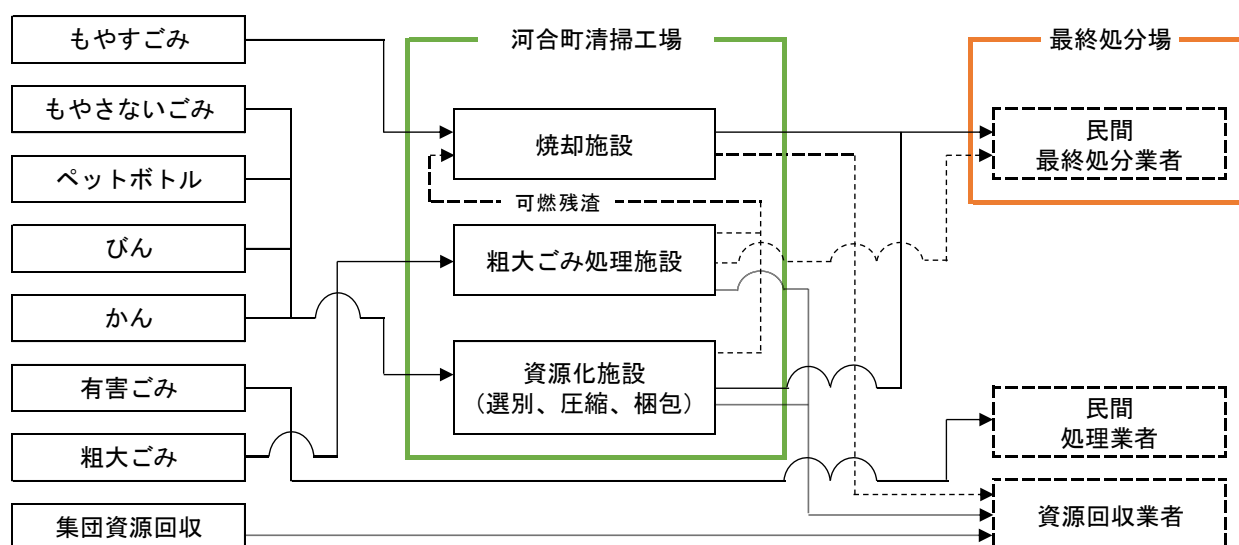


図 4-4-1 処理フロー

5. 施設の概要

中間処理施設、最終処分場の概要は以下のとおりです。資源化施設については、町として機械等を設置する場所を貸し出しており、運転を民間業者に委託しています。

表 4-5-1 河合町清掃工場（ごみ焼却施設）の概要

項 目	概要
施設名	河合町清掃工場（ごみ焼却施設）
所在地	北葛城郡河合町大字山坊 683 番地 1
竣工年月	1977(昭和 52) 年 3 月
処理能力	30t/8h (15t/8h×2 炉)
処理方式	ストーカ式焼却炉
処理対象物	もえるごみ

表 4-5-2 河合町清掃工場（粗大ごみ処理施設）の概要

項 目	概要
施設名	河合町清掃工場（粗大ごみ処理施設）
所在地	北葛城郡河合町大字山坊 683 番地 1
竣工年月	1991(平成 3) 年 3 月
処理能力	6t/5h
処理方式	破碎、選別
処理対象物	粗大ごみ

表 4-5-3 河合町清掃工場（資源化施設）の概要

項 目	概要
施設名	河合町清掃工場（資源化施設）
所在地	北葛城郡河合町大字山坊 683 番地 1
竣工年月	2004(平成 16) 年 1 月
処理能力	6t/5h
処理方式	選別、圧縮、梱包
処理対象物	資源ごみ

表 4-5-4 大阪湾広域臨海環境整備センターの概要

項 目	概要
施設名	大阪湾広域臨海環境整備センター（大阪湾フェニックスセンター）
設 立	1982(昭和 57)年 3 月 1 日
広域処理対象地区	近畿 2 府 4 県 168 市町村
広域処理場整備対象港湾	4 港湾
業 務	①港湾管理者の委託 ・ 廃棄物埋立護岸の建設及び改良、維持その他の管理 ・ 廃棄物埋立護岸における廃棄物による海面埋立てにより行う土地の造成
	②地方公共団体の委託 ・ 一般廃棄物等の最終処分場の建設及び改良、維持その他の管理 ・ 一般廃棄物等による海面埋立 ・ 施設の円滑かつ効率的な運営を確保するため搬入施設等の建設及び改良、維持その他の管理
	③産業廃棄物の最終処分場の建設及び改良、維持その他の管理並びに産業廃棄物による海面埋立
	④上記の業務に附帯する業務
埋立処分場 () 内は一般廃棄物の 埋立容量	尼崎沖埋立処分場 (220 万 m ³)
	泉大津沖埋立処分場 (390 万 m ³)
	神戸沖埋立処分場 (580 万 m ³)
	大阪沖埋立処分場 (540 万 m ³)

6. ごみの年間排出量・平均排出量

本町の過去 5 年間のごみ排出量は以下のとおりです。総排出は減少傾向にあり、2013(平成 25)年度が 7,268.2 t だったのに対し、2017(平成 29)年度は 6,546.2 t であり、約 720 t 減少しています。家庭系ごみ排出量、事業系ごみ排出量、一般持込、集団資源回収については減少傾向にあり、有害ごみについては増減を繰り返しつつ増加傾向にあります。

表 4-6-1 ごみ排出量の実績

		単位	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
人口		人	18,734	18,521	18,323	18,118	17,846
家庭系		t	3,828.5	3,789.8	3,731.0	3,584.2	3,499.1
	可燃ごみ	t	3,073.8	3,078.2	2,995.4	2,888.6	2,786.1
	不燃ごみ	t	547.1	511.5	536.7	498.9	526.3
	廃プラスチック	t	414.6	400.3	395.8	374.7	367.8
	粗大ごみ(鉄くず含む)	t	132.5	111.2	140.9	124.2	158.5
	資源ごみ	t	207.6	200.1	198.9	196.7	186.7
	かん・びん	t	172.8	167.2	164.1	162.5	152.5
	ペットボトル	t	34.8	32.9	34.8	34.2	34.2
事業系		t	1,951.4	1,955.4	2,006.2	1,982.4	1,878.4
	可燃ごみ	t	1,937.3	1,927.4	1,972.4	1,949.1	1,849.1
	不燃ごみ	t	14.1	28.0	33.8	33.3	29.3
	粗大ごみ	t	14.1	28.0	33.8	33.3	29.3
一般持込		t	681.8	612.6	448.9	565.9	497.6
	可燃ごみ	t	661.3	593.8	428.6	534.1	454.1
	不燃ごみ	t	20.5	18.8	20.3	31.5	43.3
	廃プラスチック	t	0.4	—	—	1.9	3.2
	粗大ごみ(鉄くず含む)	t	20.1	18.8	20.3	29.6	40.1
	資源ごみ	t	—	—	—	0.3	0.2
	かん・びん ペットボトル	t	—	—	—	0.3	0.2
計		t	6,461.7	6,357.8	6,186.1	6,132.5	5,875.1
	可燃ごみ	t	5,672.4	5,599.4	5,396.4	5,371.8	5,089.3
	不燃ごみ	t	533.8	515.0	541.6	516.0	558.3
	廃プラスチック	t	415.0	400.3	395.8	376.6	371.0
	粗大ごみ	t	118.8	114.7	145.8	139.4	187.3
	資源ごみ	t	255.5	243.4	248.1	244.7	227.5
	かん・びん ペットボトル	t	207.6	200.1	198.9	197.0	186.9
	鉄くず	t	47.9	43.3	49.2	47.7	40.6
有害ごみ		t	2.7	3.4	3.8	5.2	4.4
集団資源回収		t	803.8	767.7	750.2	710.4	666.7
	新聞紙	t	424.6	396.1	364.9	327.8	300.0
	雑誌	t	214.2	211.5	219.1	222.9	205.1
	段ボール	t	93.2	94.2	98.1	96.4	98.4
	紙パック	t	3.1	2.8	3.0	2.8	3.0
	古着類	t	55.4	50.2	51.9	47.7	48.4
	かん	t	13.3	12.9	13.2	12.8	11.8
合計		t	7,268.2	7,128.9	6,940.1	6,848.1	6,546.2

過去5年間の平均ごみ排出量は以下のとおりです。年間ごみ総排出量を人口と年間日数で割った1人1日平均ごみ総排出量は減少傾向にあり、2013(平成25)年度が1,063.0g/人・日であったのに対し、2017(平成29)年度は1,005.1g/人・日であり、約58g減少しています。1人1日平均家庭系ごみ排出量、1人1日平均一般持込量、1人1日平均集団資源回収量については減少傾向にあり、1人1日平均事業系ごみ排出量、1人1日平均有害ごみ排出量については増加傾向にあります。

表 4-6-2 平均ごみ排出量の実績

		単位	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
人口		人	18,734	18,521	18,323	18,118	17,846
家庭系		g/人・日	559.9	560.5	556.4	542.1	537.2
	可燃ごみ	g/人・日	449.5	455.3	446.7	436.8	427.7
	不燃ごみ	g/人・日	80.0	75.6	80.0	75.5	80.8
	廃プラスチック	g/人・日	60.6	59.2	59.0	56.7	56.5
	粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	19.4	16.4	21.0	18.8	24.3
	資源ごみ	g/人・日	30.4	29.6	29.7	29.8	28.7
	かん・びん ペットボトル	g/人・日	25.3 5.1	24.7 4.9	24.5 5.2	24.6 5.2	23.4 5.3
事業系		g/人・日	285.4	289.2	299.1	299.7	288.4
	可燃ごみ	g/人・日	283.3	285.1	294.1	294.7	283.9
	不燃ごみ	g/人・日	2.1	4.1	5.0	5.0	4.5
	粗大ごみ	g/人・日	2.1	4.1	5.0	5.0	4.5
一般持込		g/人・日	99.7	90.6	66.9	85.7	76.3
	可燃ごみ	g/人・日	96.7	87.8	63.9	80.8	69.7
	不燃ごみ	g/人・日	3.0	2.8	3.0	4.8	6.6
	廃プラスチック	g/人・日	0.1	—	—	0.3	0.5
	粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	2.9	2.8	3.0	4.5	6.2
	資源ごみ	g/人・日	—	—	—	0.05	0.03
	かん・びん ペットボトル	g/人・日	—	—	—	0.05	0.03
計		g/人・日	945.0	940.4	922.4	927.5	902.0
	可燃ごみ	g/人・日	829.5	828.2	804.7	812.3	781.3
	不燃ごみ	g/人・日	78.1	76.2	80.7	78.1	85.8
	廃プラスチック	g/人・日	60.7	59.2	59.0	57.0	57.0
	粗大ごみ	g/人・日	17.4	17.0	21.7	21.1	28.8
	資源ごみ	g/人・日	37.4	36.0	37.0	37.1	34.9
	かん・びん ペットボトル	g/人・日	30.4	29.6	29.7	29.9	28.7
	鉄くず	g/人・日	7.0	6.4	7.3	7.2	6.2
有害ごみ		g/人・日	0.4	0.5	0.6	0.8	0.7
集団資源回収		g/人・日	117.6	113.6	111.9	107.4	102.4
	新聞紙	g/人・日	62.2	58.7	54.5	49.6	46.1
	雑誌	g/人・日	31.3	31.3	32.7	33.7	31.5
	段ボール	g/人・日	13.6	13.9	14.6	14.6	15.1
	紙パック	g/人・日	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5
	古着類	g/人・日	8.1	7.4	7.7	7.2	7.4
	かん	g/人・日	1.9	1.9	2.0	1.9	1.8
合計		g/人・日	1,063.0	1,054.5	1,034.9	1,035.7	1,005.1

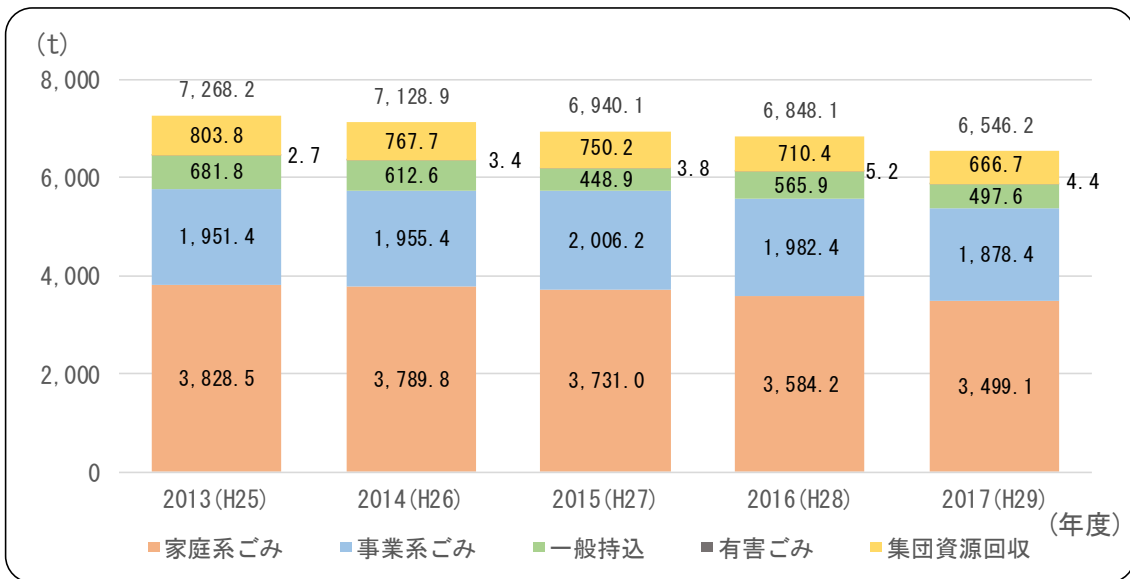


図 4-6-1 系別のごみ排出量の推移

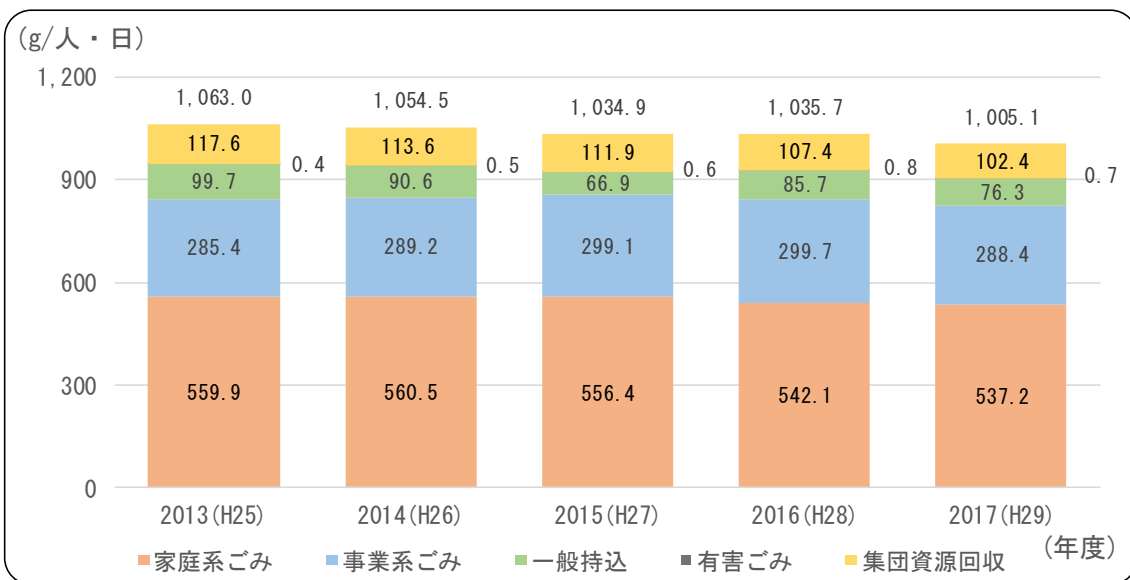


図 4-6-2 系別の平均ごみ排出量の推移

7. 処理・資源化量、最終処分量

本町の過去5年間の焼却処理量、資源化量、最終処分量の実績は以下のとおりです。年間焼却処理量は、4,404～5,804tで推移しています。資源化量、資源化率ともに減少傾向となっており、資源化率は13.7～14.6%で推移しています。

表 4-7-1 処理・資源化量、最終処分量の実績

単位：t

	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)
人口（人）	18,734	18,521	18,323	18,118	17,846
総排出量	7,267.7	7,128.1	6,940.1	6,848.5	6,546.3
焼却処理量	5,804.0	5,799.0	4,404.0	5,796.0	5,521.0
焼却量（1号炉）	3,074.0	2,841.0	2,214.0	2,988.0	2,551.0
焼却量（2号炉）	2,730.0	2,958.0	2,190.0	2,808.0	2,970.0
資源化量	1,059.2	1,011.0	998.2	954.9	894.1
新聞紙	424.6	396.1	364.9	327.8	300.0
雑誌	214.2	211.5	219.1	222.9	205.1
段ボール	93.2	94.2	98.1	96.4	98.4
紙パック	3.1	2.8	3.0	2.8	3.0
古着類	55.4	50.2	51.9	47.7	48.4
かん・びん	186.0	180.1	177.3	175.5	164.5
ペットボトル	34.8	32.8	34.7	34.1	34.1
鉄くず	47.9	43.3	49.2	47.7	40.6
資源化率（%）	14.6	14.2	14.4	13.9	13.7
最終処分量	1,469.6	1,452.7	1,204.3	1,398.2	1,349.3
焼却灰	916.2	917.7	664.8	829.6	749.0
破碎ごみ・廃プラスチック	553.4	535.0	539.5	568.6	600.3
最終処分率（%）	20.2	20.4	17.4	20.4	20.6

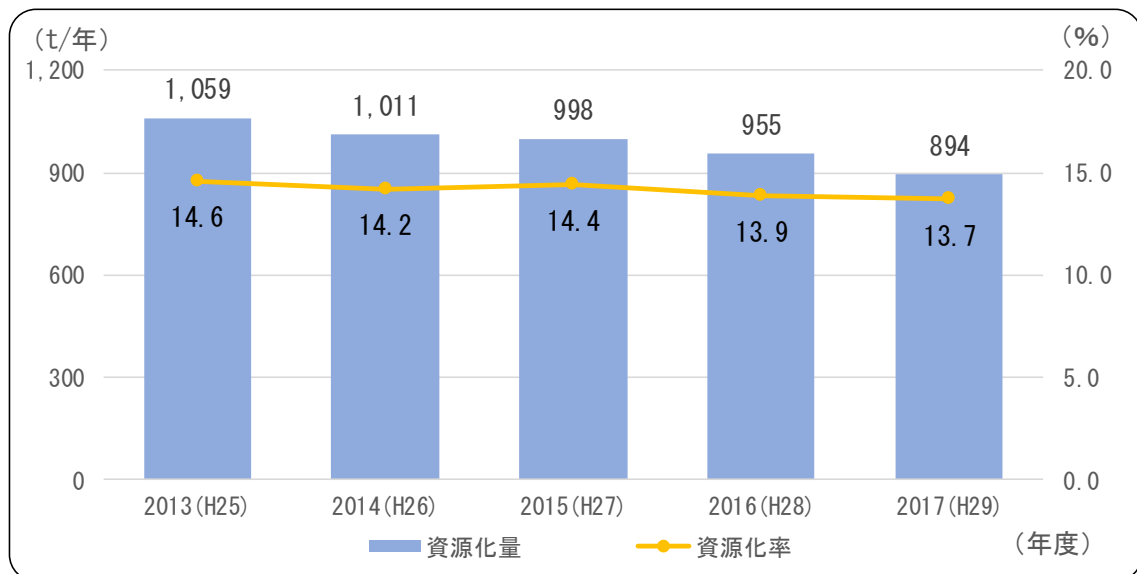


図 4-7-1 資源化量・資源化率の実績

8. ごみ質

過去 5 年間のごみの 3 成分の分析結果は以下のとおりです。過去 5 年間の平均で見ると、水分が 49.31%、灰分が 7.65%、可燃分が 43.04%となっています。水分の割合が年々増加しており、それに伴って低位発熱量も減少傾向にあります。

表 4-8-1 3 成分の分析結果

項 目	単位	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	平均
水分	%	47.30	48.15	52.25	43.40	55.51	49.31
灰分	%	6.17	7.55	5.52	12.39	6.60	7.65
可燃分	%	46.54	44.3	42.23	44.21	37.90	43.04
合計	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
比重	kg/m ³	184.75	178.50	194.67	167.00	183.25	181.63
低位発熱量	kcal/kg	1,825	1,700	1,580	1,725	1,373	1,641

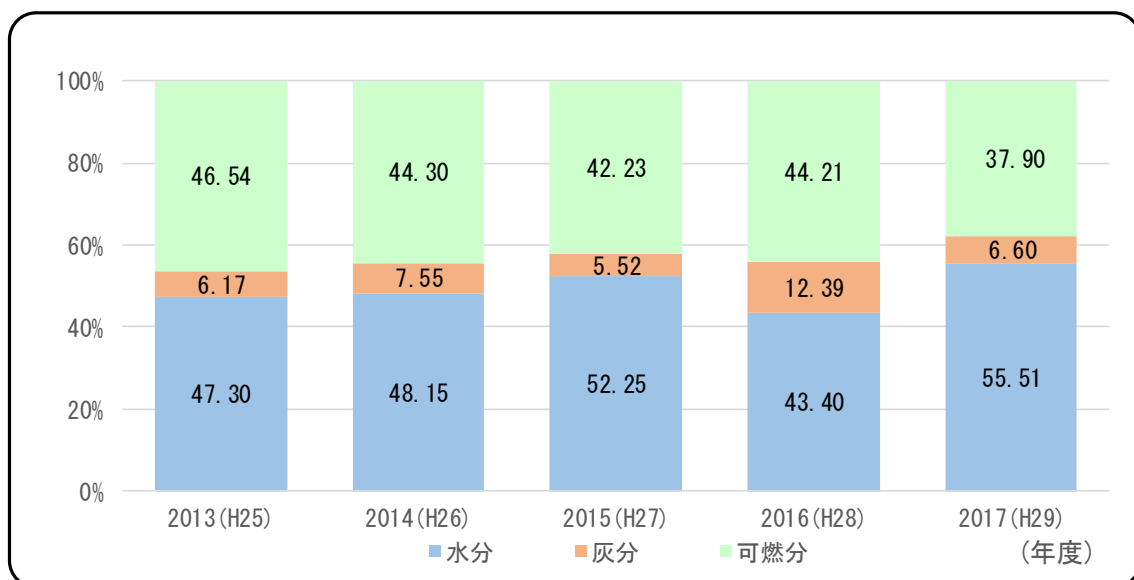


図 4-8-1 3 成分分析結果の推移

過去 5 年間の可燃分中の組成分析結果は以下のとおりです。過去 5 年間の平均で見ると、紙類が 50.59%、ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類が 17.25%、木・竹・わら類が 9.35%、厨芥類が 15.30%、不燃物類が 3.75%、その他が 3.76%となっています。

表 4-8-2 可燃分中の組成分析結果

項 目	単位	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	平均
紙・布類	%	45.32	51.91	60.68	44.20	50.87	50.59
ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類	%	14.41	15.81	15.53	23.80	16.68	17.25
木・竹・わら類	%	12.8	10.47	6.68	8.13	8.65	9.35
厨芥類	%	19.17	13.12	13.32	10.07	20.81	15.30
不燃物類	%	3.09	4.26	0.45	10.35	0.61	3.75
その他	%	5.21	4.43	3.34	3.45	2.38	3.76

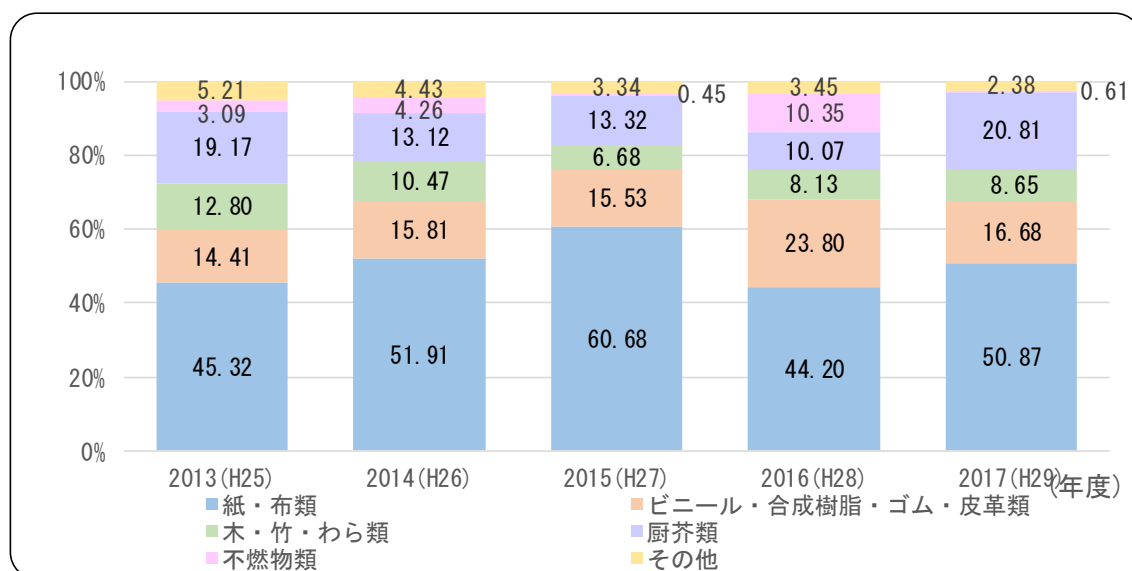


図 4-8-2 組成分析結果の推移

9. ダイオキシン類濃度測定結果

過去5年間の排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果は以下のとおりです。いずれの結果も規制値を大きく下回っています。

表 4-9-1 排ガス中のダイオキシン類濃度測定結果

単位：ng-TEQ/m ³ N						
項 目	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	平均
排ガス中 ダイオキシン類 測定結果	0.96	0.16	0.32	0.12	0.15	0.34
規制値	5.0					-

10. ごみ処理経費

過去5年間の本町のごみ処理に関する経費は以下のとおりです。年間の合計は、約4億2千万円～4億9千万円となっています。

表 4-10-1 ごみ処理経費

歳 出			2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	
単位：千円								
建設・改良費	工事費	収集運搬施設	0	0	0	0	0	
		中間処理施設	22,311	18,968	26,805	23,698	33,893	
		最終処分場	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
	調査費		0	0	0	0	0	
	(組合分担金)		0	0	0	10,707	19,895	
	小計		22,311	18,968	26,805	34,405	53,788	
	分担金除く		22,311	18,968	26,805	23,698	33,893	
処理及び維持管理費	人件費	一般職	39,467	43,631	35,878	33,990	25,958	
		技能職	収集運搬	0	0	0	0	0
			中間処理	52,171	53,088	47,914	51,890	51,974
			最終処分	0	0	0	0	0
	処理費	収集運搬費	0	0	0	0	0	
		中間処理費	38,196	42,235	31,394	28,897	30,267	
		最終処分費	0	0	0	0	0	
		車両等購入費	0	0	0	0	0	
	委託費	収集運搬費	71,826	73,472	72,278	73,473	73,533	
		中間処理費	82,718	85,081	85,081	70,955	85,450	
		最終処分費	25,910	25,813	25,236	27,705	21,137	
		その他	21,789	22,937	23,005	23,381	17,499	
	(組合分担金)		0	0	0	0	0	
	調査研究費		0	0	0	0	0	
	小計		332,077	346,257	320,786	310,291	305,818	
	分担金除く		332,077	346,257	320,786	310,291	305,818	
	その他		107,690	114,245	144,882	100,938	82,405	
合計		462,078	479,470	492,473	445,634	442,011		
分担金除く		462,078	479,470	492,473	434,927	422,116		

出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査」

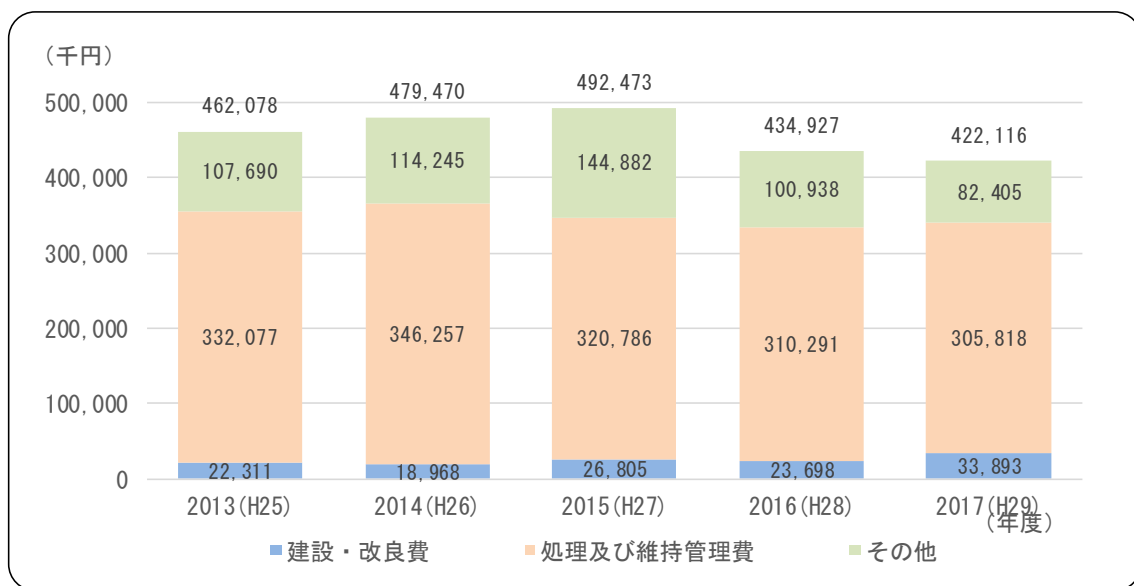


図 4-10-1 ごみ処理経費の推移

1 1. 資源化、減量化のための施策等

○有料化の実施

家庭系ごみについては、ごみの排出抑制と費用負担の公平性確保のため、指定袋による均一従量制を採用しています。

また、事業系ごみについても、ごみの資源化や減量を促進し、費用負担の公平性確保のため、均一従量制を採用しています。

○集団資源回収助成補助金

集団資源回収を実施する町内の住民団体を支援する補助制度を設けています。補助金の交付対象となる資源物は、新聞紙、雑誌、段ボール、紙パック及び古着類です。

1 2. ごみ処理システムの評価

1) システム評価支援ツールによる評価

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課の「市町村一般廃棄物処理システム評価支援ツール」(以下、「システム評価支援ツール」という。)を用い、2016(平成 28)年度実績による本町のごみ処理システムの評価を行いました。システム評価支援ツールは、環境省の一般廃棄物処理実態調査結果に基づいて作成されたエクセルファイルであり、自治体名を入力すると、人口規模、産業構造について類似した市町村を抽出し、ごみ処理システムの特徴を表す 5 つの指標について、当該自治体と類似市町村の比較を行うことができます。

ごみ処理システムの評価結果は、レーダーチャートによって表されます。レーダーチャートには、当該自治体の実績(黒線)と、類似市町村の平均値(赤線)が示されており、5 つの指標に関して、当該自治体と類似市町村を比較することができます。平均値(赤線)の外側に飛び出している指標は、当該自治体が類似市町村よりも優れているということを意味します。

レーダーチャートで用いる指標は、「人口 1 人 1 日当たりごみ総排出量」、「廃棄物からの資源回収率」、「廃棄物のうち最終処分される割合」、「人口 1 人当たり年間処理経費」、「最終処分減量に要する費用」の 5 つです。

表 4-12-1 類似市町村の概要

項目	内容	
都市形態	町村	
産業構造	2	Ⅱ次・Ⅲ次人口比率80%以上、Ⅲ次人口比率55%以上
人口区分	10,000人以上、30,000人未満	
類似市町村数	80	

表 4-12-2 各指標の算出方法

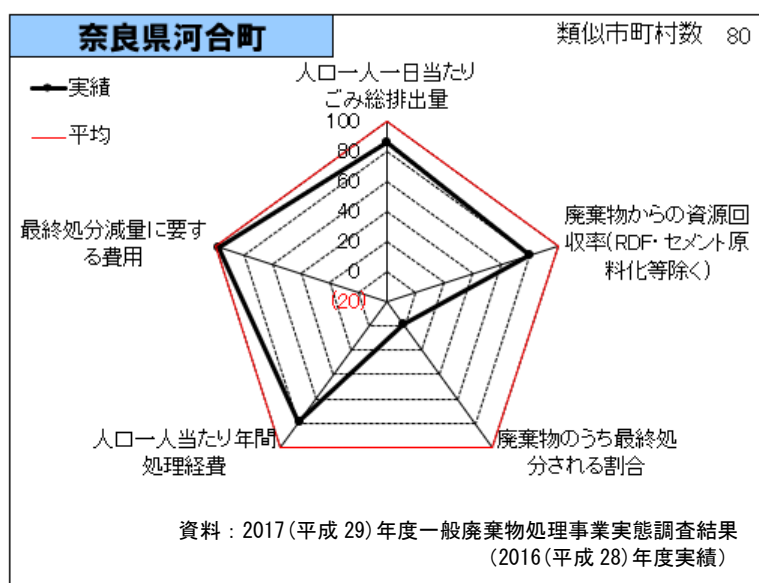
標準的な指標		算出方法	単位
廃棄物の発生	人口1人1日当たりごみ総排出量	$= \text{ごみ総排出量} \div 365 \div \text{計画収集人口} \times 10^3$	kg/人・日
廃棄物の再生利用	廃棄物からの資源回収率	$= \text{資源化量} \div \text{ごみ総排出量}$	t/t
最終処分	廃棄物のうち最終処分される割合	$= \text{最終処分量} \div \text{ごみ総排出量}$	t/t
費用対効果	人口1人当たり年間処理経費	$= \text{処理及び維持管理費} \div \text{計画収集人口}$	円/人・年
	最終処分減量に要する費用	$= (\text{処理及び維持管理費} - \text{最終処分費} - \text{調査研究費}) \div (\text{ごみ総排出量} - \text{最終処分量})$	円/t

以下のレーダーチャートが示すように、本町の実績は、全ての項目において類似市町村の平均値の内側にあることから、本町は類似市町村より劣っていることが分かります。

なお、本評価のデータは「環境省一般廃棄物処理実態調査（2016(平成 28)年度)」によるものであるため、他章で実績整理したデータと一致しない場合があります。

表 4-12-3 実績と偏差値

標準的な指標	人口1人1日 当たりごみ 総排出量 (kg/人・日)	廃棄物からの 資源回収率 (t/t)	廃棄物のうち 最終処分され る割合 (t/t)	人口1人1日 当たり年間 処理経費 (円/人・年)	最終処分減量 に要する費用 (円/t)
平均	0.904	0.172	0.102	14,120	49,853
最大	1.482	0.43	0.388	34,121	479,948
最小	0.032	0.019	0	3,781	8,486
標準偏差	0.217	0.076	0.069	5,851	51,135
当該市町村実績	1.029	0.137	0.205	17,092	51,376
指数値	86.2	79.7	-1.0	79.0	96.9

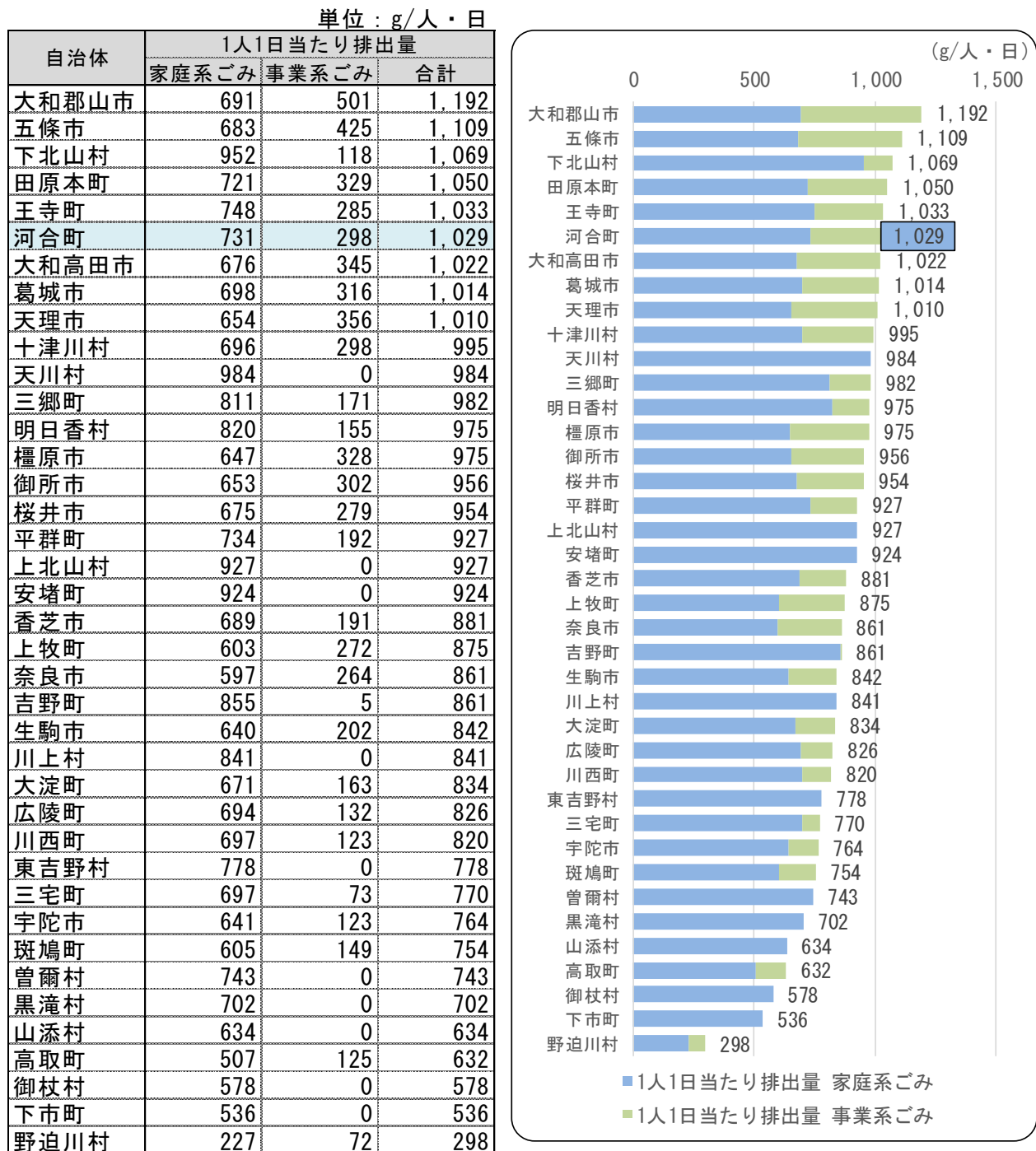


※黒線が赤線の内側にある指標は、本町が類似市町村よりも劣っていることを示します。

図 4-12-1 河合町のごみ処理システムの評価

2) 奈良県の市町村との比較

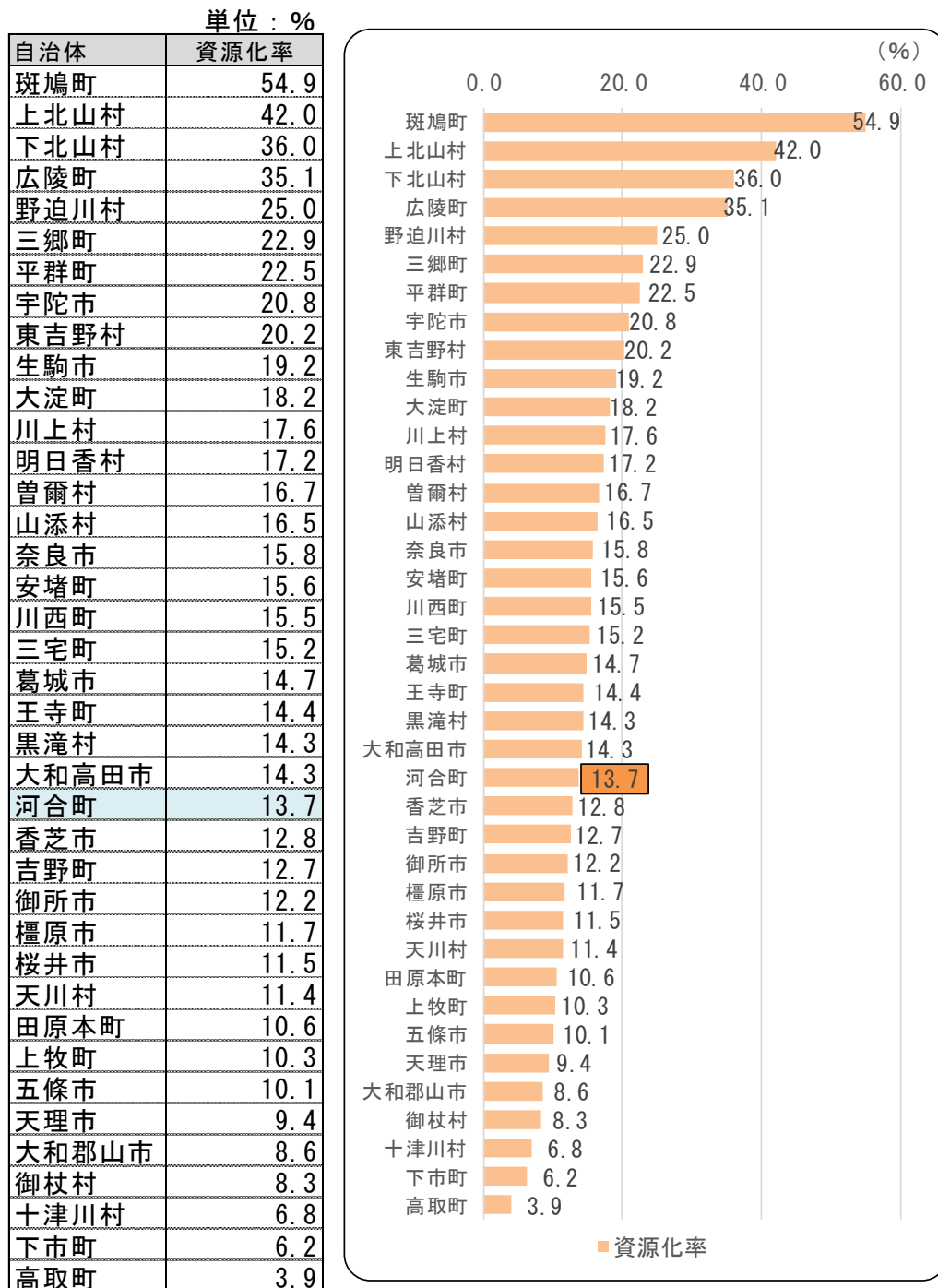
奈良県の市町村の1人1日平均ごみ排出量は以下のとおりです。本町の1人1日平均ごみ排出量は1,029 g/人・日で、奈良県の中では比較的多い自治体となっています。



出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査」（2016(平成28)年度)

図 4-12-2 奈良県の市町村の1人1日平均ごみ排出量

奈良県の市町村の資源化率は以下のとおりです。本町の資源化率は 13.7%で、奈良県の中では比較的低い自治体となっています。



出典：環境省「一般廃棄物処理実態調査」（2016(平成 28)年度）

図 4-12-3 奈良県の市町村の資源化率

1 3 . 課題の抽出

1) 排出抑制

- ・ごみ組成分析調査の結果をみると、高い順から、紙類（50.59%）、ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類（17.25%）、厨芥類（15.30%）となっていることから、特に紙類の減量のごみ排出量の削減に効果的であると考えられます。
- ・ごみ処理システムの評価で示したように、本町は、人口規模や産業構造の類似した市町村と比較して、1人1日平均ごみ排出量が多くなっているため、住民・及び事業者のごみ減量に対する意識の向上を図る必要があります。

2) 資源化

- ・過去5年間の集団資源回収量は減少傾向にあり、今後は、集団資源回収への協力を呼びかけるとともに、そのあり方についても検討する必要があります。
- ・ごみ処理システムの評価で示したように、本町は、人口規模や産業構造の類似した市町村と比較して資源化率が低くなっているため、今後は、リサイクル活動の取組の推進、支援を行う必要があります。

3) 収集運搬

- ・2023(平成35)年度中に、広域組合の新ごみ処理施設が稼働開始予定であり、本町も新ごみ処理施設においてごみの処理を行う計画です。新ごみ処理施設への運搬については、中継施設を整備し、大型車に積み替えを行う必要があります、それに伴い、運搬体制等の調整を行う必要があります。
- ・ごみ処理の広域化に向けて、もやすごみの分別区分等が異なることから、住民及び事業者に対して情報提供を行っていく必要があります。

4) 中間処理

- ・既存のごみ焼却施設の老朽化が進んでおり、今後、新ごみ処理施設へ移行するまでの期間、延命できるよう定期的な部品交換、修繕及び清掃を行い、施設の更新を検討していく必要があります。
- ・既存の粗大ごみ処理施設は老朽化が進んでいますが、現施設を継続して利用するため、延命できるよう定期的な部品交換、修繕及び清掃を行い、施設の更新を検討していく必要があります。

5) 最終処分

- ・本町では、容器包装廃棄物や破碎後の残渣等については、民間業者に処分を委託しており、焼却残渣等は、大阪湾フェニックスセンターに埋め立て処分を委託しています。
- ・ごみ処理システムの評価で示したように、本町は、人口規模や産業構造の類似した市町村と比較して最終処分される廃棄物の割合が高くなっています。原因のひとつとして、紙類等の資源物を焼却処理していることが考えられるため、今後は、分別区分を

増やしたり、掲示物により分別を促進する等、可燃ごみに含まれる資源物の分別を徹底し、最終処分量の削減に努める必要があります。

第5章 ごみ処理基本計画

1. ごみ処理の基本理念

本町のごみ処理の基本理念は、広域組合の基本理念を採用し、以下のように定めることとします。

基本理念 排出抑制を最優先にした資源循環型社会の形成

2. ごみ処理の基本方針

ごみ処理の基本方針は、広域組合の基本方針を参考に、以下の4つの基本方針を掲げることとします。

基本方針1 排出抑制を最優先にした、ごみの減量・資源化の促進

排出抑制の意義と3Rの優先順位の周知を図り、普及啓発等を通じ、住民、事業者、行政でパートナーシップを構築し、一体となってごみの減量化・資源化を促進します。

基本方針2 ごみ処理サービスの向上

ごみ処理の広域化にともない、分別区分等、ごみ処理体制も変化させる必要があります。住民の方々の理解を得られるよう十分な情報提供に行うとともに、ごみ処理サービスの向上に努めます。

基本方針3 計画的な施設整備の推進

新ごみ処理施設が稼働するまでまだ数年かかるため、既存ごみ処理施設の適切な維持管理に努めます。また、新ごみ処理施設への搬入のために、ごみを大型車に積み替えを行う可燃ごみ中継施設の整備を計画的に進めます。広域移行後、もやすごみは中継施設に運搬を行いますが、不燃ごみ、粗大ごみ及び資源ごみについては引き続き河合町清掃工場で処理を行うため、計画的な施設整備を行い、適切な管理に努めます。

基本方針4 安心・安全・安定な廃棄物処理の仕組みの構築

常時、安心・安全・安定な廃棄物処理を行います。また、大規模災害発生等の事態を想定し、非常時においても安心、安全に廃棄物の処理を実施できる体制を整備できるよう、事業継続計画（BCP）を定めることに努めます。

3. 計画人口

ごみの排出量は一般的に人口に比例するため、将来のごみの排出量の予測を行うにあたって、将来人口を設定します。将来人口としては、本町が2015(平成27)年度に策定した「河合町人口ビジョン」における予測結果を用いて算出しています。

表 5-3-1 河合町の将来人口の予測結果

	年度	人口
実績	2013 (H25)	18,734
	2014 (H26)	18,521
	2015 (H27)	18,323
	2016 (H28)	18,118
	2017 (H29)	17,846
予測	2018 (H30)	17,791
	2019 (H31)	17,736
	2020 (H32)	17,681
	2021 (H33)	17,626
	2022 (H34)	17,571
	2023 (H35)	17,516
	2024 (H36)	17,461
	2025 (H37)	17,406
	2026 (H38)	17,351
	2027 (H39)	17,296
	2028 (H40)	17,241
	2029 (H41)	17,186
	2030 (H42)	17,131
	2031 (H43)	17,076
	2032 (H44)	17,021
	2033 (H45)	16,966

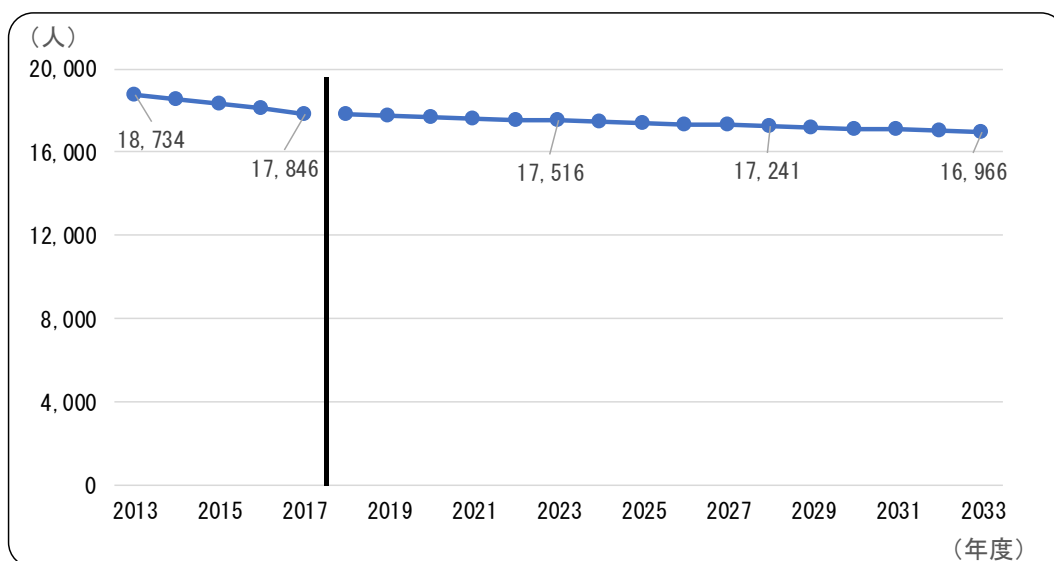


図 5-3-1 河合町の将来人口の予測結果

4. 数値目標について

以下のような方針に基づき、本町の実績や可燃分中の組成分析調査結果を踏まえた上で目標値を設定しました。

方針 1 : 食品ロスの削減、マイバッグ運動の促進等により、2033(平成 45)年度までにごみ総排出量を 12%以上、1 人 1 日平均ごみ排出量を 7%以上減少させます。

方針 2 : 資源物の分別徹底の啓発と集団資源回収の利用促進、小型家電製品の分別開始等により、2033(平成 45)年度までに資源化量を 19%以上増加させ、資源化率を 18.5%以上にします。

方針 3 : これまで不燃粗大ごみから最終処分されていたものから資源化できるものを資源物として取り除くこと等により、2033(平成 45)年度までに最終処分量を 25%以上減少させ、最終処分率を 18%以下にします。

本計画における数値目標を表 5-4-1 に、本計画における 2033(平成 45)年度の数値目標の設定根拠を表 5-4-2 に示します。

表 5-4-1 本計画の数値目標

数値目標項目	単位	現状	目標値		
		基準年度 (2017(H29))	2023(H35)	2028(H40)	目標年度 (2033(H45))
ごみ総排出量	t	6,546.2	6,259.7	5,992.9	5,756.0
2017(H29) 比	—	—	▲286.5 以上	▲553.3 以上	▲790.2 以上
	%	—	▲4.4%以上	▲8.5%以上	▲12.1%以上
1 人 1 日平均ごみ排出量	g/人・日	1,005.1	982.0	956.6	931.1
2017(H29) 比	—	—	▲23.1 以上	▲48.5 以上	▲74.0 以上
	%	—	▲2.3%以上	▲4.8%以上	▲7.4%以上
資源化量	t	894.1	906.0	985.6	1,063.8
2017(H29) 比	—	—	11.9 以上	91.5 以上	169.7 以上
	%	—	1.3%以上	10.2%以上	19.0%以上
資源化率	%	13.7	14.5	16.4	18.5
2017(H29) 比	—	—	0.8 以上	2.7 以上	4.8 以上
	%	—	5.8%以上	19.7%以上	35.0%以上
最終処分量	t	1,349.3	1,189.9	1,094.4	1,012.6
2017(H29) 比	—	—	▲159.4 以上	▲254.9 以上	▲336.7 以上
	%	—	▲11.8%以上	▲18.9%以上	▲25.0%以上
最終処分率	%	20.6	19.0	18.3	17.6
2017(H29) 比	—	—	▲1.6 以上	▲2.3 以上	▲3.0 以上
	%	—	▲7.8%以上	▲11.2%以上	▲14.6%以上

表 5-4-2 数値目標の設定根拠

数値目標項目	設定根拠
ごみ総排出量	現状の施策を継続した場合の予測結果では、ごみ総排出量は 8%程度の減少（2017(平成 29)年度実績 6,546.2t/年に対して 2033(平成 45)年度予測 5,979.6t/年）、1人1日平均ごみ排出量は 4%程度の減少（2017(平成 29)年度実績 1,005.1g/人・日に対して 2033(平成 45)年度予測 967.7g/人・日）となります。 本町でこれまで実施してきた可燃分中の組成分析調査結果の過去 5 年間平均では、紙・布類が 50.59%を占めており、そのうち 10%の約 22g/人・日を減量します。また、厨芥類は 15.3%を占めており、他調査結果が示す 34%が減量可能として約 22g/人・日を減量します。
1人1日平均ごみ排出量	本町では、これらに特化した取り組みとその啓発の徹底、さらに住民自らが日常の行動を見直すことで、可燃ごみに限らずプラスチック類や粗大ごみ等の不燃ごみを減量することにより、本計画では、「奈良県廃棄物処理計画」に示されている目標（ごみ総排出量：2014(平成 26)年度と比較して 2022(平成 34)年度に約 12%削減、1人1日平均ごみ排出量：2015(平成 27)年度と比較して 2022(平成 34)年度に約 7%削減）と同様の数値目標とし、<u>2017(平成 29)年度を基準とした 2033(平成 45)年度におけるごみ総排出量を 12%以上削減、1人1日平均ごみ排出量を 7%以上削減</u>することを目標とします。
資源化量	現状の施策を継続した場合の予測結果では 2033(平成 45)年度に 11.5%となり、資源化量も減少（2017(平成 29)年度実績 894.1t/年に対して 2033(平成 45)年度予測 685.7t/年）となります。 本町で実施した可燃分中の組成分析調査結果と他調査結果が示す再生可能な紙・布類のうち、半数を適切な分別区分である資源ごみとして排出することにより、資源化量を約 150t/年増加させます。
資源化率	さらに、これまで粗大ごみとして排出されていた小型家電製品の分別も開始し、新たな分別区分を徹底し資源化することにより、本計画では、「山辺・県北西部広域環境衛生組合 一般廃棄物処理基本計画」に示されている目標（2031(平成 43)年度に 18.5%）と同様の数値目標とし、<u>2033(平成 45)年度における資源化率を 18.5%以上</u>にすることを目標とします。そのために、<u>2017(平成 29)年度を基準年度とした 2033(平成 45)年度における資源化量を 19%以上増加</u>させることを目標とします。
最終処分量	現状の施策を継続した場合の予測では微減（2017(平成 29)年度実績 1,349.3t/年に対して 2033(平成 45)年度予測 1,207.6t/年）となります。
最終処分率	本町では、適切な分別区分での排出を徹底し、焼却する量を減らすこと等で最終的に処分される量を削減することにより、本計画では、「奈良県廃棄物処理計画」で示されている目標（2015(平成 27)年度と比較して 2022(平成 34)年度に約 25%削減）と同様の数値目標とし、<u>2017(平成 29)年度を基準年度とした 2033(平成 45)年度における最終処分量を 25%以上削減</u>することを目標とします。それに伴い、<u>2033(平成 45)年度における最終処分率を 18%以下</u>にすることを目標とします。

5. 将来の年間ごみ排出量

現状の傾向が続くと仮定した場合の、将来の年間ごみ排出量の予測結果は以下のとおりです。人口が減少すると予測されることから、家庭系ごみ、有害ごみ、集団資源回収については減少傾向になっていますが、事業系ごみ、一般持込については増加傾向と予測されます。年間ごみ排出量は減少傾向になると予測され、目標年度の2033(平成45)年度におけるごみ総排出量は5,979.6tとなります。

表 5-5-1 将来の年間ごみ排出量（現状が続くと仮定した場合）

単位：t

		実績	予測			増減
		2017 (H29)	2023 (H35)	2028 (H40)	2033 (H45)	
人口（人）		17,846	17,516	17,241	16,966	-880
家庭系		3,499.1	3,347.8	3,211.4	3,091.3	-407.8
	可燃ごみ	2,786.1	2,681.7	2,582.6	2,493.1	-293.0
	不燃ごみ	526.3	493	470.8	453.3	-73.0
	廃プラスチック	367.8	332.1	308.4	289.8	-78.0
	粗大ごみ(鉄くず含む)	158.5	160.9	162.4	163.5	5.0
	資源ごみ	186.7	173.1	158.0	144.9	-41.8
	かん・びん	152.5	137.2	122.1	108.4	-44.1
	ペットボトル	34.2	35.9	35.9	36.5	2.3
事業系		1,878.4	1,924.5	1,908.6	1,893.1	14.7
	可燃ごみ	1,849.1	1,895.7	1,880.3	1,865.2	16.1
	不燃ごみ	29.3	28.8	28.3	27.9	-1.4
	粗大ごみ	29.3	28.8	28.3	27.9	-1.4
一般持込		497.6	497.6	491.6	487.5	-10.1
	可燃ごみ	454.1	446.8	438.6	431.6	-22.5
	不燃ごみ	43.3	50.6	52.8	55.7	12.4
	廃プラスチック	3.2	3.2	3.1	3.1	-0.1
	粗大ごみ(鉄くず含む)	40.1	47.4	49.7	52.6	12.5
	資源ごみ	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0
	かん・びん	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0
	ペットボトル	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0
計		5,875.1	5,769.9	5,611.6	5,471.9	-403.2
	可燃ごみ	5,089.3	5,024.2	4,901.5	4,789.9	-299.4
	不燃ごみ	558.3	531.4	512.9	499.7	-58.6
	廃プラスチック	371.0	335.3	311.5	292.9	-78.1
	粗大ごみ	187.3	196.1	201.4	206.8	19.5
	資源ごみ	227.5	214.3	197.2	182.3	-45.2
	かん・びん	186.9	173.3	158.2	145.1	-41.8
	ペットボトル	40.6	41.0	39.0	37.2	-3.4
	鉄くず	40.6	41.0	39.0	37.2	-3.4
有害ごみ		4.4	4.5	4.4	4.3	-0.1
集団資源回収		666.7	584.7	536.0	503.4	-163.3
	新聞紙	300.0	203.9	154.6	121.4	-178.6
	雑誌	205.1	217.3	218.4	218.6	13.5
	段ボール	98.4	107.1	110.8	113.9	15.5
	紙パック	3.0	3.2	3.1	3.1	0.1
	古着類	48.4	41.7	38.4	35.9	-12.5
	かん	11.8	11.5	10.7	10.5	-1.3
	合計	6,546.2	6,359.1	6,152.0	5,979.6	-566.6

本計画における目標達成時の将来の年間ごみ排出量は以下のとおりです。ごみ総排出量は、2017(平成 29)年度実績の 6,546.2t から 2033(平成 45)年度時点で 5,756.0t 以下にすることを目指します。

表 5-5-2 将来の年間ごみ排出量（目標達成時）

単位：t

		実績		目標		単位：t
		2017 (H29)	2023 (H35)	2028 (H40)	2033 (H45)	増減
人口（人）		17, 846	17, 516	17, 241	16, 966	-880
家庭系		3, 499. 1	3, 275. 3	3, 075. 5	2, 897. 6	-601. 5
	可燃ごみ	2, 786. 1	2, 601. 5	2, 366. 2	2, 144. 5	-641. 6
	不燃ごみ	526. 3	468. 7	416. 6	374. 7	-151. 6
	廃プラスチック	367. 8	316. 1	272. 5	231. 0	-136. 8
	粗大ごみ(鉄くず含む)	158. 5	152. 6	144. 1	143. 7	-14. 8
	資源ごみ	186. 7	205. 1	292. 7	378. 4	191. 7
	かん・びん	152. 5	150. 0	147. 3	144. 9	-7. 6
	ペットボトル	34. 2	37. 2	38. 4	40. 3	6. 1
	小型家電	－	0. 6	3. 8	6. 8	－
	紙類・古着類	－	17. 3	103. 2	186. 4	－
事業系		1, 878. 4	1, 848. 8	1, 814. 9	1, 786. 0	-92. 4
	可燃ごみ	1, 849. 1	1, 820. 0	1, 786. 6	1, 758. 1	-91. 0
	不燃ごみ	29. 3	28. 8	28. 3	27. 9	-1. 4
	粗大ごみ	29. 3	28. 8	28. 3	27. 9	-1. 4
一般持込		497. 6	470. 1	444. 4	421. 3	-76. 3
	可燃ごみ	454. 1	427	402. 1	379. 6	-74. 5
	不燃ごみ	43. 3	42. 9	42. 1	41. 5	-1. 8
	廃プラスチック	3. 2	3. 2	3. 1	3. 1	-0. 1
	粗大ごみ(鉄くず含む)	40. 1	39. 7	39. 0	38. 4	-1. 7
	資源ごみ	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	0. 0
	かん・びん ペットボトル	0. 2	0. 2	0. 2	0. 2	0. 0
計		5, 875. 1	5, 594. 2	5, 334. 8	5, 104. 9	-770. 2
	可燃ごみ	5, 089. 3	4, 848. 5	4, 554. 9	4, 282. 2	-807. 1
	不燃ごみ	558. 3	500. 7	448. 0	405. 7	-152. 6
	廃プラスチック	371. 0	319. 3	275. 6	234. 1	-136. 9
	粗大ごみ	187. 3	181. 4	172. 4	171. 6	-15. 7
	資源ごみ	227. 5	245. 0	331. 9	417. 0	189. 5
	かん・びん ペットボトル	186. 9	187. 4	185. 9	185. 4	-1. 5
	鉄くず	40. 6	39. 7	39. 0	38. 4	-2. 2
	小型家電	－	0. 6	3. 8	6. 8	－
	紙類・古着類	－	17. 3	103. 2	186. 4	－
	有害ごみ	4. 4	4. 5	4. 4	4. 3	-0. 1
集団資源 回収		666. 7	661. 0	653. 7	646. 8	-19. 9
	新聞紙	300. 0	265. 6	237. 7	209. 7	-90. 3
	雑誌	205. 1	220. 5	231. 0	242. 1	37. 0
	段ボール	98. 4	112. 8	123. 3	134. 4	36. 0
	紙パック	3. 0	3. 2	3. 8	3. 7	0. 7
	古着類	48. 4	47. 4	46. 6	45. 8	-2. 6
	かん	11. 8	11. 5	11. 3	11. 1	-0. 7
合計		6, 546. 2	6, 259. 7	5, 992. 9	5, 756. 0	-790. 2

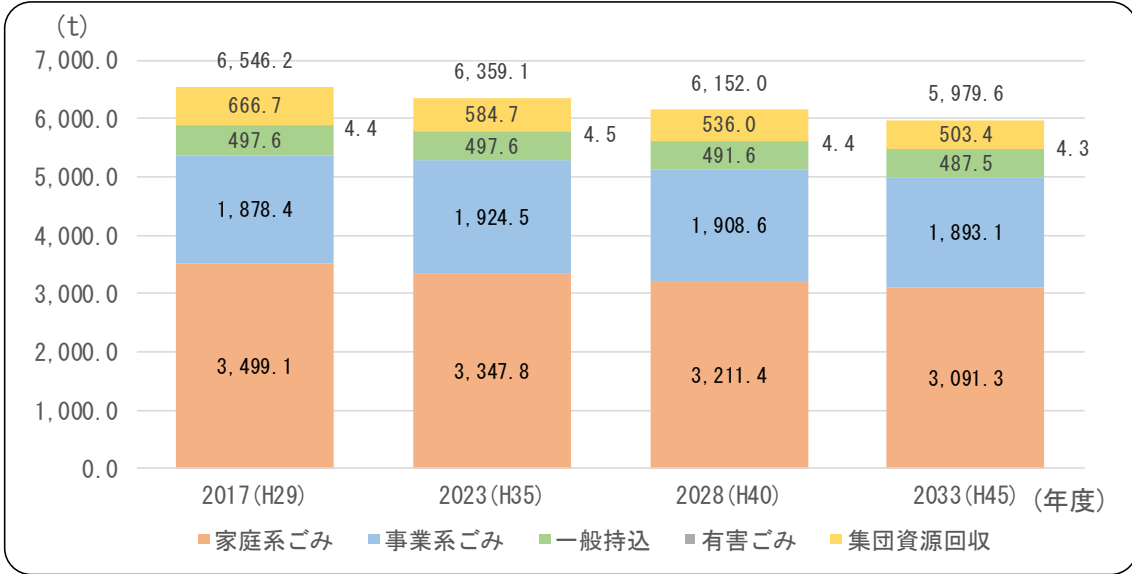


図 5-5-1 将来の年間ごみ排出量(現状が続く場合)

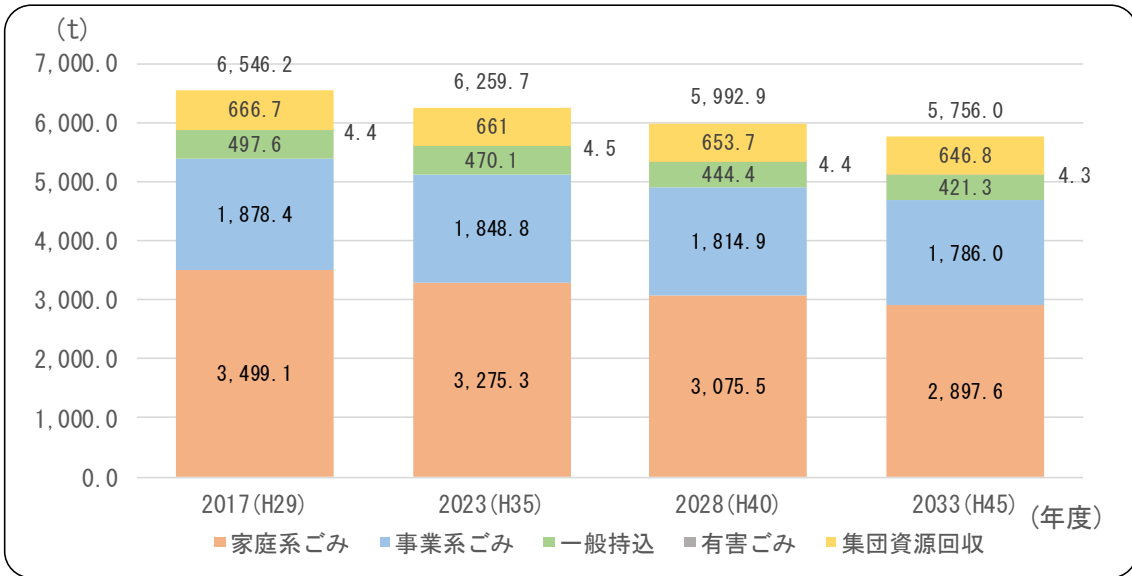


図 5-5-2 将来の年間ごみ排出量(目標達成時)

6. 将来の1人1日平均ごみ排出量

現状の傾向が続くと仮定した場合の、将来の1人1日平均ごみ排出量の予測結果は以下のとおりです。家庭系ごみ排出量と集団資源回収量については減少傾向が続くと予測されますが、事業系ごみ排出量と一般持込ごみ排出量については、過去5年間の傾向から増加傾向になると予測されます。1人1日平均ごみ排出量は減少傾向になると予測され、目標年度の2033(平成45)年度では967.7g/人・日となります。

表 5-6-1 将来の平均ごみ排出量（現状が続くと仮定した場合）

単位：g/人・日

		実績	予測			増減
		2017 (H29)	2023 (H35)	2028 (H40)	2033 (H45)	
人口（人）		17,846	17,516	17,241	16,966	-880
家庭系		537.2	522.2	510.3	499.2	-38.0
	可燃ごみ	427.7	418.3	410.4	402.6	-25.1
	不燃ごみ	80.8	76.9	74.8	73.2	-7.6
	廃プラスチック	56.5	51.8	49.0	46.8	-9.7
	粗大ごみ(鉄くず含む)	24.3	25.1	25.8	26.4	2.1
	資源ごみ	28.7	27.0	25.1	23.4	-5.3
	かん・びん	23.4	21.4	19.4	17.5	-5.9
	ペットボトル	5.3	5.6	5.7	5.9	0.6
事業系		288.4	300.2	303.3	305.7	17.3
	可燃ごみ	283.9	295.7	298.8	301.2	17.3
	不燃ごみ	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0
	粗大ごみ	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0
一般持込		76.3	77.6	78.1	78.7	2.4
	可燃ごみ	69.7	69.7	69.7	69.7	0.0
	不燃ごみ	6.6	7.9	8.4	9.0	2.4
	廃プラスチック	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
	粗大ごみ(鉄くず含む)	6.2	7.4	7.9	8.5	2.3
	資源ごみ	0.03	0.03	0.03	0.03	0.0
	かん・びん ペットボトル	0.03	0.03	0.03	0.03	0.0
計		901.9	906.2	896.5	886.6	-15.3
	可燃ごみ	781.3	783.7	778.9	773.5	-7.8
	不燃ごみ	85.8	89.1	86.3	83.7	-2.1
	廃プラスチック	57.0	52.3	49.5	47.3	-9.7
	粗大ごみ	28.8	36.8	36.8	36.4	7.6
	資源ごみ	34.9	33.4	31.3	29.4	-5.5
	かん・びん ペットボトル	28.7	27.0	25.1	23.4	-5.3
	鉄くず	6.2	6.4	6.2	6.0	-0.2
有害ごみ		0.7	0.7	0.7	0.7	0.0
集団資源回収		102.4	90.8	84.4	80.4	-22.0
	新聞紙	46.1	31.4	23.8	18.7	-27.4
	雑誌	31.5	33.9	34.7	35.3	3.8
	段ボール	15.1	16.7	17.6	18.4	3.3
	紙パック	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
	古着類	7.4	6.5	6.1	5.8	-1.6
	かん	1.8	1.8	1.7	1.7	-0.1
合計		1,005.1	997.7	981.6	967.7	-37.4

本計画における目標達成時の将来の1人1日平均ごみ排出量は以下のとおりです。1人1日ごみ排出量は、2017(平成29)年度実績の1,005.1g/人・日から2033(平成45)年度時点で931.1g/人・日以下にすることを目指します。

表 5-6-2 将来の平均ごみ排出量（目標達成時）

単位：g/人・日

		実績	目標			増減
		2017 (H29)	2023 (H35)	2028 (H40)	2033 (H45)	
人口（人）		17,846	17,516	17,241	16,966	-880
家庭系		537.2	510.9	488.7	467.9	-69.3
	可燃ごみ	427.7	405.8	376.0	346.3	-81.4
	不燃ごみ	80.8	73.1	66.2	60.5	-20.3
	廃プラスチック	56.5	49.3	43.3	37.3	-19.2
	粗大ごみ(鉄くず含む)	24.3	23.8	22.9	23.2	-1.1
	資源ごみ	28.7	32.0	46.5	61.1	32.4
	かん・びん	23.4	23.4	23.4	23.4	0.0
	ペットボトル	5.3	5.8	6.1	6.5	1.2
	小型家電	—	0.1	0.6	1.1	—
	紙類・古着類	—	2.7	16.4	30.1	—
事業系		288.4	288.4	288.4	288.4	0.0
	可燃ごみ	283.9	283.9	283.9	283.9	0.0
	不燃ごみ	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0
	粗大ごみ	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0
一般持込		76.3	73.3	70.6	68.0	-8.3
	可燃ごみ	69.7	66.6	63.9	61.3	-8.4
	不燃ごみ	6.6	6.7	6.7	6.7	0.1
	廃プラスチック	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0
	粗大ごみ(鉄くず含む)	6.2	6.2	6.2	6.2	0.0
	資源ごみ	0.03	0.03	0.03	0.03	0.0
	かん・びん ペットボトル	0.03	0.03	0.03	0.03	0.0
計		901.9	878.7	853.2	827.5	-74.4
	可燃ごみ	781.3	756.3	723.8	691.5	-89.8
	不燃ごみ	85.8	84.2	76.7	68.7	-17.1
	廃プラスチック	57.0	49.8	43.8	37.8	-19.2
	粗大ごみ	28.8	34.4	32.9	30.9	2.1
	資源ごみ	34.9	38.2	52.7	67.3	32.4
	かん・びん ペットボトル	28.7	29.2	29.5	29.9	1.2
	鉄くず	6.2	6.2	6.2	6.2	0.0
	小型家電	—	0.1	0.6	1.1	—
	紙類・古着類	—	2.7	16.4	30.1	—
有害ごみ		0.7	0.7	0.7	0.7	0.0
集団資源 回収		102.4	102.6	102.7	102.9	0.5
	新聞紙	46.1	40.9	36.6	32.3	-13.8
	雑誌	31.5	34.4	36.7	39.1	7.6
	段ボール	15.1	17.6	19.6	21.7	6.6
	紙パック	0.5	0.5	0.6	0.6	0.1
	古着類	7.4	7.4	7.4	7.4	0.0
	かん	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0
合計		1,005.1	982.0	956.6	931.1	-74.0

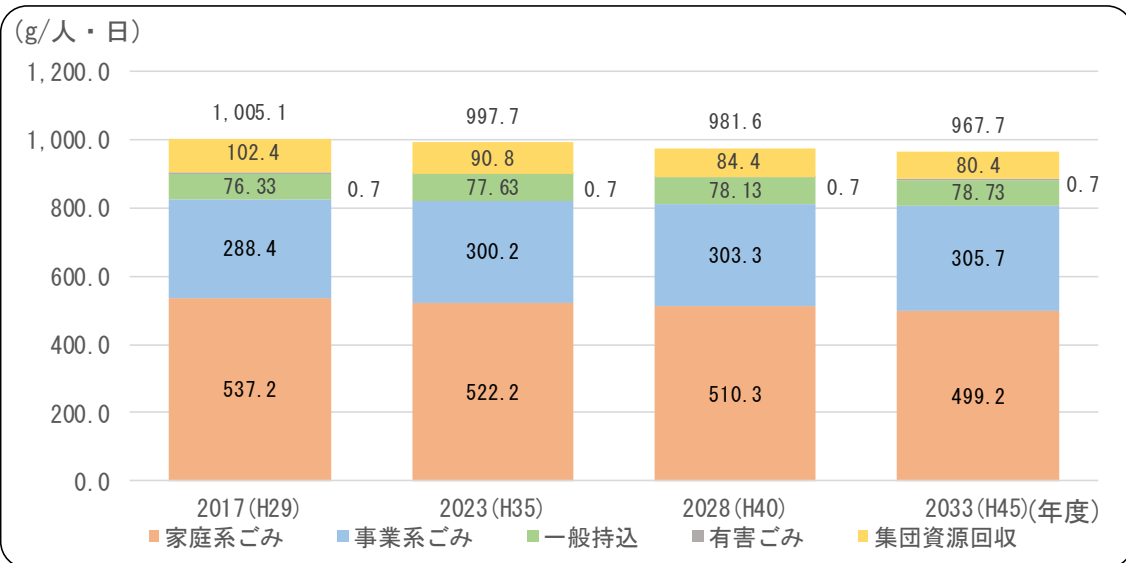


図 5-6-1 将来の平均ごみ排出量（現状が続いた場合）

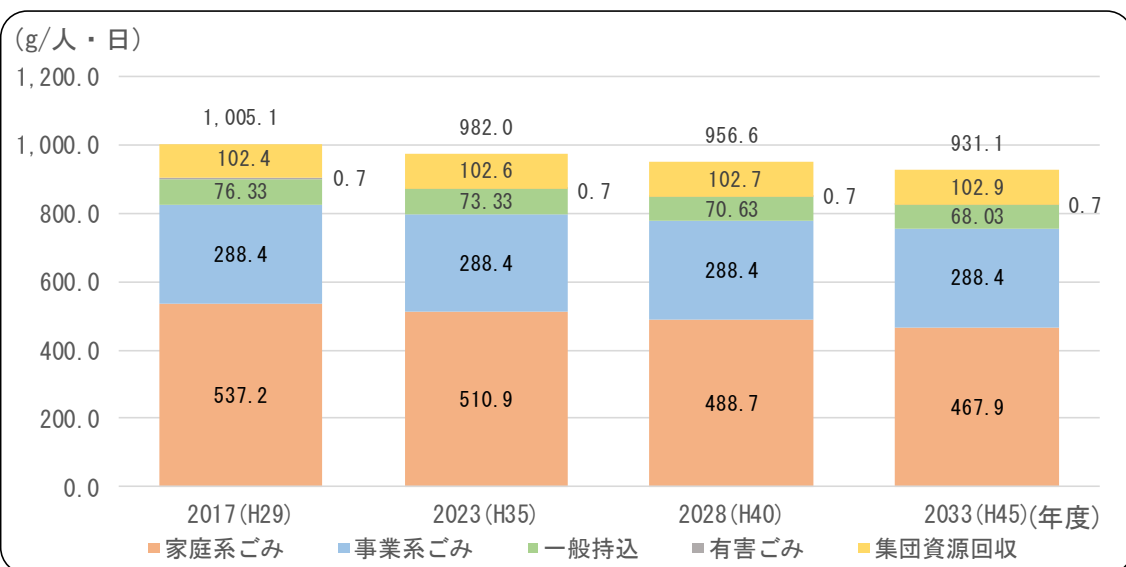


図 5-6-2 将来の平均ごみ排出量（目標達成時）

7. 将来の処理・資源化量、最終処分量

現状の傾向が続くと仮定した場合の、将来の処理・資源化量、最終処分量の予測結果は以下のとおりです。目標年度の2033(平成45)年度では、資源化率は11.5%、最終処分率は20.2%となります。

表 5-7-1 将来の処理・資源化量、最終処分量（現状が続いた場合）

単位：t

	実績	予測		
	2017 (H29)	2023 (H35)	2028 (H40)	2033 (H45)
人口（人）	17,846	17,516	17,241	16,966
総排出量	6,546.3	6,359.1	6,152.0	5,979.6
焼却処理量	5,521.0	5,325.7	5,195.6	5,077.3
焼却量（1号炉）	2,551.0			
焼却量（2号炉）	2,970.0			
資源化量	894.1	799.0	733.2	685.7
新聞紙	300.0	203.9	154.6	121.4
雑誌	205.1	217.3	218.4	218.6
段ボール	98.4	107.1	110.8	113.9
紙パック	3.0	3.2	3.1	3.1
古着類	48.4	41.7	38.4	35.9
かん・びん	164.5	184.8	168.9	155.6
ペットボトル	34.1			
鉄くず	40.6	41.0	39.0	37.2
資源化率（%）	13.7	12.6	11.9	11.5
最終処分量	1,349.3	1,275.7	1,238.2	1,207.6
焼却灰	749.0	722.5	704.9	688.8
破碎ごみ・廃プラスチック	600.3	553.2	533.3	518.8
最終処分率（%）	20.6	20.1	20.1	20.2

本計画における目標達成時の将来の処理・資源化量、最終処分量は以下のとおりです。資源化率は、2017(平成 29)年度実績の 13.7%から 2033(平成 45)年度時点で 18.5%以上にすることを目指し、最終処分率は、2017(平成 29)年度実績の 20.6%から 2033(平成 45)年度時点で 17.6%以下にすることをそれぞれ目指します。

表 5-7-2 将来の処理・資源化量、最終処分量（目標達成時）

単位：t

	実績	目標		
	2017 (H29)	2023 (H35)	2028 (H40)	2033 (H45)
人口（人）	17,846	17,516	17,241	16,966
総排出量	6,546.3	6,259.7	5,992.9	5,756.0
焼却処理量	5,521.0	4,897.0	4,600.4	4,325.0
焼却量（1号炉）	2,551.0			
焼却量（2号炉）	2,970.0			
資源化量	894.1	906.0	985.6	1,063.8
新聞紙	300.0	265.6	237.7	209.7
雑誌	205.1	220.5	231.0	242.1
段ボール	98.4	112.8	123.3	134.4
紙パック	3.0	3.2	3.8	3.7
古着類	48.4	47.4	46.6	45.8
かん・びん	164.5	198.9	197.2	196.5
ペットボトル	34.1			
鉄くず	40.6	39.7	39.0	38.4
小型家電	—	0.6	3.8	6.8
紙類・古着類	—	17.3	103.2	186.4
資源化率（%）	13.7	14.5	16.4	18.5
最終処分量	1,349.3	1,189.9	1,094.4	1,012.6
焼却灰	749.0	664.3	624.1	586.7
破碎ごみ・廃プラスチック	600.3	525.6	470.3	425.9
最終処分率（%）	20.6	19.0	18.3	17.6

8. 将来のごみ分別区分

将来のごみ分別区分は以下のとおりです。2023(平成 35)年度までには小型家電製品の分別収集を開始します。

表 5-8-1 将来のごみ分別区分

品目		ごみの例
収集・自己搬入	もやすごみ	生ごみ（野菜・魚・肉等の調理くず、茶殻等）、紙くず類（雑がみ、ティッシュペーパー等）、木くず（落ち葉、剪定枝等）、布くず（布切れ、靴下等）、ふとん類（ふとん、毛布、ざぶとん等）
	もやさないごみ	プラスチック、ビニール類（プラスチック容器トレイ等）、ガラス・瀬戸物類（陶器・ガラスコップ等）、金属類（鍋、刃物類等）
	粗大ごみ	家電製品（電子レンジ、掃除機等）、家具類（たんす、机、ベッド等）、建具類（ふすま、障子等）
	資源ごみ	かん・びん（スチール缶、アルミ缶、飲み物等のびん）、ペットボトル（飲料用、酒類、調味料用のペットボトル）
	有害ごみ	電池類（水銀電池、乾電池、ボタン電池、体温計、蛍光灯電球）
拠点回収	小型家電製品	制度対象品目すべて（パソコン、電話機、デジタルカメラ、携帯電話等）
	新聞・雑誌	新聞紙、雑誌、古紙
	段ボール	段ボール
	古着類	下着、ワイシャツ、スーツ、ジャンパー、ジーンズ、セーター、ネクタイ等
集団資源回収		新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック、古着類、かん

9. 将来のごみの処理・処分の流れ

2023(平成 35)年度からの広域化を踏まえ、本計画の計画目標年度である 2033(平成 45)年度におけるごみ処理フローを示します。

なお、以下のごみ処理フローは、現時点で計画している内容であり、今後の協議により変更する可能性があります。

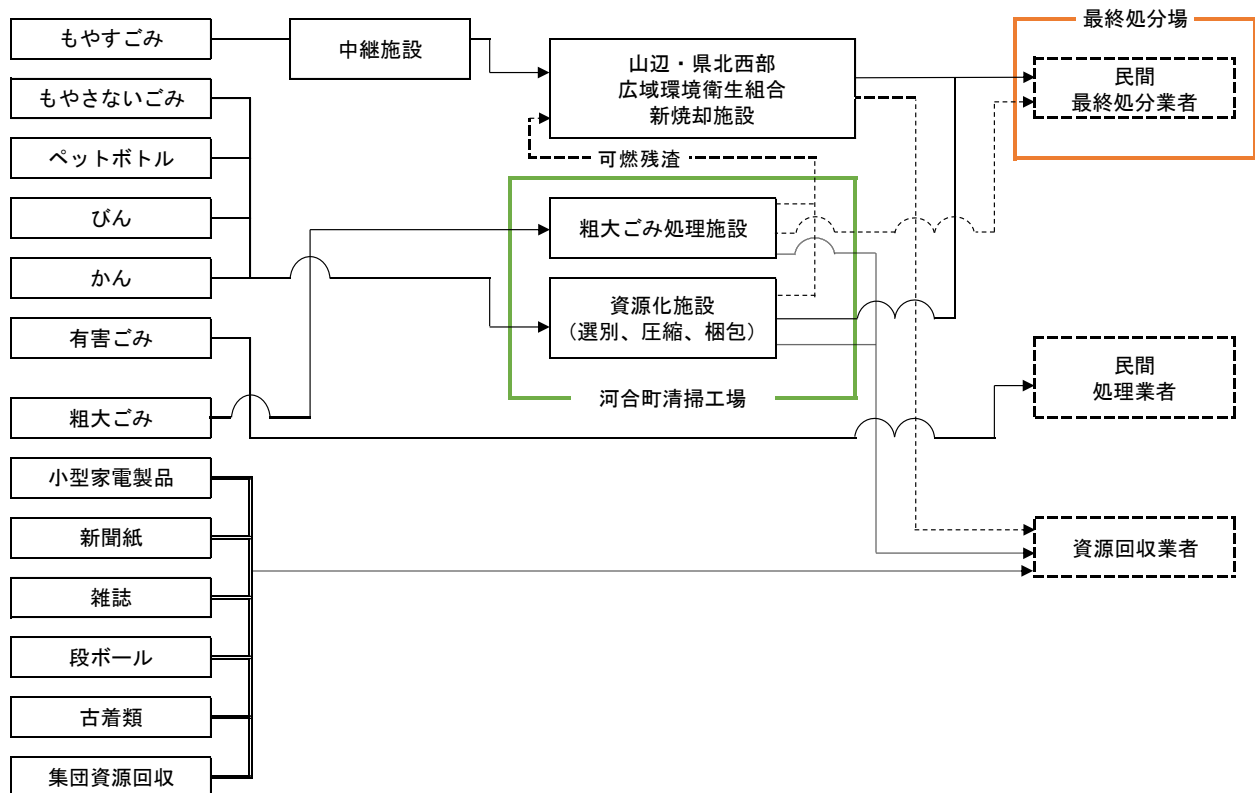


図 5-9-1 将来のごみ処理フロー図 (2033(平成 45)年度時点)

10. 排出抑制・再資源化計画

排出抑制、再資源化のためには、以下の4つの目標を設定します。

- 1) ごみゼロ生活の推進
- 2) 事業系の自主的な取り組みの促進
- 3) 各種リユースの促進
- 4) 廃棄物の再生利用の促進

1) ごみゼロ生活の推進

①ごみとなるものを家庭に持ち込まない

買い物時のマイバッグの利用推進、ばら売りや量り売りの利用、簡易包装、詰め替え用商品の利用等、本来必要ないものを家庭に持ち込まないような消費活動を、住民、事業者との協力のもと推進します。

②調理くず、食べ残し等の食品ロスを減らす

まだ食べることができるのに捨てられている食べ物を「食品ロス」といいます。大切な食べ物を無駄なく消費し、食品ロスを減らして環境面や家計面にとってもプラスになるような取り組みを住民、事業者それぞれができるところから進めます。行政はその取り組みを推進するために、住民、事業者への情報提供を図るとともに、啓発活動を通じて、食品ロス削減意識の向上に努めます。また、生ごみを排出する時の水切りの徹底を普及啓発します。

2) 事業系の自主的な取り組みの促進

①多量排出事業者に対する減量化計画策定・実施を進める

事業系廃棄物の処理責任は事業者自身にあります。多量排出事業者に対しては減量化計画の策定を促し、計画に基づく排出抑制や減量化の実施について積極的に指導します。

②事業者のごみ減量意識の向上を図る

事業者に対して、排出事業者責任や拡大生産者責任の徹底について啓発を行い、事業者の自主的なごみ減量化の取り組みを支援します。

3) 各種リユースの促進

①不用品交換やフリーマーケット等のリユースの場をつくる

ごみ減量の情報発信拠点を整備し、フリーマーケットの実施等により、リユースを促進します。

②リユース食器の利用を促進する

地域のお祭り、スポーツ大会等のイベント等に、リユース食器を取り入れる動きが全国各地で進んでいます。イベント等を開催する際は、リユース食器の導入を促進します。

4) 廃棄物の再生利用の促進

①資源化率向上のために新たな分別区分を徹底する

資源化率向上に向けて、2023(平成 35)年度までに小型家電製品を分別して資源化を行う予定です。また、新聞紙、雑誌、段ボール、古着類についても分別して資源化を行うことを検討していきます。分別区分の変更が円滑に行われるよう、十分に住民への周知を実施し、分別に対する理解を得られるように努めます。

②集団資源回収の支援を継続する

可燃ごみの中には、紙類が約 50.59%と多く含まれることから、紙類の再生利用を進めて行く必要があります。そのため、集団資源回収を実施する町内の住民団体を支援する補助制度を継続し、新聞紙、雑誌、段ボール・紙パック等の再生利用の促進に努めます。

～ 主な取り組みとその効果 ～

【可燃ごみの発生抑制に向けた取り組み】

○マイバッグ運動の促進

マイバッグを持参することによるレジ袋の削減により焼却ごみを減量化します。各家庭が1日1枚のレジ袋(5g)をマイバッグとすることを考えると、2017(平成29)年度の人口及び世帯数から $5\text{g}/\text{世帯} \cdot \text{日} \times 7,751 \text{ 世帯} \div 17,846 \text{ 人} = 2.2\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の削減となります。

○生ごみの水切りの啓発

水切りの徹底により、生ごみを減量化します。各家庭が1日に排出する生ごみからスプーン1杯分5gを減量化すると考えると、2017(平成29)年度の人口及び世帯数から $5\text{g}/\text{世帯} \cdot \text{日} \times 7,751 \text{ 世帯} \div 17,846 \text{ 人} = 2.2\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の削減となります。

○紙ごみの削減

本町の可燃分中組成分析調査結果の過去5年間平均値では50.59%が紙類であることから、そのうちの10%の削減を考えると $427.7\text{g}/\text{人} \cdot \text{日} \times 50.59\% \times 10\% = 21.6\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の削減となります。(目安：A4用紙1枚 約4g)

○食品ロス削減による生ごみの削減

環境省の調査結果では、家庭系ごみ(粗大ごみ除く)に含まれる食品廃棄物のうち34.0%が減量可能な直接廃棄、過剰除去、食べ残しであると示されています。

本町の可燃分中組成分析調査結果の過去5年間平均値より、可燃分中の15.30%が厨芥類であることから、 $427.7\text{g}/\text{人} \cdot \text{日} \times 15.30\% \times 34.0\% = 22.2\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ が減量可能な生ごみと予測されます。(目安：アスパラガス1本 約20g)

●減量の効果

上記の取組を実施することで $48.2\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の減量効果があります。これは、可燃ごみの2017(平成29)年度実績の約6.2%にあたります。

【不燃ごみの発生抑制に向けた取り組み】

○簡易包装の推進や使い捨て商品の抑制

不要な包装や使い捨て商品の購入を極力抑えること等、ライフスタイルの見直しを図ります。各家庭が容器・包装プラスチックの少ない商品を選ぶことで、1日にトレイ1枚分(10g)を減らすことを考えると、 $10\text{g}/\text{世帯} \cdot \text{日} \times 7,751 \text{ 世帯} \div 17,846 \text{ 人} = 4.3\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の削減となります。

○リユース意識を誘発する施策の展開による削減

リサイクルショップの利用促進等を通して、リユース推進等の啓発と再利用の意識啓発を図ります。各家庭が衣装ケース1個(6kg)を丁寧に扱うことでさらに3年間長く使用することを考えると、 $6\text{kg}/\text{世帯} \div 3 \text{ 年} \div 365 \text{ 日} \times 7,751 \text{ 世帯} \div 17,846 \text{ 人} = 2.4\text{g}/\text{人} \cdot \text{日}$ の削減となります。

●減量の効果

上記の取組を実施することで 6.7g/人・日の減量効果があります。これは、不燃ごみの 2017(平成 29)年度実績の約 7.8%にあたります。

【資源ごみの増加に向けた取り組み】

○分別徹底及び新たな収集方法の周知・啓発による紙類の削減

大阪市の実績より、燃えるごみとして排出されている紙類のうち 21.4%が再生可能となっています。本町の可燃分中組成分析調査結果の過去 5 年間平均値では 50.59%が紙類であることから、本町の現状を勘案しその半数が再生可能であると考え、 $427.7\text{g/人・日} \times 50.59\% \times 21.4\% \times 1/2 = 23.2\text{g/人・日}$ の資源化となります。(目安：A4 用紙 1 枚 約 4g)

○小型家電製品の分別の開始と周知・啓発

現在、粗大ごみとして排出されている小型家電製品を、資源ごみとして分別することを開始するとともにその分別徹底を周知・啓発することにより、1.0g/人・日以上 のさらなる資源化を目指します。

●資源化の効果

上記の取組を実施することで 24.2g/人・日の資源化効果があります。これは、資源ごみの 2017(平成 29)年度実績の約 69.3%にあたります。

【最終処分量の削減に向けた取り組み】

○可燃ごみから発生する焼却残渣の削減

可燃ごみに含まれる資源化可能物の分別徹底や生ごみの発生抑制等により焼却処理量を削減する取り組みの実施により、最終処分される焼却残渣(焼却灰)の削減につながります。

○不燃ごみから出る直接残渣の削減

不燃ごみの排出量の減量、また、小型家電製品の資源化分別の取り組みの実施により、直接最終処分される不燃残渣の削減につながります。

●削減の効果

削減した焼却処理量のおよそ 15%の最終処分量(焼却灰)が減少することになります。(可燃ごみを 100t 削減すると最終処分量はおよそ 15t 減少することになります)

1 1. 収集・運搬計画

ごみの収集・運搬については、以下の3つの目標を設定します。

- 1) 新ごみ処理施設整備を踏まえた新収集・運搬体制の構築
- 2) 住民サービスの向上
- 3) 事業系ごみの適正排出体制の構築

1) 新ごみ処理施設整備を踏まえた新収集・運搬体制の構築

①新収集・運搬体制を構築する

将来の分別区分ごとの排出方法は以下のとおりです。現時点での計画では、2023(平成 35)年度までに、小型家電製品を分別して資源化を行う予定です。また、新聞紙、雑誌、段ボール、古着類の分別による資源化と、粗大ごみの減量化施策を検討していきます。

表 5-11-1 分別区分ごとの排出方法等

品目		排出方法	収集回数	収集体制
収集・自己搬入	もやすごみ	指定袋に入れる	週2回	ステーション
	もやさないごみ	指定袋に入れる	週1回	ステーション
	資源ごみ	ペットボトル	月2回	ステーション
		空き缶	月2回	ステーション
		空きびん	月2回	ステーション
	有害ごみ	分別し、適宜汎用の袋に入れる	年4回	ステーション／拠点
	粗大ごみ	粗大ごみシールを貼って出す	週1回	ステーション
	小型家電製品	透明・半透明の袋に入れる	月1回	拠点
	新聞紙	—	月1回	拠点
	雑誌	—	月1回	拠点
	段ボール	—	月1回	拠点
	古着類	透明・半透明の袋に入れる	月1回	拠点
集団資源回収		—	—	—

②ごみ中継（積み替え）施設の整備を進める

新ごみ処理施設整備に伴い、収集運搬の効率化や直接搬入する住民の利便性の観点から、ごみ中継（積み替え）施設の近隣町共同化による整備を進めます。

2) 住民サービスの向上

①高齢化社会を踏まえ、住民サービスを向上する

今後、さらにひとり暮らしの高齢者世帯の増加が想定されることから、高齢者のみの世帯や障がい者世帯等、自宅からステーションまでごみを出すことが困難な世帯を対象に玄関先までごみを回収する「まごころ収集」による支援を行います。

3) 事業系ごみの適正排出体制の構築

①事業系ごみの分別排出を徹底する。

事業系ごみの処理責任は排出事業者にあり、可燃ごみに資源化物や産業廃棄物が混入することがないように、分別指導を強化し、混入防止に努めます。

②事業系ごみ収集運搬業者の適正指導を行う。

事業系ごみの収集・運搬は、事業者自らによる自己搬入もしくは収集・運搬許可業者によって実施されます。適正な収集・運搬作業を安定して、継続的に実施するため、指導を強化します。

③環境負荷の少ない収集車両を導入する

収集を委託、許可する民間業者に、環境負荷の少ない車両の導入を働きかけます。

1 2. 中間処理計画

ごみの中間処理については、以下の2つの目標を設定します。

- 1) 既存施設の適正な維持管理
 - 2) 循環型社会構築に貢献する施設の計画的整備

1) 既存施設の適正な維持管理

①既存施設の適正な維持管理に努める

本町のごみ焼却施設である河合町清掃工場は1977(昭和52)年の竣工であり、稼働後40年以上が経過しています。新ごみ処理施設稼働までの間、適正な維持管理を行い、安定的なごみ処理が行えるように努めます。

また、粗大ごみ処理施設についても、1991(平成3)年の竣工であり、稼働後約25年以上が経過しています。今後、施設の性能を維持するために適切な施設の保全・運用に努め、また性能の低下に対して必要となる基幹的設備・機器の更新を検討し、安定的な粗大ごみ処理が行えるように努めます。

②既存施設の負荷を減らす

今後も適切かつ安定したごみ処理を継続して行うために、可燃ごみ・粗大ごみの排出抑制等を図り、施設への負荷の削減に努めます。

③ごみ処理手数料及び一部指定ごみ袋料金の適正化に努める

本町ではすでにごみ処理手数料及び一部指定ごみ袋の有料化を導入していますが、全国的な傾向や周辺自治体の傾向を考慮し、現行の手数料、料金見直しについても検討を行い、適正化に努めます。

2) 循環型社会構築に貢献する施設の計画的整備

①ごみ処理広域化を推進する

本町のごみ焼却施設は小規模な施設であり、かつ、老朽化が進んでおり、維持管理の面で課題を抱えています。今後は、所属する山辺・県北西部広域環境衛生組合の新ごみ処理施設における広域的なごみ処理を推進し、安定的、経済的にごみを処理することを目指していきます。

②3Rを推進する

剪定枝、焼却灰の資源化、生ごみの有効利用を促進し、3Rを推進していきます。また、広域的に共同処理が行えるように調整検討を行います。

1 3. 最終処分計画

ごみの中間処理については、以下の目標を設定します。

- 1) 最終処分量の削減
 - 2) 広域最終処分場の安定的な確保

1) 最終処分量の削減

①ごみ減量化・資源化の推進により、最終処分量を削減します。

今後も、可燃ごみに含まれる資源化可能物の分別徹底、生ごみの削減等により、可燃ごみ排出量の削減に努め、焼却処理によって発生する残渣等を削減します。

2) 広域最終処分場の安定的な確保

①広域最終処分場を安定的に確保します。

最終処分量の削減に努めるとともに、最終処分が必要となる廃棄物への対応として、最終処分場の安定確保に努めます。本町としては、国や県に対して、大阪湾フェニックスセンター等の広域的な最終処分場の安定確保を要望していきます。

1 4. その他の計画

1) 住民や事業者に対する情報発信・啓発活動

①ごみ処理の責務の明確化

住民の責務

住民は、廃棄物の排出者として、廃棄物の減量やその他適正な処理に関する町の施策に協力する責務があります。今後も、行政として排出の抑制や再生利用の協力を求めていくものとします。

事業者の責務

事業者には、事業活動に伴って生じた廃棄物についての処理責任があります。事業者は、事業活動に伴って生じた廃棄物の再生利用等による減量化に努め、その製造、加工、販売等に際して、その製品が廃棄物となった場合に、その適正な処理が困難になることのないようにする必要があります。また、廃棄物の減量化、適正処理の確保のための国や市町村の施策に協力する必要があります。

行政は、事業者に廃棄物処理の協力を求めるため、指導・啓発等を行います。

行政の責務

行政は、処理計画に従って、その区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上、支障が生じないように処理する責任があり、一般廃棄物の処理事業にあたる職員の質の向上等、その能率的な運営に努めます。また、一般廃棄物の減量に関し、住民の自主的な活動を促し、その適正な処理に必要な措置を講ずるように努めます。

②ごみに関する情報提供の充実

従来のごみの出し方パンフレット等に加え、インターネットを活用し、ホームページやスマートフォンアプリ等を活用する等、媒体の拡充を図ります。また、多言語に対応する等、誰にでも分かりやすい情報提供に努めます。

2) 適正処理困難物に対する対処方法

①適正処理困難物への対応強化

本町施設および新ごみ処理施設での処理が困難な適正処理困難物等の廃棄物については、拡大生産者責任の観点から、適正処理困難物の製造、加工、販売等を行う事業者に対してその回収等の措置を講ずるよう要請していきます。ただし、一般廃棄物については本町の処理責任のもとで、必要な受け皿の検討もしていきます。

なお、現状、本町が取り扱わない品目については、不法投棄の未然防止から、専門事業者等の紹介を行います。

②在宅医療廃棄物の適正処理

在宅医療に伴い家庭から排出される医療系廃棄物の内、感染の恐れのある廃棄物は、本町では収集を行っていません。これらの医療廃棄物については、種類ごとに医療機関・薬局等の関係機関で適切な回収に努めるとともに、専門業による処理等の排出ルールを定め、対象者へ医療機器とともに配布する等、関係者への周知徹底を図ります。

③不法投棄防止の推進

不法投棄や散乱ごみを防止するため、住民への啓発を進めるとともに、地域外からの不法投棄を防止するため、地域、警察、道路管理者等との連携による監視体制を強化します。また、不法投棄がある箇所を特定し、不法投棄されにくい環境の整備を推進します。

15. 災害廃棄物処理基本方針

1) 被害想定

2016(平成28)年3月に策定された「奈良県災害廃棄物処理計画（以下「県災害廃棄物処理計画」という。）では、奈良県内で対象となる大規模地震と被害及び災害廃棄物量の推計を行っています。本町では、被害の大きい災害として中央構造線断層帯地震を想定しています。

表 5-15-1 想定する地震とその規模

項目	内容
想定地震	中央構造線断層帯地震
予想規模	マグニチュード 8.0
建物全壊・焼失棟数	1,196 棟
建物半壊棟数	930 棟
避難者数（1 週間（最大値））	6,963 人

出典：第2次奈良県地震被害想定調査報告書（資料編）P.147、P.149、P.163

最大の被害が想定されている中央構造線断層帯地震における本町での災害廃棄物の発生量としては、以下の量が見込まれています。

表 5-15-2 災害がれき発生量の見込み

	倒壊による (t)	火災による (t)	合計 (t)
木くず	26,374	0	26,374
畳	748	0	748
廃プラ	1,122	0	1,122
混合廃棄物（可燃）	9,727	14	9,741
がれき類	97,640	4,469	102,109
金属くず	12,345	540	12,885
瓦	935	8,477	47,571
ガラス	935		
石膏ボード	4,489		
混合廃棄物（不燃）	24,129		
家電4品目	8,606		
総量	187,050	13,500	200,550

出典：河合町災害廃棄物処理計画 P.11

また、上記で算出された種類別災害廃棄物発生量から仮置き場の必要面積を算定しており、最大規模の災害発生時は、以下のように 9,614 m²の仮置き場が必要であるという計算結果が出ています。この面積は災害がれきを置く場所のみの面積であり、通路の面積は約 1,000 m²とします。

表 5-15-3 一次仮置き場必要面積

種類	最大保管必要量		最大必要面積 (m ²)
	重量 (t)	容積 (m ³)	
木くず	2,611	6,528	2,611.2
畳	74	185	74.0
廃プラ	112	280	112.0
混合廃棄物 (可燃)	964	2,410	964.0
がれき類 (コンクリートがら)	10,109	9,190	3,676.0
金属くず (金属スクラップ)	1,276	1,160	464.0
不燃物	4,710	4,282	1,712.8
合計	19,856	24,035	9,614.0

出典：河合町災害廃棄物処理計画 P. 17

2) 災害廃棄物について

災害廃棄物は一般廃棄物と定義されており、その処理の責任は市町村にあります。今後発生が危惧される大規模地震や水害等により発生した災害廃棄物（避難所ごみを含む）は、住民の健康や生活環境に重大な被害を生じさせるものを含むおそれがあることを踏まえ、生活環境の保全及び公衆衛生上の問題を防止する観点から、適正かつ迅速に処理しなければなりません。災害廃棄物に起因する混乱を最小限にし、1 日も早く住民が日常を取り戻すために、応急対応、復旧、復興について必要な事項を整理する必要があります。

災害廃棄物は、災害の規模によっては、その処理に数年を要する場合があります。将来にわたって災害廃棄物を適正に処理するためには、災害が起きる前から、環境負荷の低減や資源の有効活用を視野に入れ、応急期、復旧・復興期の各段階において、可能な限り分別、選別、再生利用等をし、最終処分量を低減する等の対策について検討が必要です。

3) 各種計画を踏まえた災害廃棄物処理計画の策定等

具体的には、平時から災害対応拠点としての視点で施設整備を進め、関係機関・団体との連携体制を構築することや、災害廃棄物処理に係る訓練等を通じて、非常災害時にも対応できる強靱な廃棄物処理体制の整備を図る必要があります。

そのため、国が策定する廃棄物処理施設整備計画、災害廃棄物対策指針（2014(平成 26)年 3 月策定 2018(平成 30)年 3 月改定 環境省廃環境再生・資源循環局災害廃棄物対策室）及び技術指針等を十分踏まえながら、奈良県災害廃棄物処理計画、災害対策基本法（昭和 36 年法律第 223 号）に基づく地域防災計画、その他の防災関連指針・計画等と整合を図りつつ、本町の実情に応じて、非常災害発生時に備えた災害廃棄物

処理計画を策定することとします。

災害廃棄物処理計画では、仮置場の確保、廃棄物（有害な廃棄物や危険な廃棄物等の処理困難物を含む）の分別及び処理方法、さらに周辺の地方公共団体や民間事業者等との連携・協力体制の整備等の災害廃棄物を適正かつ円滑・迅速に処理するために必要となる事項を定めます。

4) 災害時における一般廃棄物処理事業の継続性の確保

発災時においては、災害廃棄物のみならず、通常的一般廃棄物の処理が継続的かつ確実に実施されることが、公衆衛生の確保及び生活環境の保全の観点から極めて重要となります。このため災害時において、委託業者、許可業者が一般廃棄物処理（収集・運搬及び処分・再生）事業を継続できるように、実施体制、指揮命令系統、情報収集・連絡・協力要請等の方法・手段等の事業継続計画を検討していくものとします。

また、組織としての事業継続能力が維持・改善されるよう、訓練や各種計画の見直し、他の市町村等との連携等によるさらに広域的な取組みについても検討を行います。

(資料編)

資料編 ごみ排出量、処理量の予測結果

1. ごみ排出量、処理量の予測方法

将来のごみ排出量、処理量の予測方法は以下のフロー図のとおりです。

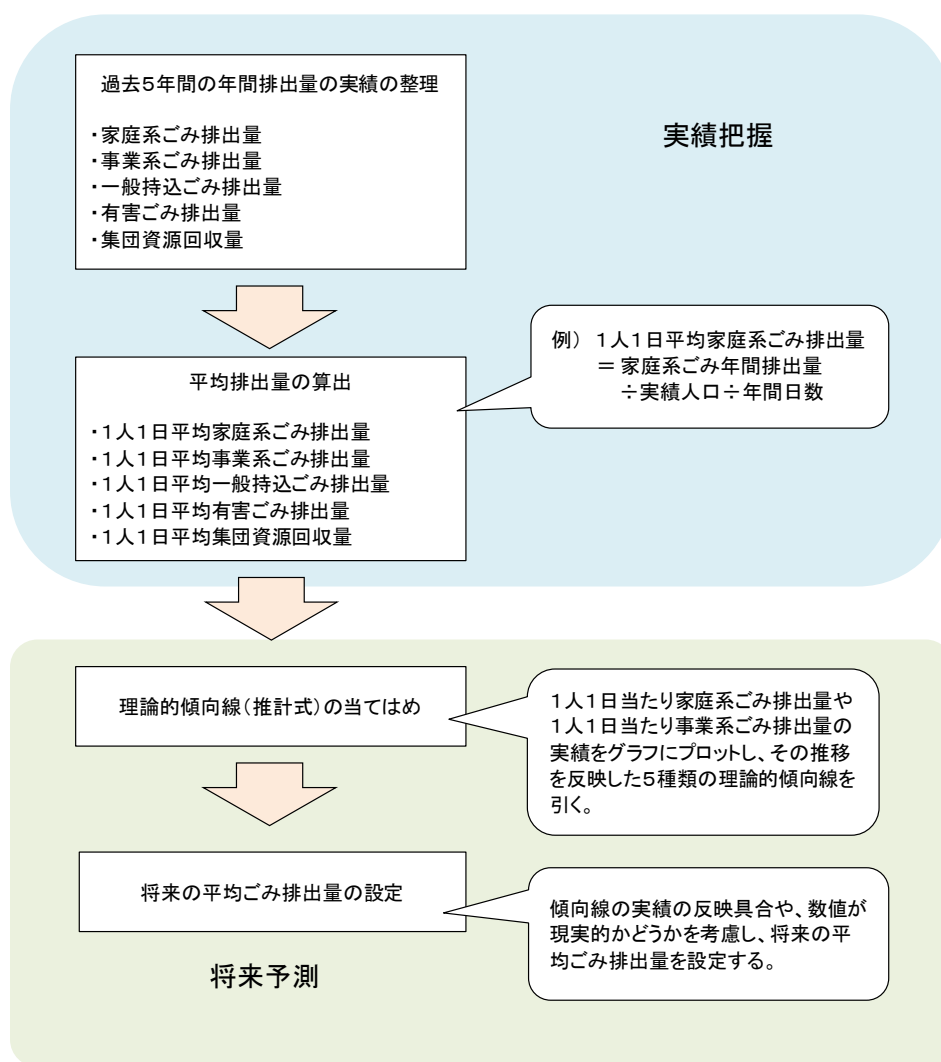


図 1-1 予測フロー図

表 1-1 推計式について

名称	推計式	備考
等差級数法	$y = ax + b$	y: 推計値 a, b: 係数 x: 年度
対数級数法	$y = a * \ln(x) + b$	
等比級数法	$y = (e^{ax}) * b$	
べき級数法	$y = (x^a) * b$	
逆数級数法	$y = (a/x) + b$	

※上記に限らず、推計結果が現実的でない場合は補正値を採用する場合がある。

2. 1人1日平均ごみ排出量の予測結果

1人1日平均家庭系ごみ排出量、1人1日平均事業系ごみ排出量、1人1日平均一般持込量、1人1日平均集団資源回収量の予測結果は以下のとおりです。

表 2-1 1人1日平均家庭系可燃ごみ排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果					補正值
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	
25	449.5	30	424.6	425.5	425.9	425.8	426.4	426.2
26	455.3	31	418.4	420.1	420.0	420.5	421.7	424.6
27	446.7	32	412.2	414.8	414.2	415.6	417.2	423.0
28	436.8	33	405.9	409.7	408.4	410.8	413.0	421.4
29	427.7	34	399.7	404.8	402.7	406.2	409.1	419.9
		35	393.5	400.0	397.1	401.8	405.4	418.3
		36	387.3	395.3	391.6	397.6	401.9	416.7
		37	381.1	390.7	386.2	393.5	398.6	415.2
		38	374.9	386.3	380.8	389.6	395.4	413.6
		39	368.7	382.0	375.5	385.8	392.5	412.0
		40	362.5	377.8	370.3	382.1	389.6	410.4
		41	356.3	373.7	365.1	378.6	386.9	408.9
		42	350.1	369.7	360.0	375.2	384.4	407.3
		43	343.8	365.8	355.0	371.9	381.9	405.7
		44	337.6	362.0	350.1	368.7	379.6	404.1
		45	331.4	358.3	345.2	365.6	377.4	402.6
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$	—
a=			-6.21	-165.751	-0.014	-0.376	4411.925	—
b=			610.87	989.26	648.22	1529.57	279.34	—
r=			-0.897	-0.888	-0.897	-0.889	0.879	—
r ² =			0.804	0.789	0.805	0.79	0.772	—
採否								採用

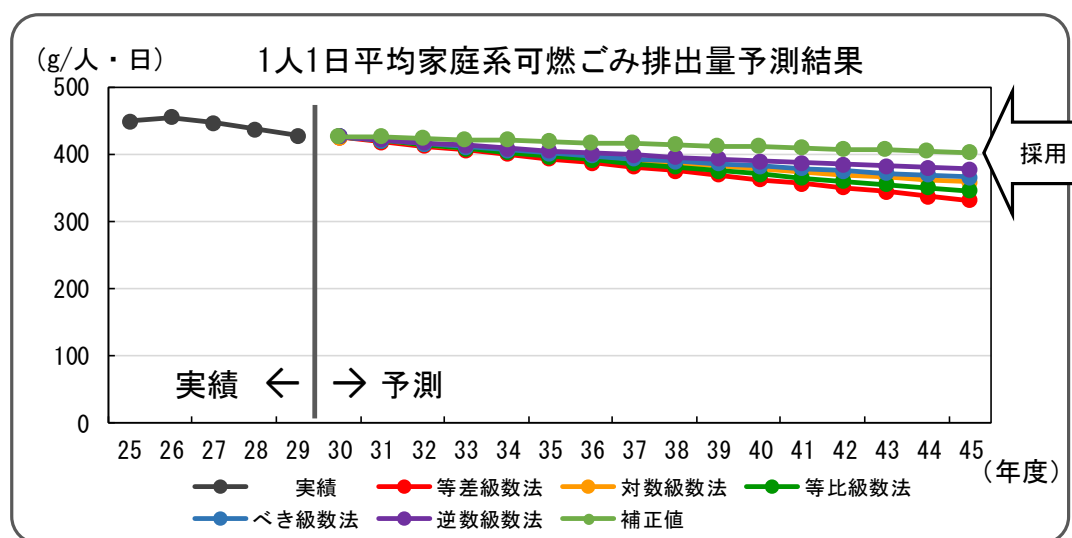


図 2-1 1人1日平均家庭系可燃ごみ排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.772~0.805 と相関性は高いですが、やや現実的でないため「逆数級数法」の補正值を採用しました。

表 2-2 1人1日平均家庭系不燃ごみ（廃プラスチック）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
25	60.6	30	55.2	55.3	55.8	55.4	55.4
26	59.2	31	54.1	54.4	54.8	54.5	54.6
27	59.0	32	53.1	53.5	53.8	53.6	53.8
28	56.7	33	52.0	52.6	52.9	52.8	53.1
29	56.5	34	50.9	51.7	51.9	52.0	52.4
		35	49.8	50.9	51.0	51.3	51.8
		36	48.8	50.1	50.1	50.6	51.1
		37	47.7	49.3	49.2	49.9	50.6
		38	46.6	48.5	48.3	49.3	50.0
		39	45.6	47.8	47.5	48.6	49.5
		40	44.5	47.0	46.6	48.0	49.0
		41	43.4	46.3	45.8	47.4	48.5
		42	42.4	45.6	45.0	46.9	48.1
		43	41.3	44.9	44.2	46.3	47.6
		44	40.2	44.3	43.4	45.8	47.2
		45	39.1	43.6	42.6	45.3	46.8
		式	$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
		a=	-1.07	-28.845	-0.018	-0.494	775.603
		b=	87.29	153.43	95.75	297.13	29.59
		r=	-0.963	-0.963	-0.963	-0.963	0.963
		r ² =	0.928	0.928	0.927	0.927	0.928
		採否					採用

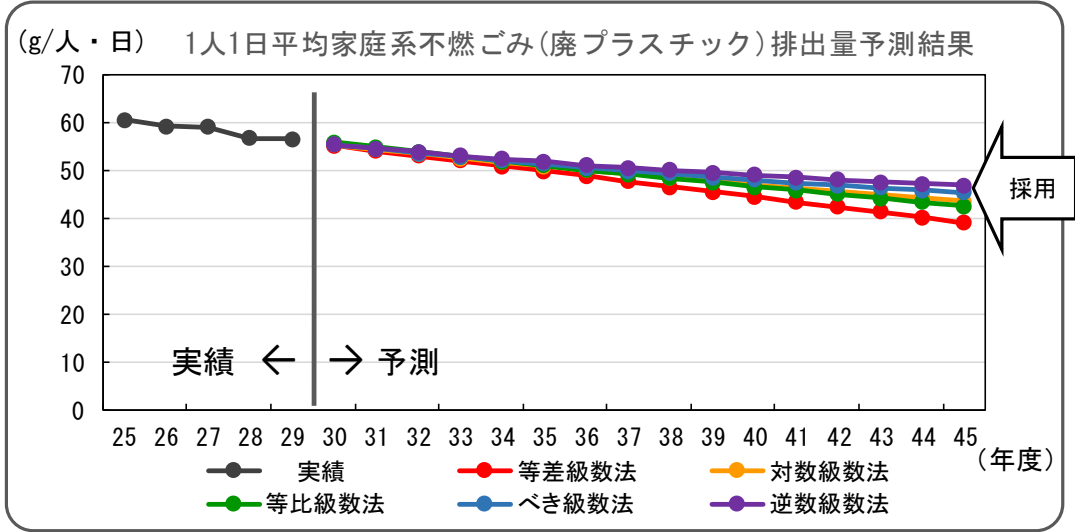


図 2-2 1人1日平均家庭系不燃ごみ（廃プラスチック）排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.927～0.928 と相関性は高いので、その中で r^2 値が最も高く現実的な「逆数級数法」を採用しました。

表 2-3 1人1日平均家庭系不燃ごみ（粗大ごみ）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果					
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	補正值
25	19.4	30	23.6	23.4	23.8	23.9	23.2	24.4
26	16.4	31	24.9	24.5	25.3	25.2	24.2	24.6
27	21.0	32	26.1	25.5	26.8	26.5	25.0	24.7
28	18.8	33	27.3	26.5	28.5	27.8	25.8	24.8
29	24.3	34	28.5	27.5	30.2	29.1	26.6	25.0
		35	29.7	28.4	32.0	30.4	27.3	25.1
		36	31.0	29.3	34.0	31.8	28.0	25.2
		37	32.2	30.2	36.0	33.2	28.6	25.4
		38	33.4	31.1	38.2	34.6	29.2	25.5
		39	34.6	31.9	40.5	36.0	29.8	25.6
		40	35.8	32.7	43.0	37.5	30.4	25.8
		41	37.1	33.5	45.6	38.9	30.9	25.9
		42	38.3	34.3	48.4	40.4	31.4	26.0
		43	39.5	35.1	51.3	41.9	31.9	26.2
		44	40.7	35.8	54.4	43.5	32.3	26.3
		45	41.9	36.6	57.8	45.0	32.7	26.4
		式	$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$	—
		a=	1.22	32.363	0.059	1.557	-856.104	—
		b=	-12.96	-86.64	4.06	0.12	51.77	—
		r=	0.659	0.649	0.64	0.63	-0.638	—
		r ² =	0.435	0.421	0.41	0.397	0.407	—
		採否						採用

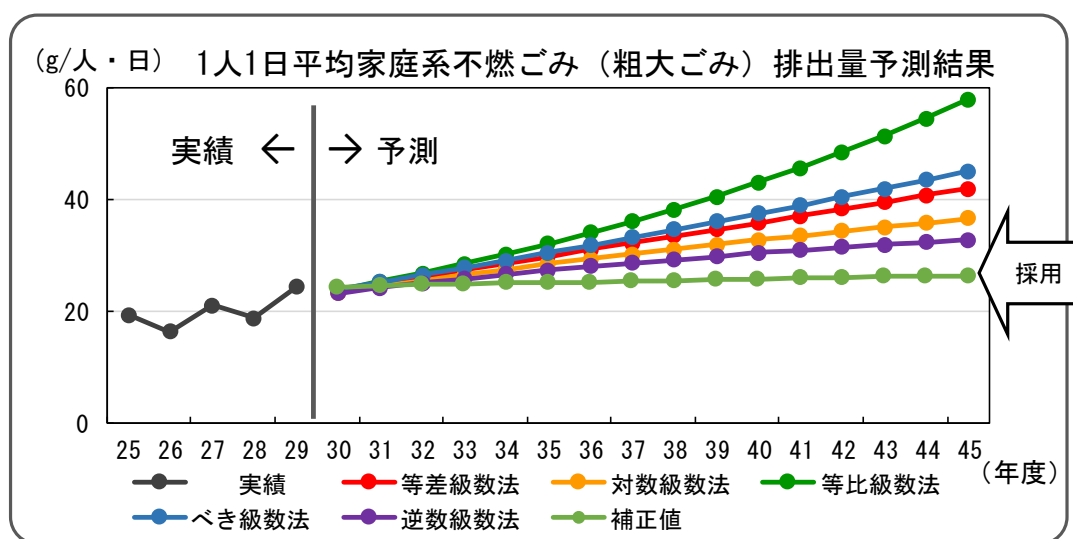


図 2-3 1人1日平均家庭系不燃ごみ（粗大ごみ）排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.397～0.435 と相関性はやや低く現実的でないため、「逆数級数法」の補正值を採用しました。

表 2-4 1人1日平均家庭系資源ごみ（かん・びん）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
25	25.3	30	23.3	23.4	23.4	23.4	23.4
26	24.7	31	22.9	23.0	23.0	23.0	23.1
27	24.5	32	22.6	22.7	22.6	22.7	22.8
28	24.6	33	22.2	22.4	22.3	22.4	22.6
29	23.4	34	21.8	22.1	21.9	22.1	22.3
		35	21.4	21.8	21.6	21.9	22.1
		36	21.0	21.5	21.2	21.6	21.9
		37	20.6	21.2	20.9	21.4	21.7
		38	20.2	20.9	20.6	21.1	21.5
		39	19.8	20.6	20.2	20.9	21.3
		40	19.4	20.4	19.9	20.7	21.1
		41	19.0	20.1	19.6	20.4	20.9
		42	18.7	19.9	19.3	20.2	20.8
		43	18.3	19.6	19.0	20.0	20.6
		44	17.9	19.4	18.7	19.8	20.5
		45	17.5	19.1	18.4	19.6	20.3
式			$y=ax+b$	$y=a*LN(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.39	-10.466	-0.016	-0.43	280.222
b=			35.03	58.98	37.75	100.9	14.09
r=			-0.895	-0.891	-0.892	-0.888	0.887
r ² =			0.801	0.794	0.796	0.788	0.786
採否			採用				

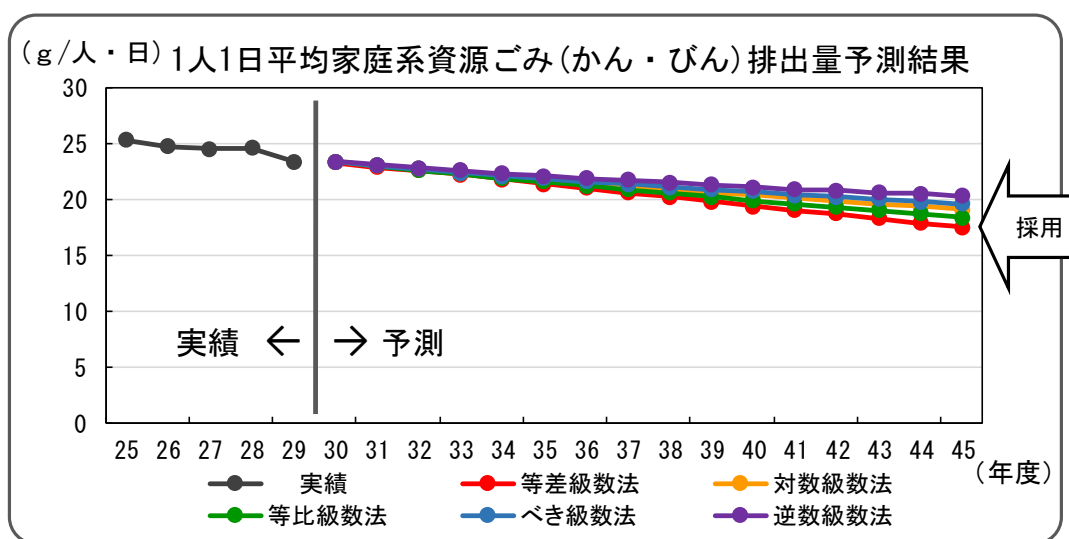


図 2-4 1人1日平均家庭系資源ごみ（かん・びん）排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.786～0.801 と相関性は高いので、その中で最も r^2 値の高い「等差級数法」を採用しました。

表 2-5 1人1日平均家庭系資源ごみ（ペットボトル）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
25	5.1	30	5.4	5.3	5.4	5.3	5.3
26	4.9	31	5.4	5.4	5.5	5.4	5.4
27	5.2	32	5.5	5.5	5.6	5.5	5.4
28	5.2	33	5.6	5.5	5.7	5.5	5.5
29	5.3	34	5.6	5.6	5.7	5.6	5.5
		35	5.7	5.6	5.8	5.7	5.6
		36	5.8	5.7	5.9	5.7	5.6
		37	5.8	5.7	6.0	5.8	5.6
		38	5.9	5.8	6.1	5.8	5.7
		39	6.0	5.8	6.1	5.9	5.7
		40	6.1	5.9	6.2	5.9	5.7
		41	6.1	5.9	6.3	6.0	5.8
		42	6.2	6.0	6.4	6.0	5.8
		43	6.3	6.0	6.5	6.1	5.8
		44	6.3	6.1	6.6	6.1	5.9
		45	6.4	6.1	6.7	6.2	5.9
式			$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
a=			0.07	1.871	0.014	0.364	-49.839
b=			3.25	-1.02	3.56	1.55	6.99
r=			0.73	0.724	0.723	0.717	-0.717
r ² =			0.533	0.524	0.523	0.514	0.514
採否							採用

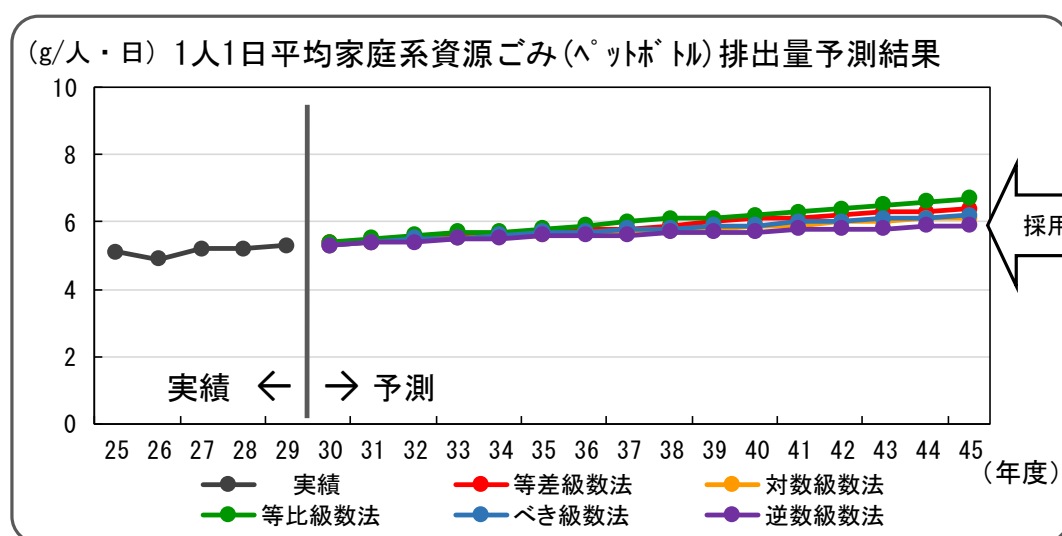


図 2-5 1人1日平均家庭系資源ごみ（ペットボトル）排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.514～0.533 と相関性はやや低いですが、その中で最も現実的な「逆数級数法」を採用しました。

表 2-6 1人1日平均事業系可燃ごみ排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
25	283.3	30	291.5	291.5	293.7	291.1	291.5
26	285.1	31	292.5	292.5	294.9	292.1	292.5
27	294.1	32	293.6	293.5	296.1	293.1	293.3
28	294.7	33	294.7	294.4	297.3	294.1	294.2
29	283.9	34	295.8	295.4	298.5	295.0	294.9
		35	296.9	296.2	299.7	295.9	295.7
		36	297.9	297.1	300.9	296.8	296.4
		37	299.0	298.0	302.1	297.6	297.0
		38	300.1	298.8	303.3	298.5	297.6
		39	301.2	299.6	304.5	299.3	298.2
		40	302.3	300.4	305.7	300.1	298.8
		41	303.3	301.1	307.0	300.9	299.3
		42	304.4	301.9	308.2	301.7	299.8
		43	305.5	302.6	309.4	302.4	300.3
		44	306.6	303.3	310.7	303.2	300.8
		45	307.7	304.0	311.9	303.9	301.2
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			1.08	30.752	0.004	0.106	-870.15
b=			259.06	186.91	260.53	202.99	320.54
r=			0.301	0.317	0.3	0.317	-0.334
r ² =			0.09	0.101	0.09	0.101	0.112
採否							採用

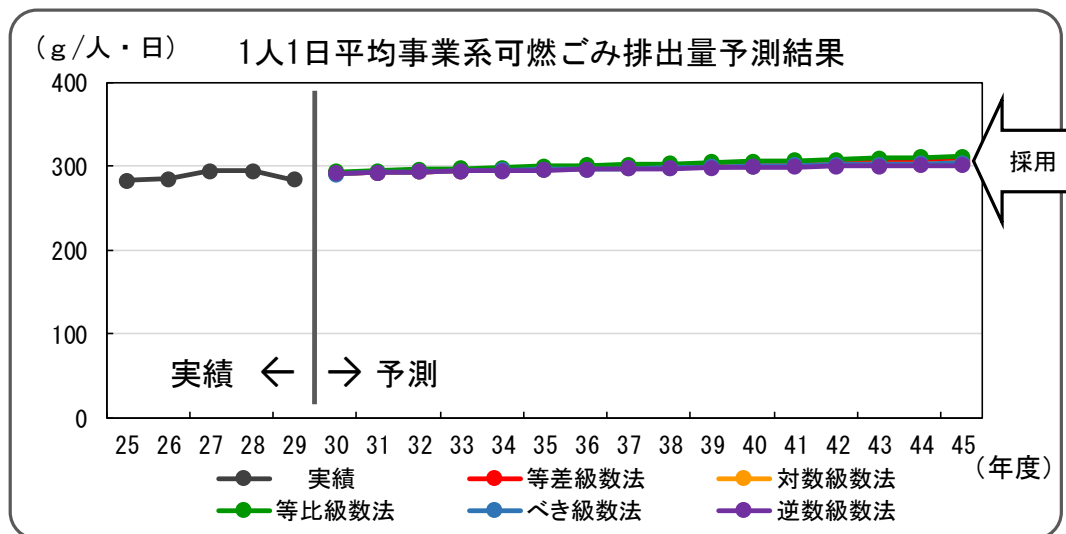


図 2-6 1人1日平均事業系可燃ごみ排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.09~0.112 と相関性は低いですが、その中で最も r^2 値が高い「逆数級数法」を採用しました。

表 2-7 1人1日平均事業系不燃ごみ排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果					直近の実績
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	
25	2.1	30	5.9	5.8	7.0	0.0	5.8	4.5
26	4.1	31	6.4	6.3	8.3	0.0	6.2	4.5
27	5.0	32	7.0	6.8	9.8	0.0	6.7	4.5
28	5.0	33	7.6	7.3	11.7	0.0	7.1	4.5
29	4.5	34	8.1	7.8	13.9	0.0	7.5	4.5
		35	8.7	8.2	16.5	0.0	7.8	4.5
		36	9.3	8.7	19.6	0.0	8.2	4.5
		37	9.8	9.1	23.2	0.0	8.5	4.5
		38	10.4	9.5	27.6	0.0	8.8	4.5
		39	11.0	9.9	32.8	0.0	9.1	4.5
		40	11.6	10.3	38.9	0.0	9.3	4.5
		41	12.1	10.7	46.2	0.0	9.6	4.5
		42	12.7	11.1	54.9	0.0	9.9	4.5
		43	13.3	11.4	65.2	0.0	10.1	4.5
		44	13.8	11.8	77.4	0.0	10.3	4.5
		45	14.4	12.2	91.9	0.0	10.5	4.5
		式	$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})^b$	$y=(x^a)^b$	$y=(a/x)+b$	-
		a=	0.57	15.654	0.172	4.73	-428.714	-
		b=	-11.25	-47.43	0.04	0	20.06	-
		r=	0.75	0.765	0.749	0.763	-0.778	-
		r ² =	0.563	0.584	0.561	0.583	0.606	-
		採否						採用

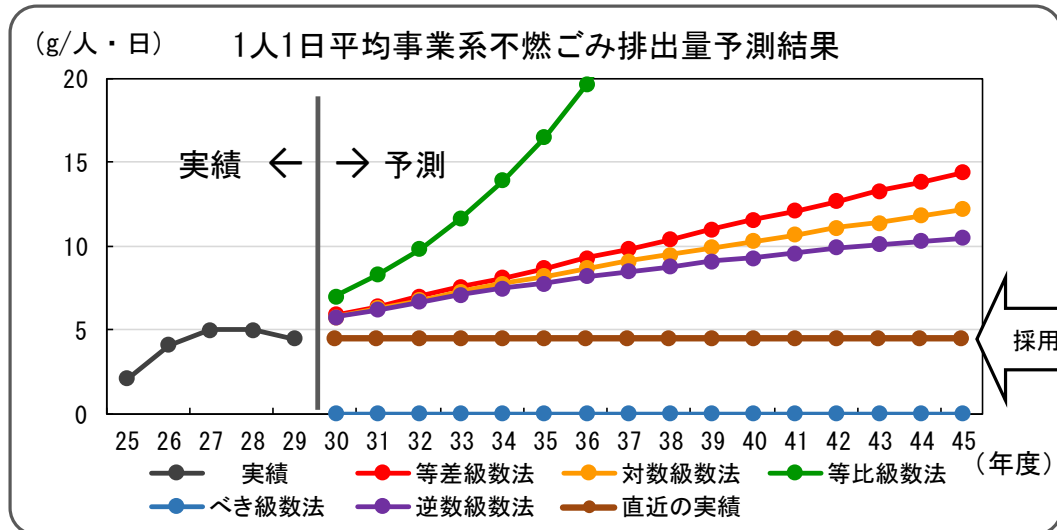


図 2-7 1人1日平均事業系不燃ごみ排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.563~0.606 と相関性はやや高いですが、直近の実績の傾向を考慮して直近の実績を採用しました。

表 2-8 1人1日平均一般持込可燃ごみ排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果					直近の実績
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	
25	96.7	30	61.5	62.0	62.8	63.6	62.6	69.7
26	87.8	31	55.4	56.6	58.3	59.6	57.7	69.7
27	63.9	32	49.3	51.3	54.2	55.9	53.2	69.7
28	80.8	33	43.2	46.2	50.3	52.5	48.9	69.7
29	69.7	34	37.1	41.2	46.7	49.5	44.9	69.7
		35	31.0	36.4	43.4	46.7	41.1	69.7
		36	24.9	31.7	40.3	44.1	37.5	69.7
		37	18.8	27.2	37.4	41.7	34.1	69.7
		38	12.7	22.7	34.8	39.6	30.9	69.7
		39	6.6	18.4	32.3	37.6	27.8	69.7
		40	0.5	14.2	30.0	35.7	24.9	69.7
		41	-5.6	10.1	27.8	34.0	22.2	69.7
		42	-11.7	6.1	25.9	32.4	19.6	69.7
		43	-17.8	2.2	24.0	30.9	17.1	69.7
		44	-23.9	-1.6	22.3	29.5	14.7	69.7
		45	-30.0	-5.4	20.7	28.2	12.4	69.7
		式	$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$	-
		a=	-6.1	-166.201	-0.074	-2.011	4516.795	-
		b=	244.48	627.32	578.47	59468.69	-87.97	-
		r=	-0.726	-0.734	-0.694	-0.701	0.742	-
		r ² =	0.527	0.539	0.481	0.492	0.550	-
		採否						採用

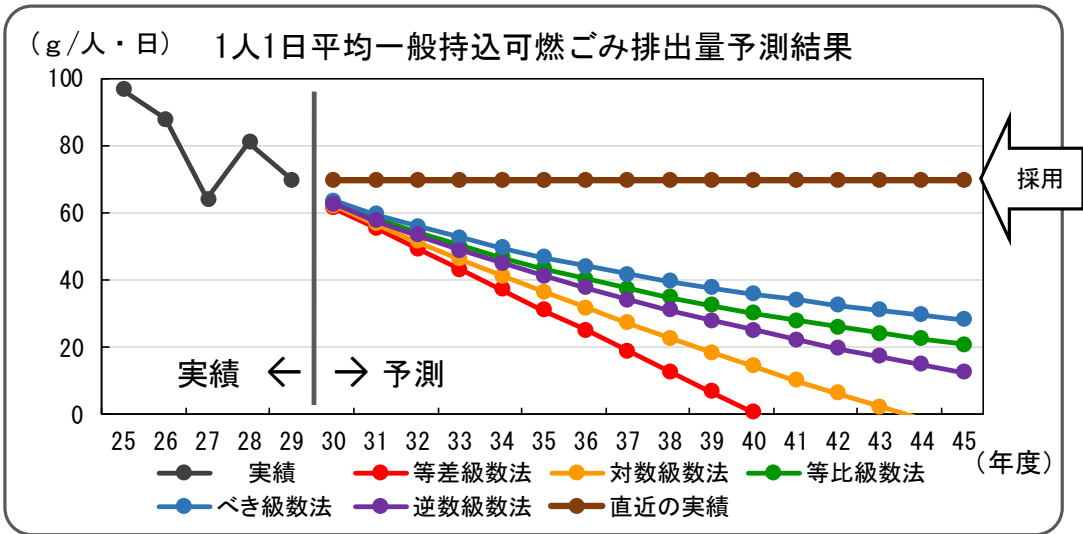


図 2-8 1人1日平均一般持込可燃ごみ排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.492~0.550 と相関性はやや低く、どれも現実的でないため、直近の実績を採用しました。

表 2-9 1人1日平均一般持込不燃ごみ（廃プラスチック）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果					
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	直近の実績
28	0.3	30	0.7	0.7	0.0	0.0	0.7	0.5
29	0.5	31	0.9	0.9	0.0	0.0	0.9	0.5
		32	1.1	1.1	0.0	0.0	1.0	0.5
		33	1.3	1.2	0.0	0.0	1.2	0.5
		34	1.5	1.4	0.0	0.0	1.3	0.5
		35	1.7	1.6	0.0	0.0	1.5	0.5
		36	1.9	1.7	0.0	0.0	1.6	0.5
		37	2.1	1.9	0.0	0.0	1.7	0.5
		38	2.3	2.0	0.0	0.0	1.8	0.5
		39	2.5	2.2	0.0	0.0	1.9	0.5
		40	2.7	2.3	0.0	0.0	2.0	0.5
		41	2.9	2.5	0.0	0.0	2.1	0.5
		42	3.1	2.6	0.0	0.0	2.2	0.5
		43	3.3	2.7	0.0	0.0	2.3	0.5
		44	3.5	2.9	0.0	0.0	2.4	0.5
		45	3.7	3.0	0.0	0.0	2.5	0.5
		式	$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$	—
		a=	0.2	5.699	0.511	14.557	-162.4	—
		b=	-5.3	-18.69	0	0	6.1	—
		r=	1	1	1	1	-1	—
		r^2=	1	1	1	1	1	—
		採否						採用

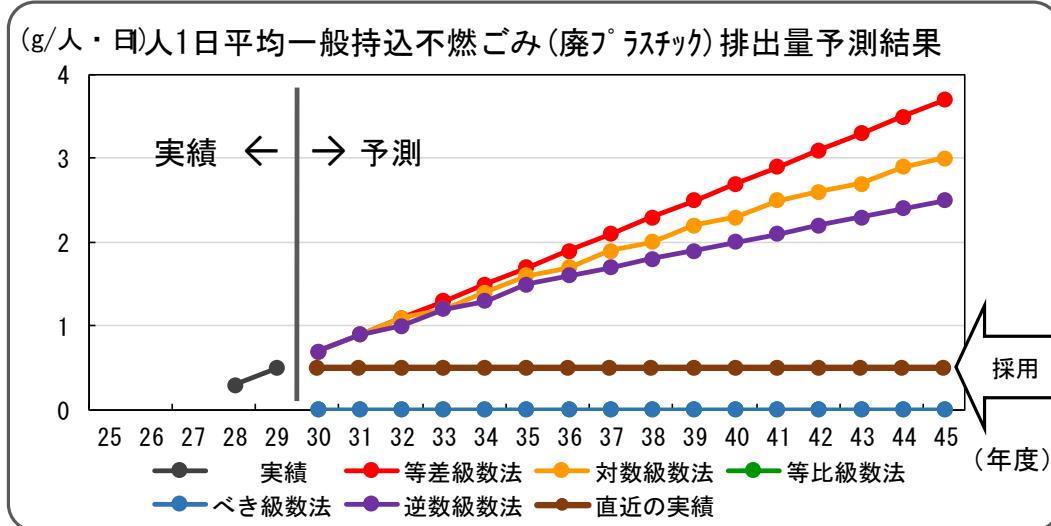


図 2-9 1人1日平均一般持込不燃ごみ（廃プラスチック）排出量予測結果

採用理由：実績が少なく傾向の把握が難しいため、直近の実績を採用しました。

表 2-10 1人1日平均一般持込不燃ごみ（粗大ごみ）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果					
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	補正值
25	2.9	30	6.8	6.6	6.3	0.0	6.5	6.8
26	2.8	31	7.7	7.4	7.8	0.0	7.2	6.9
27	3.0	32	8.6	8.2	9.7	0.0	7.9	7.0
28	4.5	33	9.6	9.0	12.1	0.0	8.5	7.2
29	6.7	34	10.5	9.7	15.0	0.0	9.1	7.3
		35	11.4	10.4	18.5	0.0	9.6	7.4
		36	12.4	11.1	23.0	0.0	10.1	7.5
		37	13.3	11.8	28.5	0.0	10.6	7.6
		38	14.2	12.5	35.3	0.0	11.1	7.7
		39	15.1	13.1	43.8	0.0	11.5	7.8
		40	16.1	13.7	54.3	0.0	12.0	7.9
		41	17.0	14.4	67.3	0.0	12.4	8.0
		42	17.9	15.0	83.5	0.0	12.8	8.2
		43	18.9	15.5	103.5	0.0	13.1	8.3
		44	19.8	16.1	128.4	0.0	13.5	8.4
		45	20.7	16.7	159.1	0.0	13.8	8.5
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$	—
a=			0.93	24.765	0.215	5.731	-657.71	—
b=			-21.13	-77.61	0.01	0	28.41	—
r=			0.879	0.869	0.899	0.89	-0.858	—
r ² =			0.773	0.755	0.809	0.792	0.736	—
採否								採用

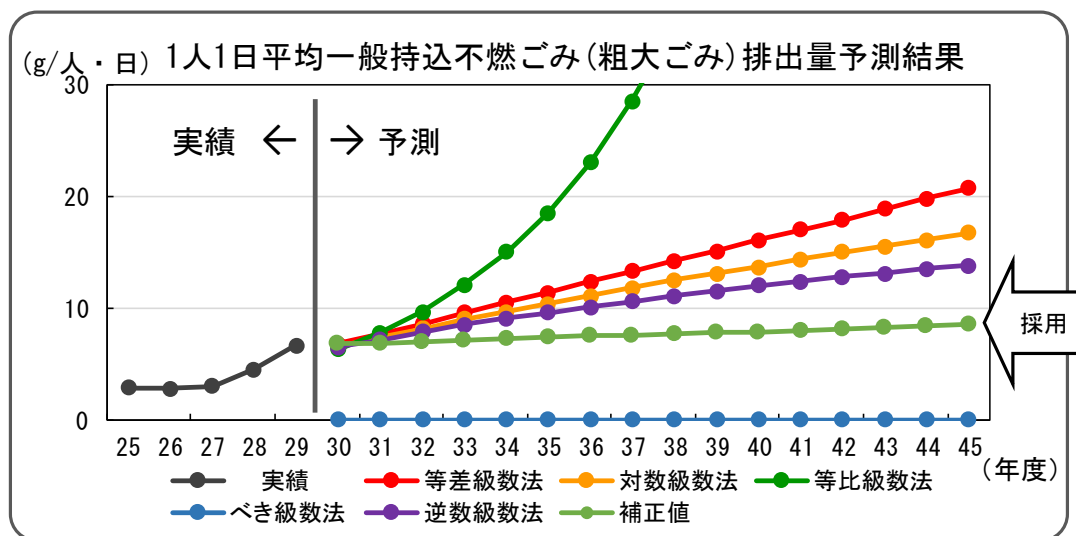


図 2-10 1人1日平均一般持込不燃ごみ（粗大ごみ）排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.736～0.809 と相関性は高いですが、やや現実的でないため「逆数級数法」の補正值を採用しました。

表 2-11 1人1日平均一般持込資源ごみ（かん・びん・ペットボトル）排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果					
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	直近の実績
28	0.05	30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
29	0.03	31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
		32	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
		33	-0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
		34	-0.10	-0.10	0.00	0.00	-0.10	0.03
		35	-0.10	-0.10	0.00	0.00	-0.10	0.03
		36	-0.10	-0.10	0.00	0.00	-0.10	0.03
		37	-0.10	-0.10	0.00	0.00	-0.10	0.03
		38	-0.20	-0.10	0.00	0.00	-0.10	0.03
		39	-0.20	-0.10	0.00	0.00	-0.10	0.03
		40	-0.20	-0.20	0.00	0.00	-0.10	0.03
		41	-0.20	-0.20	0.00	0.00	-0.10	0.03
		42	-0.20	-0.20	0.00	0.00	-0.10	0.03
		43	-0.30	-0.20	0.00	0.00	-0.20	0.03
		44	-0.30	-0.20	0.00	0.00	-0.20	0.03
		45	-0.30	-0.20	0.00	0.00	-0.20	0.03
式			$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$	—
a=			-0.02	-0.57	-0.511	-14.557	16.24	—
b=			0.61	1.95	81420.73	5.8251E+19	-0.53	—
r=			-1	-1	-1	-1	1	—
r^2=			1	1	1	1	1	—
採否								採用

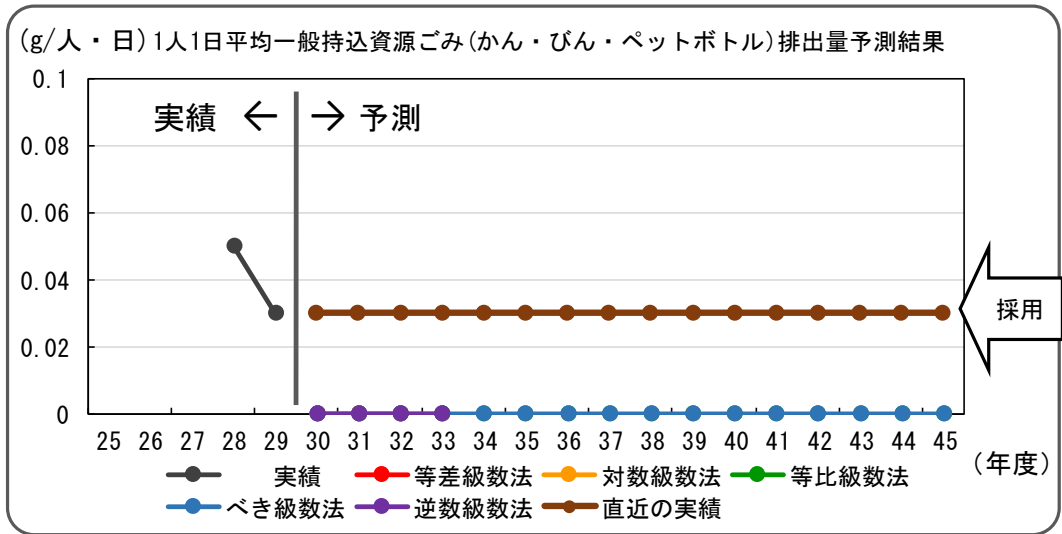


図 2-11 1人1日平均一般持込資源ごみ（かん・びん・ペットボトル）排出量予測結果

採用理由：実績が少なく傾向の把握が難しいため、直近の実績を採用しました。

表 2-12 1人1日平均有害ごみ排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果					
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	直近の実績
25	0.4	30	0.9	0.9	1.2	0.0	0.9	0.7
26	0.5	31	1.0	0.9	1.4	0.0	0.9	0.7
27	0.6	32	1.1	1.0	1.6	0.0	1.0	0.7
28	0.8	33	1.1	1.1	1.9	0.0	1.1	0.7
29	0.7	34	1.2	1.2	2.2	0.0	1.1	0.7
		35	1.3	1.2	2.6	0.0	1.2	0.7
		36	1.4	1.3	3.1	0.0	1.2	0.7
		37	1.5	1.4	3.6	0.0	1.3	0.7
		38	1.6	1.4	4.2	0.0	1.3	0.7
		39	1.7	1.5	4.9	0.0	1.4	0.7
		40	1.8	1.6	5.8	0.0	1.4	0.7
		41	1.9	1.6	6.8	0.0	1.4	0.7
		42	2.0	1.7	7.9	0.0	1.5	0.7
		43	2.0	1.7	9.3	0.0	1.5	0.7
		44	2.1	1.8	10.9	0.0	1.6	0.7
		45	2.2	1.8	12.8	0.0	1.6	0.7
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$	—
a=			0.09	2.44	0.159	4.312	-65.949	—
b=			-1.83	-7.44	0.01	0	3.05	—
r=			0.9	0.905	0.918	0.924	-0.91	—
r ² =			0.81	0.819	0.842	0.854	0.828	—
採否								採用

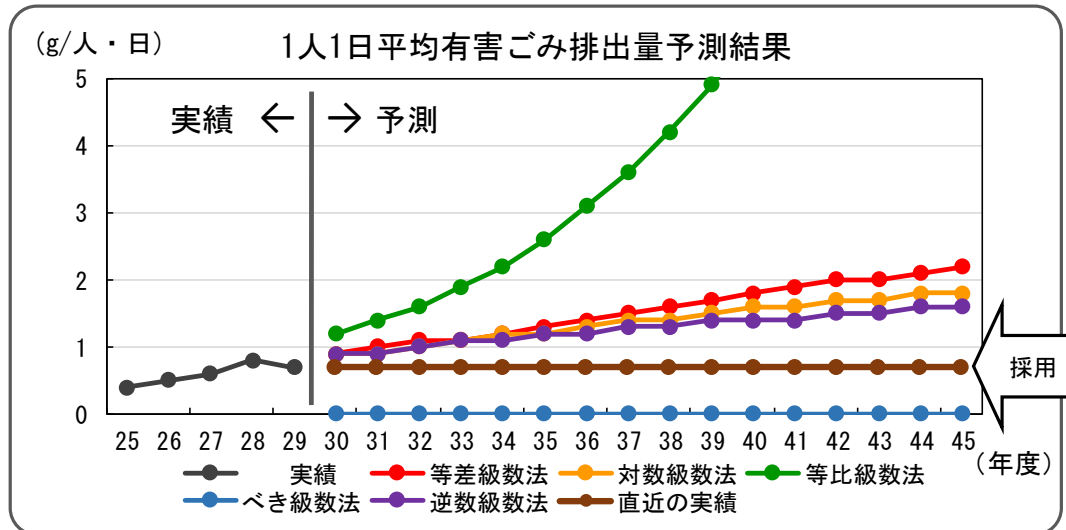


図 2-12 1人1日平均有害ごみ排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.810～0.854 と相関性は高いですが、直近の実績の傾向を勘案し、直近の実績を採用しました。

表 2-13 1人1日平均新聞紙排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
25	62.2	30	41.8	42.3	42.5	43.2	42.8
26	58.7	31	37.7	38.7	39.4	40.3	39.6
27	54.5	32	33.6	35.2	36.4	37.8	36.6
28	49.6	33	29.4	31.7	33.7	35.5	33.8
29	46.1	34	25.3	28.4	31.2	33.3	31.1
		35	21.2	25.2	28.9	31.4	28.6
		36	17.1	22.1	26.8	29.6	26.2
		37	12.9	19.0	24.8	28.0	24.0
		38	8.8	16.0	23.0	26.5	21.9
		39	4.7	13.2	21.3	25.1	19.9
		40	0.5	10.3	19.7	23.8	17.9
		41	-3.6	7.6	18.2	22.6	16.1
		42	-7.7	4.9	16.9	21.5	14.4
		43	-11.9	2.3	15.6	20.5	12.7
		44	-16.0	-0.3	14.5	19.6	11.1
		45	-20.1	-2.8	13.4	18.7	9.6
式			$y=ax+b$	$y=a*\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
a=			-4.13	-111.245	-0.077	-2.066	2988.823
b=			165.73	420.71	428.16	48629.92	-56.78
r=			-0.998	-0.998	-0.997	-0.996	0.997
r ² =			0.997	0.996	0.994	0.991	0.994
採否						採用	

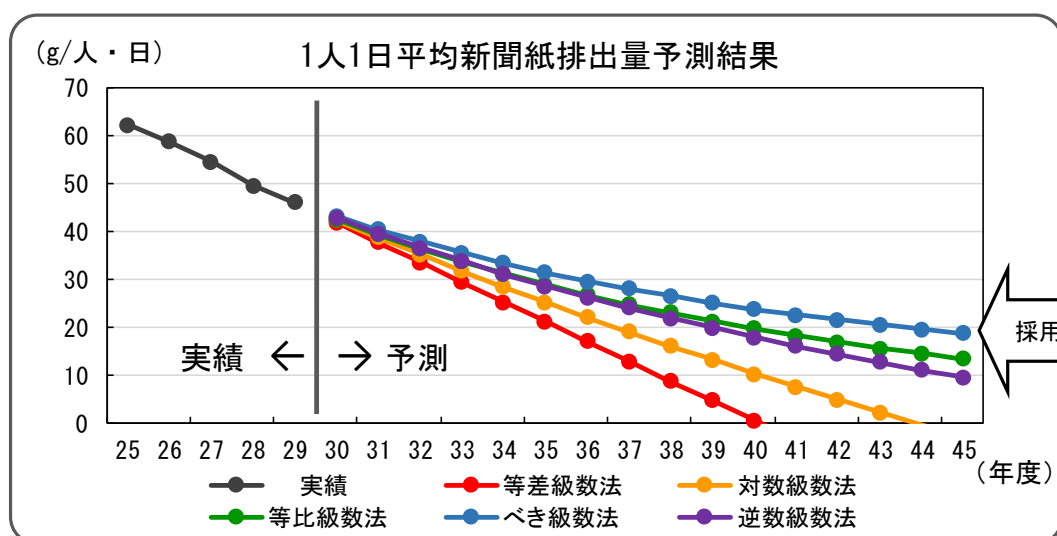


図 2-13 1人1日平均新聞紙排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.991~0.997 と相関性は高いので、その中で最も現実的な「べき級数法」を採用しました。

表 2-14 1人1日平均雑誌排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
25	31.3	30	32.9	32.9	33.3	33.0	32.9
26	31.3	31	33.2	33.2	33.6	33.2	33.2
27	32.7	32	33.5	33.4	33.9	33.5	33.4
28	33.7	33	33.8	33.7	34.2	33.7	33.6
29	31.5	34	34.1	33.9	34.5	34.0	33.8
		35	34.3	34.1	34.8	34.2	33.9
		36	34.6	34.4	35.1	34.4	34.1
		37	34.9	34.6	35.4	34.7	34.3
		38	35.2	34.8	35.7	34.9	34.4
		39	35.5	35.0	36.1	35.1	34.6
		40	35.7	35.2	36.4	35.3	34.7
		41	36.0	35.4	36.7	35.5	34.8
		42	36.3	35.6	37.1	35.7	35.0
		43	36.6	35.7	37.4	35.9	35.1
		44	36.9	35.9	37.7	36.1	35.2
		45	37.1	36.1	38.1	36.3	35.3
式			$y=ax+b$	$y=a*LN(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
a=			0.28	7.778	0.009	0.241	-215.121
b=			24.54	6.48	25.39	14.52	40.09
r=			0.415	0.427	0.416	0.429	-0.439
r ² =			0.172	0.183	0.173	0.184	0.193
採否							採用

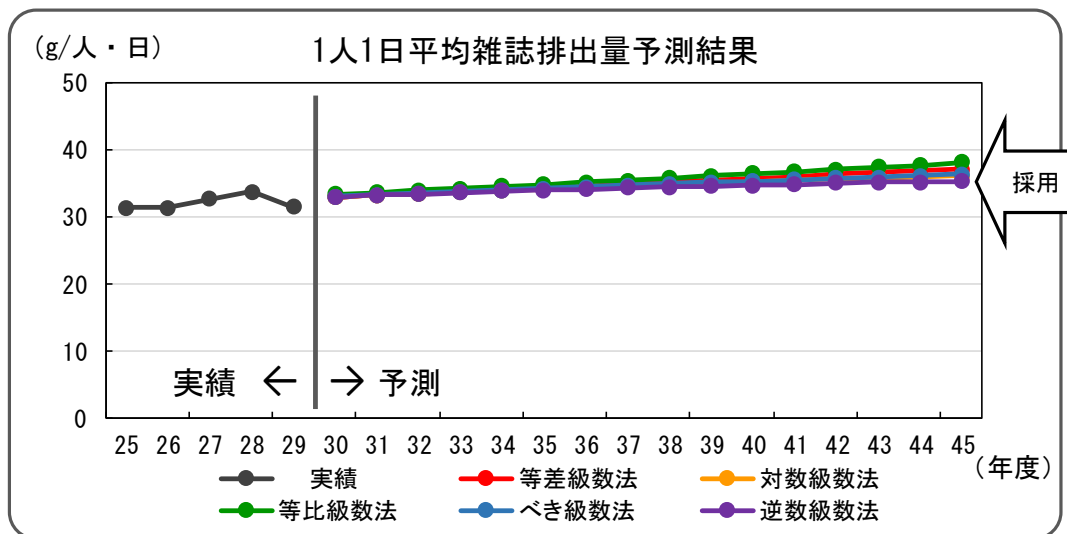


図 2-14 1人1日平均雑誌排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.172~0.193 と相関性は低いですが、その中で最も r^2 値の高い「逆数級数法」を採用しました。

表 2-15 1人1日平均段ボール排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
25	13.6	30	15.5	15.4	15.6	15.4	15.4
26	13.9	31	15.8	15.8	16.0	15.8	15.7
27	14.6	32	16.2	16.1	16.4	16.1	15.9
28	14.6	33	16.6	16.4	16.8	16.5	16.2
29	15.1	34	17.0	16.7	17.3	16.8	16.4
		35	17.3	17.0	17.7	17.2	16.7
		36	17.7	17.3	18.2	17.5	16.9
		37	18.1	17.5	18.7	17.8	17.1
		38	18.4	17.8	19.2	18.2	17.3
		39	18.8	18.1	19.7	18.5	17.4
		40	19.2	18.3	20.2	18.8	17.6
		41	19.5	18.6	20.7	19.2	17.8
		42	19.9	18.8	21.3	19.5	17.9
		43	20.3	19.0	21.8	19.8	18.1
		44	20.7	19.3	22.4	20.1	18.2
		45	21.0	19.5	23.0	20.4	18.4
式			$y=ax+b$	$y=a*LN(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
a=			0.37	9.985	0.026	0.697	-268.769
b=			4.37	-18.53	7.14	1.44	24.34
r=			0.971	0.972	0.97	0.972	-0.973
r ² =			0.943	0.945	0.942	0.945	0.947
採否							採用

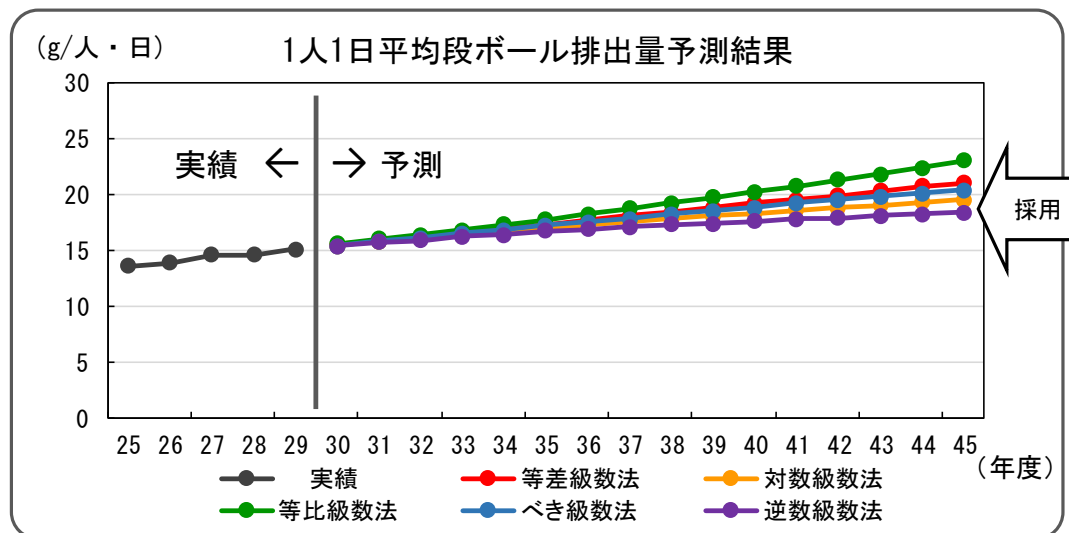


図 2-15 1人1日平均段ボール排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.942～0.947 と相関性は高いので、その中で最も r^2 値の高い「逆数級数法」を採用しました。

表 2-16 1 人 1 日平均紙パック排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果					
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法	直近の実績
25	0.5	30	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
26	0.4	31	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
27	0.4	32	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
28	0.4	33	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
29	0.5	34	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		35	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		36	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		37	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		38	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		39	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		40	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		41	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		42	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		43	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		44	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		45	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5
		式	$y=ax+b$	$y=a\cdot\text{LN}(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$	—
		a=	0	-0.02	0	-0.045	1.075	—
		b=	0.44	0.51	0.44	0.51	0.4	—
		r=	0	-0.021	0	-0.021	0.043	—
		r ² =	0	0	0	0	0.002	—
		採否						採用

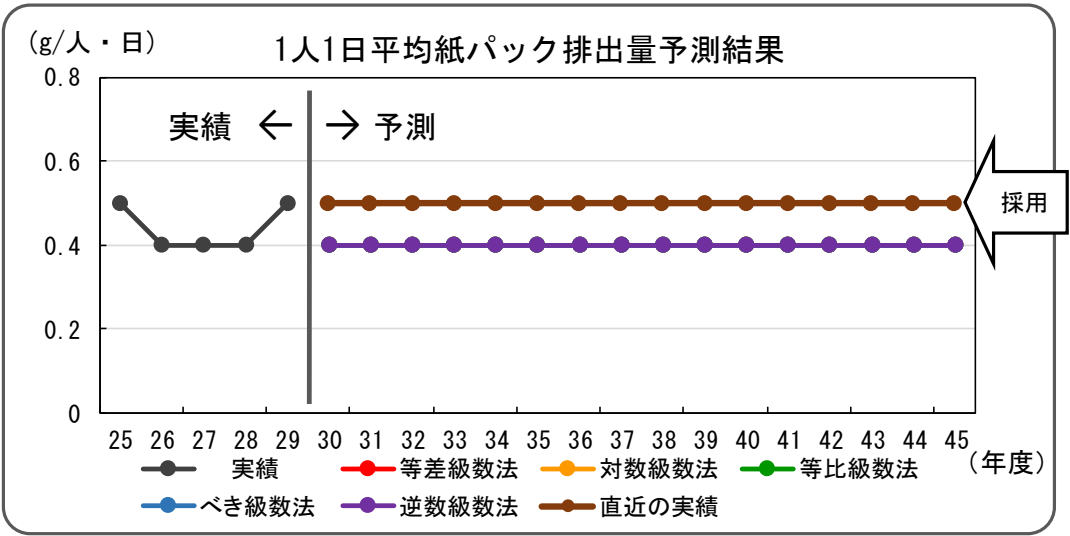


図 2-16 1 人 1 日平均紙パック排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も相関性は低いので、直近の実績を採用しました。

表 2-17 1人1日平均古着類排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
25	8.1	30	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1
26	7.4	31	6.9	7.0	6.9	7.0	7.0
27	7.7	32	6.8	6.8	6.8	6.9	6.9
28	7.2	33	6.6	6.7	6.6	6.7	6.8
29	7.4	34	6.4	6.5	6.5	6.6	6.6
		35	6.3	6.4	6.4	6.5	6.5
		36	6.1	6.3	6.2	6.4	6.5
		37	6.0	6.2	6.1	6.3	6.4
		38	5.8	6.1	6.0	6.2	6.3
		39	5.6	5.9	5.8	6.1	6.2
		40	5.5	5.8	5.7	6.0	6.1
		41	5.3	5.7	5.6	6.0	6.1
		42	5.2	5.6	5.5	5.9	6.0
		43	5.0	5.5	5.4	5.8	5.9
		44	4.8	5.4	5.3	5.7	5.9
		45	4.7	5.3	5.2	5.7	5.8
式			$y=ax+b$	$y=a*LN(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.16	-4.362	-0.021	-0.567	118.598
b=			11.88	21.93	13.25	48.97	3.16
r=			-0.721	-0.73	-0.719	-0.727	0.738
r ² =			0.52	0.532	0.517	0.528	0.544
採否							採用

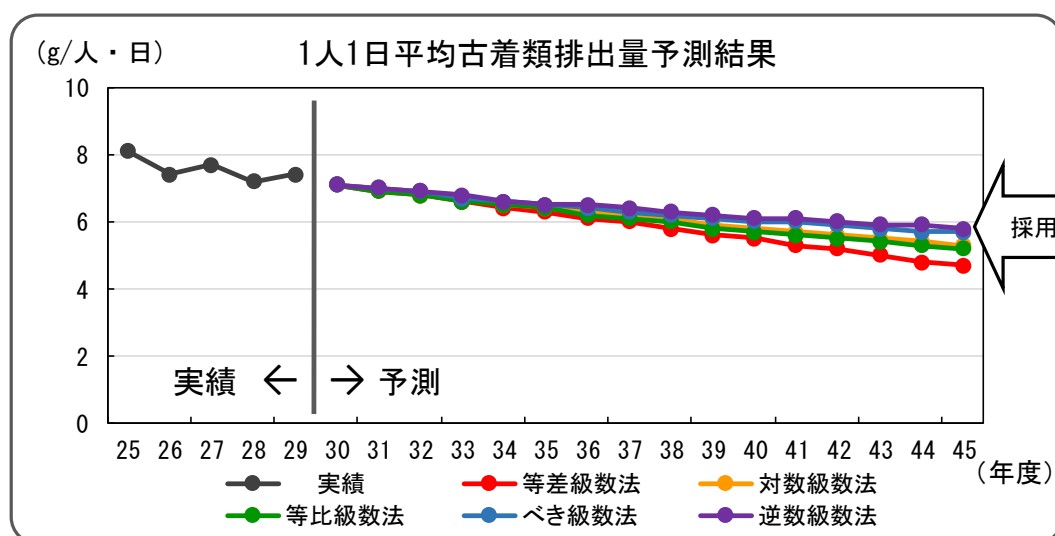


図 2-17 1人1日平均古着類排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.517～0.544 と相関性はやや高いので、その中で最も r^2 値の高い「逆数級数法」を採用しました。

表 2-18 1人1日平均かん排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
25	1.9	30	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
26	1.9	31	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
27	2.0	32	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
28	1.9	33	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8
29	1.8	34	1.8	1.8	1.7	1.8	1.8
		35	1.7	1.8	1.7	1.8	1.8
		36	1.7	1.8	1.7	1.7	1.8
		37	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8
		38	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8
		39	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
		40	1.6	1.7	1.6	1.7	1.7
		41	1.6	1.7	1.6	1.7	1.7
		42	1.6	1.7	1.6	1.7	1.7
		43	1.6	1.7	1.6	1.7	1.7
		44	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7
		45	1.5	1.6	1.5	1.6	1.7
式			$y=ax+b$	$y=a*LN(x)+b$	$y=(e^{ax})*b$	$y=(x^a)*b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.02	-0.519	-0.011	-0.281	13.422
b=			2.44	3.61	2.54	4.79	1.4
r=			-0.447	-0.431	-0.459	-0.442	0.414
r ² =			0.2	0.185	0.211	0.196	0.171
採否							採用

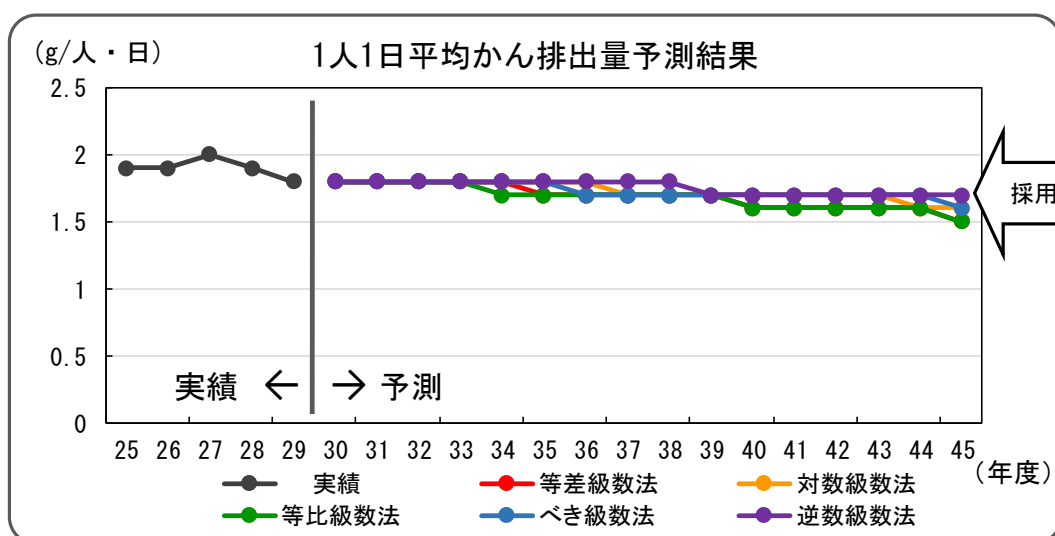


図 2-18 1人1日平均かん排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.171～0.211 と相関性は低いので、その中で最も現実的である「逆数級数法」を採用しました。

表 2-19 1人1日平均鉄くず排出量予測結果

年度	実績	年度	予測結果				
			等差級数法	対数級数法	等比級数法	べき級数法	逆数級数法
25	7.0	30	6.6	6.6	6.7	6.6	6.6
26	6.4	31	6.5	6.5	6.6	6.5	6.6
27	7.3	32	6.4	6.5	6.5	6.4	6.5
28	7.2	33	6.3	6.4	6.4	6.4	6.5
29	6.2	34	6.3	6.3	6.3	6.3	6.4
		35	6.2	6.3	6.3	6.3	6.4
		36	6.1	6.2	6.2	6.2	6.3
		37	6.0	6.2	6.1	6.1	6.3
		38	5.9	6.1	6.0	6.1	6.2
		39	5.9	6.1	6.0	6.0	6.2
		40	5.8	6.0	5.9	6.0	6.2
		41	5.7	6.0	5.8	5.9	6.1
		42	5.6	5.9	5.8	5.9	6.1
		43	5.5	5.9	5.7	5.8	6.1
		44	5.5	5.8	5.6	5.8	6.1
		45	5.4	5.8	5.6	5.8	6.0
式			$y=ax+b$	$y=a\cdot\ln(x)+b$	$y=(e^{ax})\cdot b$	$y=(x^a)\cdot b$	$y=(a/x)+b$
a=			-0.08	-2.069	-0.012	-0.324	53.391
b=			8.98	13.64	9.54	19.78	4.84
r=			-0.257	-0.247	-0.27	-0.26	0.237
r ² =			0.066	0.061	0.073	0.068	0.056
採否							採用

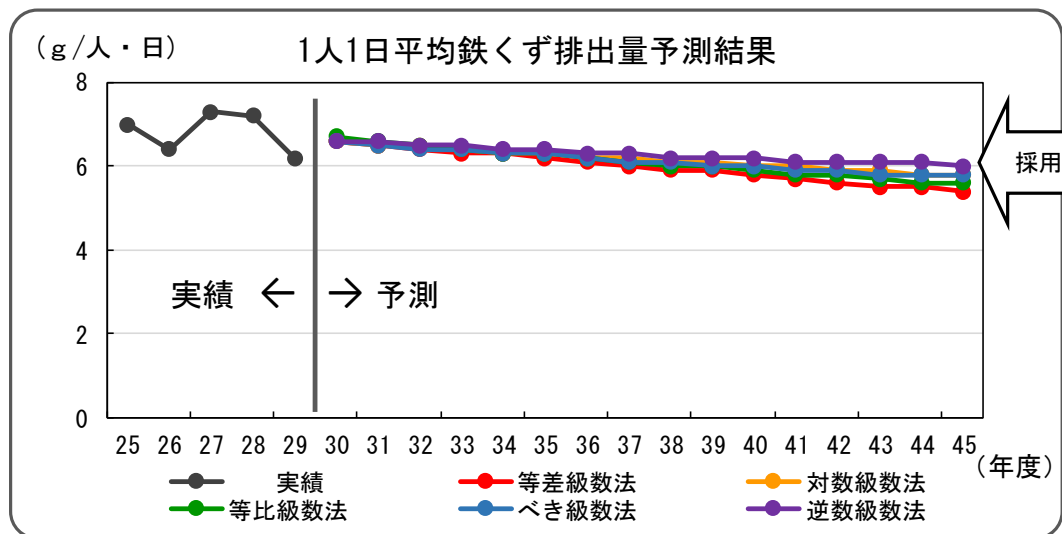


図 2-19 1人1日平均鉄くず排出量予測結果

採用理由：いずれの傾向線も r^2 値は 0.056~0.073 と相関性は低いので、その中で最も現実的な「逆数級数法」を採用しました。

3.年間ごみ排出量の予測結果（現状の傾向が続いた場合）

表 3-1 年間ごみ排出量の予測結果（現状の傾向が続いた場合）

		単位	実績					予測															
			2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)	2026 (H38)	2027 (H39)	2028 (H40)	2029 (H41)	2030 (H42)	2031 (H43)	2032 (H44)	2033 (H45)
人口		人	18,734	18,521	18,323	18,118	17,846	17,791	17,736	17,681	17,626	17,571	17,516	17,461	17,406	17,351	17,296	17,241	17,186	17,131	17,076	17,021	16,966
家庭系		t	3,828.5	3,789.8	3,731.0	3,584.2	3,499.1	3,471.5	3,454.1	3,417.2	3,390.5	3,364.5	3,347.8	3,311.5	3,287.2	3,261.6	3,245.0	3,211.4	3,187.3	3,163.4	3,147.4	3,115.0	3,091.3
	可燃ごみ	t	3,073.8	3,078.2	2,995.4	2,888.6	2,786.1	2,767.6	2,756.2	2,729.9	2,711.1	2,693.0	2,681.7	2,655.7	2,637.8	2,619.4	2,608.1	2,582.6	2,565.0	2,546.8	2,535.6	2,510.5	2,493.1
	不燃ごみ	t	547.1	511.5	536.7	498.9	526.3	518.2	514.1	506.6	501.2	496.4	493.0	486.3	482.9	478.2	475.5	470.8	466.7	463.4	461.2	456.6	453.3
	廃プラスチック	t	414.6	400.3	395.8	374.7	367.8	359.8	354.4	347.2	341.6	336.1	332.1	325.7	321.5	316.7	313.4	308.4	304.2	300.8	297.5	293.2	289.8
	粗大ごみ(鉄くず含む)	t	132.5	111.2	140.9	124.2	158.5	158.4	159.7	159.4	159.6	160.3	160.9	160.6	161.4	161.5	162.1	162.4	162.5	162.6	163.7	163.4	163.5
	資源ごみ	t	207.6	200.1	198.9	196.7	186.7	185.7	183.8	180.7	178.2	175.1	173.1	169.5	166.5	164.0	161.4	158.0	155.6	153.2	150.6	147.9	144.9
	かん・びん	t	172.8	167.2	164.1	162.5	152.5	151.3	148.7	145.9	142.8	139.8	137.2	133.8	130.9	127.9	125.3	122.1	119.2	116.9	114.4	111.2	108.4
	ペットボトル	t	34.8	32.9	34.8	34.2	34.2	34.4	35.1	34.8	35.4	35.3	35.9	35.7	35.6	36.1	36.1	35.9	36.4	36.3	36.2	36.7	36.5
事業系		t	1,951.4	1,955.4	2,006.2	1,982.4	1,878.4	1,922.1	1,927.9	1,921.8	1,921.7	1,920.2	1,924.5	1,917.7	1,915.5	1,913.2	1,916.2	1,908.6	1,905.7	1,902.7	1,904.9	1,896.8	1,893.1
	可燃ごみ	t	1,937.3	1,927.4	1,972.4	1,949.1	1,849.1	1,892.9	1,898.7	1,892.8	1,892.7	1,891.3	1,895.7	1,889.0	1,886.9	1,884.7	1,887.7	1,880.3	1,877.5	1,874.6	1,876.8	1,868.8	1,865.2
	不燃ごみ	t	14.1	28.0	33.8	33.3	29.3	29.2	29.2	29.0	29.0	28.9	28.8	28.7	28.6	28.5	28.5	28.3	28.2	28.1	28.1	28.0	27.9
	粗大ごみ	t	14.1	28.0	33.8	33.3	29.3	29.2	29.2	29.0	29.0	28.9	28.8	28.7	28.6	28.5	28.5	28.3	28.2	28.1	28.1	28.0	27.9
一般持込		t	681.8	612.6	448.9	565.9	497.6	500.2	500.6	498.4	498.1	497.2	497.6	495.4	494.5	493.6	494.0	491.6	490.7	490.4	490.8	488.5	487.5
	可燃ごみ	t	661.3	593.8	428.6	534.1	454.1	452.6	452.4	449.8	448.4	447.0	446.8	444.2	442.8	441.4	441.2	438.6	437.2	435.8	435.6	433.0	431.6
	不燃ごみ	t	20.5	18.8	20.3	31.5	43.3	47.4	48.0	48.4	49.5	50.0	50.6	51.0	51.5	52.0	52.6	52.8	53.3	54.4	55.0	55.3	55.7
	廃プラスチック	t	0.4	—	—	1.9	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
	粗大ごみ(鉄くず含む)	t	20.1	18.8	20.3	29.6	40.1	44.2	44.8	45.2	46.3	46.8	47.4	47.8	48.3	48.8	49.4	49.7	50.2	51.3	51.9	52.2	52.6
	資源ごみ	t	—	—	—	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	かん・びん ペットボトル	t	—	—	—	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
計		t	6,461.7	6,357.8	6,186.1	6,132.5	5,875.1	5,893.8	5,882.6	5,837.4	5,810.3	5,781.9	5,769.9	5,724.6	5,697.2	5,668.4	5,655.2	5,611.6	5,583.7	5,556.5	5,543.1	5,500.3	5,471.9
	可燃ごみ	t	5,672.4	5,599.4	5,396.4	5,371.8	5,089.3	5,113.1	5,107.3	5,072.5	5,052.2	5,031.3	5,024.2	4,988.9	4,967.5	4,945.5	4,937.0	4,901.5	4,879.7	4,857.2	4,848.0	4,812.3	4,789.9
	不燃ごみ	t	533.8	515.0	541.6	516.0	558.3	551.9	548.5	542.1	537.9	534.3	531.4	525.8	523.0	519.4	517.4	512.9	509.9	507.8	506.2	502.0	499.7
	廃プラスチック	t	415.0	400.3	395.8	376.6	371.0	363.0	357.6	350.4	344.8	339.3	335.3	328.9	324.7	319.9	316.6	311.5	307.3	303.9	300.6	296.3	292.9
	粗大ごみ	t	118.8	114.7	145.8	139.4	187.3	188.9	190.9	191.7	193.1	195.0	196.1	196.9	198.3	199.5	200.8	201.4	202.6	203.9	205.6	205.7	206.8
	資源ごみ	t	255.5	243.4	248.1	244.7	227.5	228.8	226.8	222.8	220.2	216.3	214.3	209.9	206.7	203.5	200.8	197.2	194.1	191.5	188.9	186.0	182.3
	かん・びん ペットボトル	t	207.6	200.1	198.9	197.0	186.9	185.9	184.0	180.9	178.4	175.3	173.3	169.7	166.7	164.2	161.6	158.2	155.8	153.4	150.8	148.1	145.1
	鉄くず	t	47.9	43.3	49.2	47.7	40.6	42.9	42.8	41.9	41.8	41.0	41.0	40.2	40.0	39.3	39.2	39.0	38.3	38.1	38.1	37.9	37.2
有害ごみ		t	2.7	3.4	3.8	5.2	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	
集団資源 回収		t	803.8	767.7	750.2	710.4	666.7	655.1	639.4	622.9	609.4	595.2	584.7	573.3	563.6	554.1	545.3	536.0	528.9	521.5	516.2	509.5	503.4
	新聞紙	t	424.6	396.1	364.9	327.8	300.0	280.5	261.7	245.5	230.5	216.2	203.9	192.2	181.8	172.1	163.0	154.6	146.8	139.6	133.1	127.3	121.4
	雑誌	t	214.2	211.5	219.1	222.9	205.1	213.6	215.5	215.5	216.2	216.8	217.3	217.3	217.9	217.9	219.0	218.4	218.3	218.8	219.4	218.7	218.6
	段ボール	t	93.2	94.2	98.1	96.4	98.4	100.0	101.9	102.6	104.2	105.2	107.1	107.7	108.6	109.6	110.1	110.8	111.7	111.9	113.1	113.1	113.9
	紙パック	t	3.1	2.8	3.0	2.8	3.0	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
	古着類	t	55.4	50.2	51.9	47.7	48.4	46.1	45.4	44.5	43.7	42.3	41.7	41.4	40.7	39.9	39.2	38.4	38.3	37.5	36.9	36.7	35.9
	かん	t	13.3	12.9	13.2	12.8	11.8	11.7	11.7	11.6	11.6	11.5	11.5	11.5	11.4	11.4	10.8	10.7	10.7	10.6	10.6	10.6	10.5
合計		t	7,268.2	7,128.9	6,940.1	6,848.1	6,546.2	6,553.4	6,526.5	6,464.8	6,424.2	6,381.6	6,359.1	6,302.4	6,265.2	6,226.9	6,204.9	6,152.0	6,117.0	6,082.4	6,063.7	6,014.1	5,979.6

表 3-2 1人1日平均年間ごみ排出量の予測結果（現状の傾向が続いた場合）

		単位	実績					予測															
			H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45
人口		人	18,734	18,521	18,323	18,118	17,846	17,791	17,736	17,681	17,626	17,571	17,516	17,461	17,406	17,351	17,296	17,241	17,186	17,131	17,076	17,021	16,966
家庭系		g/人・日	559.9	560.5	556.4	542.1	537.2	534.6	532.1	529.5	527.0	524.6	522.2	519.6	517.4	515.0	512.6	510.3	508.1	505.9	503.6	501.4	499.2
	可燃ごみ	g/人・日	449.5	455.3	446.7	436.8	427.7	426.2	424.6	423.0	421.4	419.9	418.3	416.7	415.2	413.6	412.0	410.4	408.9	407.3	405.7	404.1	402.6
	不燃ごみ	g/人・日	80.0	75.6	80.0	75.5	80.8	79.8	79.2	78.5	77.9	77.4	76.9	76.3	76.0	75.5	75.1	74.8	74.4	74.1	73.8	73.5	73.2
	廃プラスチック	g/人・日	60.6	59.2	59.0	56.7	56.5	55.4	54.6	53.8	53.1	52.4	51.8	51.1	50.6	50.0	49.5	49.0	48.5	48.1	47.6	47.2	46.8
	粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	19.4	16.4	21.0	18.8	24.3	24.4	24.6	24.7	24.8	25.0	25.1	25.2	25.4	25.5	25.6	25.8	25.9	26.0	26.2	26.3	26.4
	資源ごみ	g/人・日	30.4	29.6	29.7	29.8	28.7	28.6	28.3	28.0	27.7	27.3	27.0	26.6	26.2	25.9	25.5	25.1	24.8	24.5	24.1	23.8	23.4
	かん・びん	g/人・日	25.3	24.7	24.5	24.6	23.4	23.3	22.9	22.6	22.2	21.8	21.4	21.0	20.6	20.2	19.8	19.4	19.0	18.7	18.3	17.9	17.5
	ペットボトル	g/人・日	5.1	4.9	5.2	5.2	5.3	5.3	5.4	5.4	5.5	5.5	5.6	5.6	5.6	5.7	5.7	5.7	5.8	5.8	5.8	5.9	5.9
事業系		g/人・日	285.4	289.2	299.1	299.7	288.4	296.0	297.0	297.8	298.7	299.4	300.2	300.9	301.5	302.1	302.7	303.3	303.8	304.3	304.8	305.3	305.7
	可燃ごみ	g/人・日	283.3	285.1	294.1	294.7	283.9	291.5	292.5	293.3	294.2	294.9	295.7	296.4	297.0	297.6	298.2	298.8	299.3	299.8	300.3	300.8	301.2
	不燃ごみ	g/人・日	2.1	4.1	5.0	5.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
	粗大ごみ	g/人・日	2.1	4.1	5.0	5.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
一般持込		g/人・日	99.7	90.6	66.9	85.7	76.3	77.0	77.1	77.2	77.4	77.5	77.6	77.7	77.8	77.9	78.0	78.1	78.2	78.4	78.5	78.6	78.7
	可燃ごみ	g/人・日	96.7	87.8	63.9	80.8	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7	69.7
	不燃ごみ	g/人・日	3.0	2.8	3.0	4.8	6.6	7.3	7.4	7.5	7.7	7.8	7.9	8.0	8.1	8.2	8.3	8.4	8.5	8.7	8.8	8.9	9.0
	廃プラスチック	g/人・日	0.1	—	—	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	2.9	2.8	3.0	4.5	6.2	6.8	6.9	7.0	7.2	7.3	7.4	7.5	7.6	7.7	7.8	7.9	8.0	8.2	8.3	8.4	8.5
	資源ごみ	g/人・日	—	—	—	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	かん・びん ペットボトル	g/人・日	—	—	—	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計		g/人・日	945.0	940.4	922.4	927.5	902.0	914.2	912.8	911.0	909.6	907.9	906.2	904.1	902.3	900.3	898.4	896.5	894.6	892.8	890.8	889.0	886.6
	可燃ごみ	g/人・日	829.5	828.2	804.7	812.3	781.3	787.4	786.8	786.0	785.3	784.5	783.7	782.8	781.9	780.9	779.9	778.9	777.9	776.8	775.7	774.6	773.5
	不燃ごみ	g/人・日	78.1	76.2	80.7	78.1	85.8	91.6	91.1	90.5	90.1	89.7	89.1	88.4	87.9	87.3	86.8	86.3	85.8	85.4	84.9	84.5	83.7
	廃プラスチック	g/人・日	60.7	59.2	59.0	57.0	57.0	55.9	55.1	54.3	53.6	52.9	52.3	51.6	51.1	50.5	50.0	49.5	49.0	48.6	48.1	47.7	47.3
	粗大ごみ	g/人・日	17.4	17.0	21.7	21.1	28.8	35.7	36.0	36.2	36.5	36.8	36.8	36.8	36.8	36.8	36.8	36.8	36.8	36.8	36.8	36.8	36.4
	資源ごみ	g/人・日	37.4	36.0	37.0	37.1	34.9	35.2	34.9	34.5	34.2	33.7	33.4	32.9	32.5	32.1	31.7	31.3	30.9	30.6	30.2	29.9	29.4
	かん・びん ペットボトル	g/人・日	30.4	29.6	29.7	29.9	28.7	28.6	28.3	28.0	27.7	27.3	27.0	26.6	26.2	25.9	25.5	25.1	24.8	24.5	24.1	23.8	23.4
	鉄くず	g/人・日	7.0	6.4	7.3	7.2	6.2	6.6	6.6	6.5	6.5	6.4	6.4	6.3	6.3	6.2	6.2	6.2	6.1	6.1	6.1	6.1	6.0
有害ごみ		g/人・日	0.4	0.5	0.6	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
集団資源回収		g/人・日	117.6	113.6	111.9	107.4	102.4	100.9	98.5	96.3	94.4	92.4	90.8	89.4	88.1	86.8	85.5	84.4	83.5	82.6	81.8	81.1	80.4
	新聞紙	g/人・日	62.2	58.7	54.5	49.6	46.1	43.2	40.3	37.8	35.5	33.3	31.4	29.6	28.0	26.5	25.1	23.8	22.6	21.5	20.5	19.6	18.7
	雑誌	g/人・日	31.3	31.3	32.7	33.7	31.5	32.9	33.2	33.4	33.6	33.8	33.9	34.1	34.3	34.4	34.6	34.7	34.8	35.0	35.1	35.2	35.3
	段ボール	g/人・日	13.6	13.9	14.6	14.6	15.1	15.4	15.7	15.9	16.2	16.4	16.7	16.9	17.1	17.3	17.4	17.6	17.8	17.9	18.1	18.2	18.4
	紙パック	g/人・日	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	古着類	g/人・日	8.1	7.4	7.7	7.2	7.4	7.1	7.0	6.9	6.8	6.6	6.5	6.5	6.4	6.3	6.2	6.1	6.1	6.0	5.9	5.9	5.8
	かん	g/人・日	1.9	1.9	2.0	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
合計		g/人・日	1,063.0	1,054.5	1,034.9	1,035.7	1,005.1	1,015.8	1,012.0	1,008.0	1,004.7	1,001.0	997.7	994.2	991.1	987.8	984.6	981.6	978.8	976.1	973.3	970.8	967.7

4.年間ごみ排出量の予測結果（目標達成時）

表 4-1 年間ごみ排出量の予測結果（目標達成時）

		単位	実績					予測															
			2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)	2026 (H38)	2027 (H39)	2028 (H40)	2029 (H41)	2030 (H42)	2031 (H43)	2032 (H44)	2033 (H45)
人口		人	18,734	18,521	18,323	18,118	17,846	17,791	17,736	17,681	17,626	17,571	17,516	17,461	17,406	17,351	17,296	17,241	17,186	17,131	17,076	17,021	16,966
家庭系		t	3,828.5	3,789.8	3,731.0	3,584.2	3,499.1	3,447.5	3,406.0	3,344.9	3,294.5	3,244.6	3,275.3	3,227.5	3,190.0	3,151.3	3,122.1	3,075.5	3,038.6	3,001.2	2,972.3	2,927.4	2,897.6
	可燃ごみ	t	3,073.8	3,078.2	2,995.4	2,888.6	2,786.1	2,744.2	2,710.1	2,661.5	2,621.0	2,580.1	2,601.5	2,548.0	2,502.5	2,456.6	2,417.6	2,366.2	2,321.0	2,276.6	2,238.7	2,188.1	2,144.5
	不燃ごみ	t	547.1	511.5	536.7	498.9	526.3	516.2	508.3	496.9	487.0	477.8	468.7	457.0	447.3	437.0	427.9	416.6	407.1	397.0	388.1	377.7	374.7
	廃プラスチック	t	414.6	400.3	395.8	374.7	367.8	359.1	351.2	341.4	332.6	323.9	316.1	306.6	298.0	289.4	281.7	272.5	264.1	255.7	248.1	239.2	231.0
	粗大ごみ(鉄くず含む)	t	132.5	111.2	140.9	124.2	158.5	157.1	157.1	155.5	154.4	153.9	152.6	150.4	149.3	147.6	146.2	144.1	143.0	141.3	140.0	138.5	143.7
	資源ごみ	t	207.6	200.1	198.9	196.7	186.7	187.1	187.6	186.5	186.5	186.7	205.1	222.5	240.2	257.7	276.6	292.7	310.5	327.6	345.5	361.6	378.4
	かん・びん	t	172.8	167.2	164.1	162.5	152.5	152.0	151.9	151.0	150.5	150.1	150.0	149.1	148.7	148.2	148.1	147.3	146.8	146.3	146.2	145.4	144.9
	ペットボトル	t	34.8	32.9	34.8	34.2	34.2	35.1	35.7	35.5	36.0	36.6	37.2	37.0	37.5	38.0	38.6	38.4	38.9	39.4	40.0	39.8	40.3
	小型家電	t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	1.3	1.9	2.5	3.2	3.8	4.4	5.0	5.6	6.2	6.8
	紙類・古着類	t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17.3	35.1	52.1	69.0	86.7	103.2	120.4	136.9	153.7	170.2	186.4
事業系		t	1,951.4	1,955.4	2,006.2	1,982.4	1,878.4	1,872.8	1,872.1	1,861.2	1,855.5	1,849.7	1,848.8	1,838.1	1,832.3	1,826.5	1,825.7	1,814.9	1,809.1	1,803.3	1,802.4	1,791.8	1,786.0
	可燃ごみ	t	1,937.3	1,927.4	1,972.4	1,949.1	1,849.1	1,843.6	1,842.9	1,832.2	1,826.5	1,820.8	1,820.0	1,809.4	1,803.7	1,798.0	1,797.2	1,786.6	1,780.9	1,775.2	1,774.3	1,763.8	1,758.1
	不燃ごみ	t	14.1	28.0	33.8	33.3	29.3	29.2	29.2	29.0	29.0	28.9	28.8	28.7	28.6	28.5	28.5	28.3	28.2	28.1	28.1	28.0	27.9
	粗大ごみ	t	14.1	28.0	33.8	33.3	29.3	29.2	29.2	29.0	29.0	28.9	28.8	28.7	28.6	28.5	28.5	28.3	28.2	28.1	28.1	28.0	27.9
一般持込		t	681.8	612.6	448.9	565.9	497.6	493.1	489.6	482.9	478.2	473.5	470.1	463.5	458.9	454.4	450.9	444.4	439.9	435.4	432.0	425.7	421.3
	可燃ごみ	t	661.3	593.8	428.6	534.1	454.1	449.4	446.0	439.5	434.9	430.3	427.0	420.6	416.1	411.7	408.3	402.1	397.7	393.3	390.0	383.9	379.6
	不燃ごみ	t	20.5	18.8	20.3	31.5	43.3	43.5	43.4	43.2	43.1	43.0	42.9	42.7	42.6	42.5	42.4	42.1	42.0	41.9	41.8	41.6	41.5
	廃プラスチック	t	0.4	—	—	1.9	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
	粗大ごみ(鉄くず含む)	t	20.1	18.8	20.3	29.6	40.1	40.3	40.2	40.0	39.9	39.8	39.7	39.5	39.4	39.3	39.2	39.0	38.9	38.8	38.7	38.5	38.4
	資源ごみ	t	—	—	—	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	かん・びん	t	—	—	—	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
	ペットボトル																						
計		t	6,461.7	6,357.8	6,186.1	6,132.5	5,875.1	5,813.4	5,767.7	5,689.0	5,628.2	5,567.8	5,594.2	5,529.1	5,481.2	5,432.2	5,398.7	5,334.8	5,287.6	5,239.9	5,206.7	5,144.9	5,104.9
	可燃ごみ	t	5,672.4	5,599.4	5,396.4	5,371.8	5,089.3	5,037.2	4,999.0	4,933.2	4,882.4	4,831.2	4,848.5	4,778.0	4,722.3	4,666.3	4,623.1	4,554.9	4,499.6	4,445.1	4,403.0	4,335.8	4,282.2
	不燃ごみ	t	533.8	515.0	541.6	516.0	558.3	548.6	540.7	529.1	519.2	509.9	500.7	488.9	479.1	468.7	459.6	448.0	438.4	428.2	419.3	408.8	405.7
	廃プラスチック	t	415.0	400.3	395.8	376.6	371.0	362.3	354.4	344.6	335.8	327.1	319.3	309.8	301.2	292.6	284.9	275.6	267.2	258.8	251.2	242.3	234.1
	粗大ごみ	t	118.8	114.7	145.8	139.4	187.3	186.3	186.3	184.5	183.4	182.8	181.4	179.1	177.9	176.1	174.7	172.4	171.2	169.4	168.1	166.5	171.6
	資源ごみ	t	255.5	243.4	248.1	244.7	227.5	227.6	228.0	226.7	226.6	226.7	245.0	262.2	279.8	297.2	316.0	331.9	349.6	366.6	384.4	400.3	417.0
	かん・びん	t	207.6	200.1	198.9	197.0	186.9	187.3	187.8	186.7	186.7	186.9	187.4	186.3	186.4	186.4	186.9	185.9	185.9	185.9	185.9	186.4	185.4
	ペットボトル																						
	鉄くず	t	47.9	43.3	49.2	47.7	40.6	40.3	40.2	40.0	39.9	39.8	39.7	39.5	39.4	39.3	39.2	39.0	38.9	38.8	38.7	38.5	38.4
	小型家電	t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.6	1.3	1.9	2.5	3.2	3.8	4.4	5.0	5.6	6.2	6.8
	紙類・古着類	t	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	17.3	35.1	52.1	69.0	86.7	103.2	120.4	136.9	153.7	170.2	186.4
有害ごみ		t	2.7	3.4	3.8	5.2	4.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3
集団資源回収		t	803.8	767.7	750.2	710.4	666.7	665.0	665.4	662.6	662.7	661.3	661.0	658.8	658.0	656.6	656.8	653.7	653.5	651.9	651.2	648.6	646.8
	新聞紙	t	424.6	396.1	364.9	327.8	300.0	293.5	288.3	282.5	277.3	271.4	265.6	260.4	254.6	248.7	243.5	237.7	232.5	226.6	220.8	215.6	209.7
	雑誌	t	214.2	211.5	219.1	222.9	205.1	207.8	211.0	212.3	214.9	217.4	220.5	221.8	224.3	226.7	229.8	231.0	233.4	235.7	238.7	239.8	242.1
	段ボール	t	93.2	94.2	98.1	96.4	98.4	100.7	103.2	105.2	108.1	110.3	112.8	114.7	116.9	119.1	121.5	123.3	126.1	128.2	130.6	132.3	134.4
	紙パック	t	3.1	2.8	3.0	2.8	3.0	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7
	古着類	t	55.4	50.2	51.9	47.7	48.4	48.1	48.0	47.8	47.6	47.5	47.4	47.2	47.0	46.9	46.8	46.6	46.4	46.3	46.2	46.0	45.8
	かん	t	13.3	12.9	13.2	12.8	11.8	11.7	11.7	11.6	11.6	11.5	11.5	11.5	11.4	11.4	11.4	11.3	11.3	11.3	11.2	11.2	11.1
合計		t	7,268.2	7,128.9	6,940.1	6,848.1	6,546.2	6,482.9	6,437.6	6,356.1	6,295.4	6,233.6	6,259.7	6,192.4	6,143.6	6,093.2	6,059.9	5,992.9	5,945.5	5,896.2	5,862.3	5,797.8	5,756.0

表 4-2 1人1日平均年間ごみ排出量の予測結果（目標達成時）

		単位	実績					予測																
			H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	
人口		人	18,734	18,521	18,323	18,118	17,846	17,791	17,736	17,681	17,626	17,571	17,516	17,461	17,406	17,351	17,296	17,241	17,186	17,131	17,076	17,021	16,966	
家庭系		g/人・日	559.9	560.5	556.4	542.1	537.2	530.9	524.7	518.3	512.1	505.9	510.9	506.4	502.1	497.6	493.2	488.7	484.4	480.0	475.6	471.2	467.9	
	可燃ごみ	g/人・日	449.5	455.3	446.7	436.8	427.7	422.6	417.5	412.4	407.4	402.3	405.8	399.8	393.9	387.9	381.9	376.0	370.0	364.1	358.2	352.2	346.3	
	不燃ごみ	g/人・日	80.0	75.6	80.0	75.5	80.8	79.5	78.3	77.0	75.7	74.5	73.1	71.7	70.4	69.0	67.6	66.2	64.9	63.5	62.1	60.8	60.5	
	廃プラスチック	g/人・日	60.6	59.2	59.0	56.7	56.5	55.3	54.1	52.9	51.7	50.5	49.3	48.1	46.9	45.7	44.5	43.3	42.1	40.9	39.7	38.5	37.3	
	粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	19.4	16.4	21.0	18.8	24.3	24.2	24.2	24.1	24.0	24.0	23.8	23.6	23.5	23.3	23.1	22.9	22.8	22.6	22.4	22.3	23.2	
	資源ごみ	g/人・日	30.4	29.6	29.7	29.8	28.7	28.8	28.9	28.9	29.0	29.1	32.0	34.9	37.8	40.7	43.7	46.5	49.5	52.4	55.3	58.2	61.1	
	かん・びん	g/人・日	25.3	24.7	24.5	24.6	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	23.4	
	ペットボトル	g/人・日	5.1	4.9	5.2	5.2	5.3	5.4	5.5	5.5	5.6	5.7	5.8	5.8	5.9	6.0	6.1	6.1	6.2	6.3	6.4	6.4	6.5	
	小型家電	g/人・日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1
	紙類・古着類	g/人・日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7	5.5	8.2	10.9	13.7	16.4	19.2	21.9	24.6	27.4	30.1
事業系		g/人・日	285.4	289.2	299.1	299.7	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	288.4	
	可燃ごみ	g/人・日	283.3	285.1	294.1	294.7	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	283.9	
	不燃ごみ	g/人・日	2.1	4.1	5.0	5.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
	粗大ごみ	g/人・日	2.1	4.1	5.0	5.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
一般持込		g/人・日	99.7	90.6	66.9	85.7	76.3	75.9	75.4	74.8	74.3	73.8	73.3	72.7	72.2	71.7	71.2	70.6	70.1	69.6	69.1	68.5	68.0	
	可燃ごみ	g/人・日	96.7	87.8	63.9	80.8	69.7	69.2	68.7	68.1	67.6	67.1	66.6	66.0	65.5	65.0	64.5	63.9	63.4	62.9	62.4	61.8	61.3	
	不燃ごみ	g/人・日	3.0	2.8	3.0	4.8	6.6	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	6.7	
	廃プラスチック	g/人・日	0.1	—	—	0.3	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	
	粗大ごみ(鉄くず含む)	g/人・日	2.9	2.8	3.0	4.5	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	
	資源ごみ	g/人・日	—	—	—	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	かん・びん ペットボトル	g/人・日	—	—	—	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
計		g/人・日	945.0	940.4	922.4	927.5	902.0	878.8	894.7	887.7	881.0	874.3	878.7	873.5	868.5	863.4	858.4	853.2	848.2	843.2	838.2	833.0	827.5	
	可燃ごみ	g/人・日	829.5	828.2	804.7	812.3	781.3	775.7	770.1	764.4	758.9	753.3	756.3	749.7	743.3	736.8	730.3	723.8	717.3	710.9	704.5	697.9	691.5	
	不燃ごみ	g/人・日	78.1	76.2	80.7	78.1	85.8	90.7	89.5	88.2	86.9	85.7	84.2	82.7	81.2	79.7	78.2	76.7	75.2	73.7	72.2	70.7	68.7	
	廃プラスチック	g/人・日	60.7	59.2	59.0	57.0	57.0	55.8	54.6	53.4	52.2	51.0	49.8	48.6	47.4	46.2	45.0	43.8	42.6	41.4	40.2	39.0	37.8	
	粗大ごみ	g/人・日	17.4	17.0	21.7	21.1	28.8	34.9	34.9	34.8	34.7	34.7	34.4	34.1	33.8	33.5	33.2	32.9	32.6	32.3	32.0	31.7	30.9	
	資源ごみ	g/人・日	37.4	36.0	37.0	37.1	34.9	12.4	35.1	35.1	35.2	35.3	38.2	41.1	44.0	46.9	49.9	52.7	55.7	58.6	61.5	64.4	67.3	
	かん・びん ペットボトル	g/人・日	30.4	29.6	29.7	29.9	28.7	6.2	28.9	28.9	29.0	29.1	29.2	29.2	29.3	29.4	29.5	29.5	29.6	29.7	29.8	29.8	29.9	
	鉄くず	g/人・日	7.0	6.4	7.3	7.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	
	小型家電	g/人・日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1
	紙類・古着類	g/人・日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.7	5.5	8.2	10.9	13.7	16.4	19.2	21.9	24.6	27.4	30.1
有害ごみ		g/人・日	0.4	0.5	0.6	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	
集団資源回収		g/人・日	117.6	113.6	111.9	107.4	102.4	102.4	102.5	102.4	102.6	102.6	102.6	102.6	102.7	102.7	102.8	102.7	102.9	102.9	102.9	102.9	102.9	
	新聞紙	g/人・日	62.2	58.7	54.5	49.6	46.1	45.2	44.4	43.5	42.7	41.8	40.9	40.1	39.2	38.3	37.5	36.6	35.8	34.9	34.0	33.2	32.3	
	雑誌	g/人・日	31.3	31.3	32.7	33.7	31.5	32.0	32.5	32.9	33.4	33.9	34.4	34.8	35.3	35.8	36.3	36.7	37.2	37.7	38.2	38.6	39.1	
	段ボール	g/人・日	13.6	13.9	14.6	14.6	15.1	15.5	15.9	16.3	16.8	17.2	17.6	18.0	18.4	18.8	19.2	19.6	20.1	20.5	20.9	21.3	21.7	
	紙パック	g/人・日	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	
	古着類	g/人・日	8.1	7.4	7.7	7.2	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	7.4	
	かん	g/人・日	1.9	1.9	2.0	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	
合計		g/人・日	1,063.0	1,054.5	1,034.9	1,035.7	1,005.1	981.9	997.9	990.8	984.3	977.6	982.0	976.8	971.9	966.8	961.9	956.6	951.8	946.8	941.8	936.6	931.1	

5. 処理・資源化量、最終処分量の予測結果（現状の傾向が続いた場合）

表 5-1 処理・資源化量、最終処分量の予測結果（現状の傾向が続いた場合）

単位：t																					
	実績					予測															
	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)	2026 (H38)	2027 (H39)	2028 (H40)	2029 (H41)	2030 (H42)	2031 (H43)	2032 (H44)	2033 (H45)
人口（人）	18,734	18,521	18,323	18,118	17,846	17,791	17,736	17,681	17,626	17,571	17,516	17,461	17,406	17,351	17,296	17,241	17,186	17,131	17,076	17,021	16,966
総排出量	7,267.7	7,128.1	6,940.1	6,848.5	6,546.3	6,553.4	6,526.5	6,464.8	6,424.2	6,381.6	6,359.1	6,302.4	6,265.2	6,226.9	6,204.9	6,152.0	6,117.0	6,082.4	6,063.7	6,014.1	5,979.6
焼却処理量	5,804.0	5,799.0	4,404.0	5,796.0	5,521.0	5,419.9	5,413.7	5,376.9	5,355.3	5,333.2	5,325.7	5,288.2	5,265.6	5,242.2	5,233.2	5,195.6	5,172.5	5,148.6	5,138.9	5,101.0	5,077.3
焼却量（1号炉）	3,074.0	2,841.0	2,214.0	2,988.0	2,551.0																
焼却量（2号炉）	2,730.0	2,958.0	2,190.0	2,808.0	2,970.0																
資源化量	1,059.2	1,011.0	998.2	954.9	894.1	883.9	866.2	845.7	829.6	811.5	799.0	783.2	770.3	757.6	746.1	733.2	723.0	713.0	705.1	695.5	685.7
新聞紙	424.6	396.1	364.9	327.8	300.0	280.5	261.7	245.5	230.5	216.2	203.9	192.2	181.8	172.1	163.0	154.6	146.8	139.6	133.1	127.3	121.4
雑誌	214.2	211.5	219.1	222.9	205.1	213.6	215.5	215.5	216.2	216.8	217.3	217.3	217.9	217.9	219.0	218.4	218.3	218.8	219.4	218.7	218.6
段ボール	93.2	94.2	98.1	96.4	98.4	100.0	101.9	102.6	104.2	105.2	107.1	107.7	108.6	109.6	110.1	110.8	111.7	111.9	113.1	113.1	113.9
紙パック	3.1	2.8	3.0	2.8	3.0	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
古着類	55.4	50.2	51.9	47.7	48.4	46.1	45.4	44.5	43.7	42.3	41.7	41.4	40.7	39.9	39.2	38.4	38.3	37.5	36.9	36.7	35.9
かん・びん	186.0	180.1	177.3	175.5	164.5	197.6	195.7	192.5	190.0	186.8	184.8	181.2	178.1	175.6	172.4	168.9	166.5	164.0	161.4	158.7	155.6
ペットボトル	34.8	32.8	34.7	34.1	34.1																
鉄くず	47.9	43.3	49.2	47.7	40.6																
資源化率	14.6	14.2	14.4	13.9	13.7	13.5	13.3	13.1	12.9	12.7	12.6	12.4	12.3	12.2	12.0	11.9	11.8	11.7	11.6	11.6	11.5
最終処分量	1,469.6	1,452.7	1,204.3	1,398.2	1,349.3	1,310.1	1,305.8	1,293.9	1,286.7	1,279.5	1,275.7	1,264.4	1,258.5	1,251.1	1,247.9	1,238.2	1,231.4	1,226.0	1,223.2	1,213.7	1,207.6
焼却灰	916.2	917.7	664.8	829.6	749.0	735.3	734.4	729.5	726.5	723.5	722.5	717.4	714.4	711.2	710.0	704.9	701.7	698.5	697.2	692.0	688.8
破碎ごみ・廃プラスチック	553.4	535.0	539.5	568.6	600.3	574.8	571.4	564.4	560.2	556.0	553.2	547.0	544.1	539.9	537.9	533.3	529.7	527.5	526.0	521.7	518.8
最終処分率	20.2	20.4	17.4	20.4	20.6	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.1	20.1	20.1	20.1	20.1	20.1	20.1	20.2	20.2	20.2	20.2

6. 処理・資源化量、最終処分量の予測結果（目標達成時）

表 6-1 処理・資源化量、最終処分量の予測結果（目標達成時）

	実績					目標															
	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)	2026 (H38)	2027 (H39)	2028 (H40)	2029 (H41)	2030 (H42)	2031 (H43)	2032 (H44)	2033 (H45)
人口（人）	18,734	18,521	18,323	18,118	17,846	17,791	17,736	17,681	17,626	17,571	17,516	17,461	17,406	17,351	17,296	17,241	17,186	17,131	17,076	17,021	16,966
総排出量	7,267.7	7,128.1	6,940.1	6,848.5	6,546.3	6,482.9	6,437.6	6,356.1	6,295.4	6,233.6	6,259.7	6,192.4	6,143.6	6,093.2	6,059.9	5,992.9	5,945.5	5,896.2	5,862.3	5,797.8	5,756.0
焼却処理量	5,804.0	5,799.0	4,404.0	5,796.0	5,521.0	5,087.6	5,049.0	4,982.5	4,931.2	4,879.5	4,897.0	4,825.8	4,769.5	4,713.0	4,669.3	4,600.4	4,544.6	4,489.6	4,447.0	4,379.2	4,325.0
焼却量（1号炉）	3,074.0	2,841.0	2,214.0	2,988.0	2,551.0																
焼却量（2号炉）	2,730.0	2,958.0	2,190.0	2,808.0	2,970.0																
資源化量	1,059.2	1,011.0	998.2	954.9	894.1	892.6	893.4	889.3	889.3	888.0	906.0	921.0	937.8	953.8	972.8	985.6	1,003.1	1,018.5	1,035.6	1,048.9	1,063.8
新聞紙	424.6	396.1	364.9	327.8	300.0	293.5	288.3	282.5	277.3	271.4	265.6	260.4	254.6	248.7	243.5	237.7	232.5	226.6	220.8	215.6	209.7
雑誌	214.2	211.5	219.1	222.9	205.1	207.8	211.0	212.3	214.9	217.4	220.5	221.8	224.3	226.7	229.8	231.0	233.4	235.7	238.7	239.8	242.1
段ボール	93.2	94.2	98.1	96.4	98.4	100.7	103.2	105.2	108.1	110.3	112.8	114.7	116.9	119.1	121.5	123.3	126.1	128.2	130.6	132.3	134.4
紙パック	3.1	2.8	3.0	2.8	3.0	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.2	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.7
古着類	55.4	50.2	51.9	47.7	48.4	48.1	48.0	47.8	47.6	47.5	47.4	47.2	47.0	46.9	46.8	46.6	46.4	46.3	46.2	46.0	45.8
かん・びん	186.0	180.1	177.3	175.5	164.5	199.0	199.5	198.3	198.3	198.4	198.9	197.8	197.8	197.8	198.3	197.2	197.2	197.2	197.6	196.6	196.5
ペットボトル	34.8	32.8	34.7	34.1	34.1																
鉄くず	47.9	43.3	49.2	47.7	40.6	40.3	40.2	40.0	39.9	39.8	39.7	39.5	39.4	39.3	39.2	39.0	38.9	38.8	38.7	38.5	38.4
小型家電	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.6	1.3	1.9	2.5	3.2	3.8	4.4	5.0	5.6	6.2	6.8
紙類・古着類	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	17.3	35.1	52.1	69.0	86.7	103.2	120.4	136.9	153.7	170.2	186.4
資源化率	14.6	14.2	14.4	13.9	13.7	13.8	13.9	14.0	14.1	14.2	14.5	14.9	15.3	15.7	16.1	16.4	16.9	17.3	17.7	18.1	18.5
最終処分量	1,469.6	1,452.7	1,204.3	1,398.2	1,349.3	1,266.1	1,252.6	1,231.3	1,214.0	1,197.3	1,189.9	1,167.9	1,149.9	1,131.4	1,116.0	1,094.4	1,076.7	1,058.6	1,043.5	1,023.2	1,012.6
焼却灰	916.2	917.7	664.8	829.6	749.0	690.2	685.0	675.9	669.0	662.0	664.3	654.7	647.0	639.4	633.5	624.1	616.5	609.1	603.3	594.1	586.7
破碎ごみ・廃プラスチック	553.4	535.0	539.5	568.6	600.3	575.9	567.6	555.4	545.0	535.3	525.6	513.2	502.9	492.0	482.5	470.3	460.2	449.5	440.2	429.1	425.9
最終処分率	20.2	20.4	17.4	20.4	20.6	19.5	19.5	19.4	19.3	19.2	19.0	18.9	18.7	18.6	18.4	18.3	18.1	18.0	17.8	17.6	17.6

単位：t

河合町一般廃棄物処理基本計画

2019(平成 31)年 3 月

発行：奈良県 河合町

編集：河合町 住民生活部環境衛生課

〒636-0061

奈良県北葛城郡河合町大字山坊 6 8 3-1

電 話：0745-32-0706

F A X：0745-32-9491

E-mail：kankyou@town.kawai.nara.jp

U R L：http://www.town.kawai.nara.jp/